Dell™ V505 ユーザーズガイド

デルから消耗品を注文するには、以下の手順に従います。

1. デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

2. デルの Web サイトにアクセスするか、電話でデル製プリンタの消耗品を注文します。

   www.dell.com/supplies

   サービスを最大限に利用するには、デルプリンタ サービスタグをお手元にご用意ください。

メモ、注意、および警告について

メモ： メモとは、プリンタの使用方法を向上させるための重要な情報を示したものです。

注意： 注意とは、ハードウェアの故障またはデータの損失を引き起こす可能性のある問題を示し、問題を回避する方法について説明したものです。

危険： 警告とは、物品の破損やケガ、または人命にかかわる可能性のある問題を示したものです。

モデル **V505**

2008 年 6 月　SRV F806C　Rev. A00

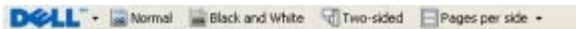
情報とその入手先

必要な情報	入手先
プリンタのセットアップ方法	プリンタのセットアップ図
• 印刷用紙をプリンタにセットする方法 • 印刷、コピー、スキャン、FAX の基本的な手順 • 内蔵ワイヤレスプリントサーバーのセットアップ方法 • Dell™ への連絡方法	オーナーズマニュアル メモ： お住まいの国または地域では『オーナーズマニュアル』はご利用いただけません。
• プリンタの使用準備の安全に関する情報 • 規制に関する情報 • 保証に関する情報	製品情報ガイド メモ： お住まいの国または地域で、『製品情報ガイド』をご利用いただけない場合があります。
• サポートされている用紙の種類およびサイズ • 印刷用紙の選び方および保存方法 • 印刷用紙をプリンタにセットする方法 • プリンタ設定の設定方法 • メモリカードまたは USB メモリから文書および写真を表示または印刷する方法 • ソフトウェアのセットアップ方法と使用方法 • 内蔵ワイヤレスプリントサーバーのセットアップおよび設定方法 • プリンタの手入れとメンテナンス方法 • トラブルシューティングおよび問題の解決方法	ユーザーズガイド メモ： 『ユーザーズガイド』は、*Drivers and Utilities* CD または Web サイト（support.dell.com）にあります。

• ソフトウェアおよびドライバ - ご利用のプリンタの認証ドライバおよび Dell プリンタソフトウェアのインストーラ • Readme ファイル - プリンタの技術的な変更に関する最新情報や、熟練ユーザーまたは技術者向けの高度な技術資料	Drivers and Utilities CD メモ： コンピュータとプリンタを同時に Dell からご購入いただいた場合には、マニュアルおよびドライバはコンピュータにインストールされています。
• support.dell.com を利用する際、またはサポートに問い合わせる際に、利用しているプリンタを識別する方法 • サポートに問い合わせる際にエクスプレスサービスコードを見つけて、担当者とスムーズに連絡を取る方法	サービスタグおよびエクスプレスコードラベル これらのラベルはプリンタに貼り付けられています。 これらの場所についての詳細は、プリンタ各部のはたらきを参照してください。
• ソリューション - トラブルシューティングに関するヒント、よくある質問、マニュアル、ドライバのダウンロード、および製品のアップグレード • アップグレード - メモリ、ネットワークカード、オプション機器などのコンポーネントのアップグレードに関する情報 • カスタマーケア - Dell の連絡先、修理やご注文の処理状況、保証、および修理に関する情報	Dell サポート Web サイト - support.dell.com メモ： 地域または事業区分を選択して、該当するサポートサイトを表示します。
• プリンタ用消耗品 • プリンタ用アクセサリ • プリンタ用交換インクおよび交換部品	Dell プリンタ用消耗品 Web サイト - www.dell.com/supplies プリンタ用消耗品は、オンライン、電話、または指定小売店でご購入いただけます。

ソフトウェアについて

プリンタソフトウェアには、次のものが含まれます。

- **Dell Imaging Toolbox**- さまざまなスキャン、コピー、FAX、および新規または既存の文書や画像を使用した印刷を実行できます。
- 印刷設定 - プリンタの設定の調整に使用します。
- **Dell** サービスセンター - トラブルシューティングを段階的に実行できるヘルプと、プリンタのメンテナンス操作およびカスタマサポートを利用できます。
- **Dell Ink Management System™**- プリンタがインク切れになると警告します。
- **Adobe® Photoshop® Album Starter Edition** - コンピュータに保存された写真の表示、管理、編集を実行できます。
- **Dell** ツールバー- インク節約のため、Windows 文書をモノクロまたはテキストのみで印刷したり、写真のスキャンや、スキャンしたテキストの編集を行えます。

Dell Imaging Toolbox を使用する

［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログでは以下のことが行えます。

- スキャン、コピー、FAX、および印刷に必要な様々なツールの使用。
- コピー部数とコピー画質の選択。
- 印刷、スキャン、コピー、または FAX する画像のプレビュー。
- デジタルフォトアルバムの写真の管理。
- 文書や写真の E メール送信。
- カメラまたはメモリカードからの写真の取り込み。
- インク残量のチェック。
- 消耗品の注文。

［**Dell Imaging Toolbox**］を使用するには以下の手順に従います。

1. *Windows Vista*™ の場合：

   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows® *XP* および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

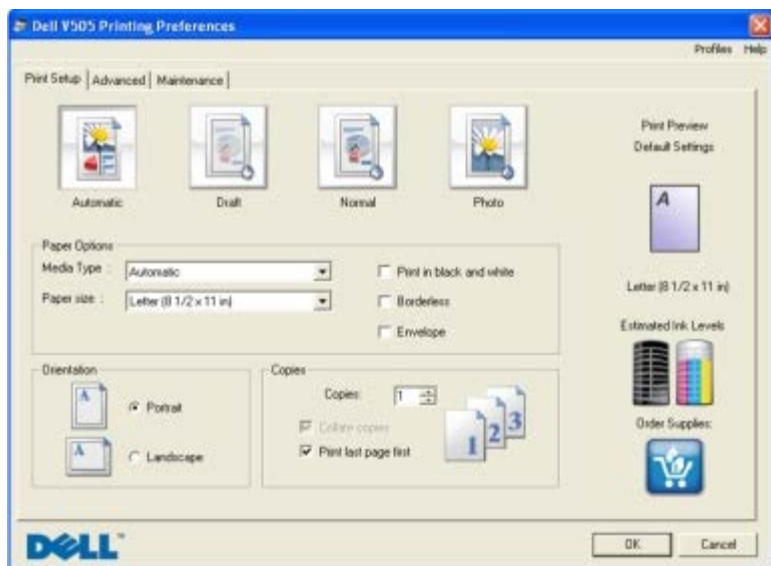
   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

Dell Imaging Toolbox のホーム画面には、次のセクションがあります。

セクション名	ボタン	はたらき
スキャナ	スキャン	• ジョブを開始します。 • 画像を取り込むアプリケーションを選択します。 • スキャンする画像の種類を選択します。 • スキャンの品質設定を選択します。
	コピー	• コピーを作成します。 • コピー部数とカラーモードを選択します。 • コピーの品質設定を選択します。 • 用紙サイズを指定します。 • コピーする原稿のサイズを指定します。 • コピー濃度を調整します（この操作は操作パネルからも実行できます）。 • コピーのサイズを変更します。
	FAX	• FAX を送信します。 • 短縮ダイヤルリストを編集します。 • FAX 設定を変更します。

		• アドレス帳を表示し、編集します。 • 送付状を表示し、編集します。 • 通信管理レポートを表示し、印刷します。
写真	フォト アルバム	• フォトアルバムに保存済みの写真を管理します。 • 保存済みの写真を印刷します。 • グリーティングカードを作成します。 • 保存済みの写真でポスターを作成します。 • E メールに写真を添付します。 • 保存済みの写真を PDF 形式に変換します。
	操作	• 画像のサイズを変更します。 • 写真を編集します。 • 複数の写真をスキャンします。 • スキャンした文書を OCR でテキスト形式に変換します。 • 複数の写真をスキャンして 1 つのファイルに保存します。 • 画像を分割して印刷します（ポスター）。 • フチなし写真を印刷します。
	写真の転送	カメラまたはメモリカードからの写真の取り込み。
	複数の写真をｽｷｬﾝする	複数の写真を同時にスキャンして、別々のファイルに保存します。
	フチなし写真を印刷する	フチなし写真を印刷します。
設定	印刷設定	コピー画質、コピー部数、給紙口、スキャン方向またはコピー方向など、プリンタの設定を調整します。
	ツールボックスの設定	スキャン、ファイル設定、E メール、ライブラリなどのツールボックスの設定を調整します。
	ネットワーク設定	• ピアトゥピアネットワークを有効にします。 • ネットワーク印刷に関するエラーメッセージの表示と非表示を切り替えます。 • ネットワークで共有するプリンタの種類を選択します。 • ネットワークスキャンのコンピュータ名と PIN を変更します。
	ワイヤレス設定ウィザード	ワイヤレス設定ウィザードを起動します。このウィザードによりワイヤレス接続を設定できます。
	FAX 設定	FAX の送信、アドレス帳および送付状の表示と編集、通信管理レポートの印刷、FAX 設定の変更を行います。

詳細については、［**Dell Imaging Toolbox**］ のヘルプアイコンをクリックしてください。

印刷設定

［印刷設定］では、作成する印刷物の種類に応じてプリンタの設定を変更できます。

ドキュメントを開いた状態で［印刷設定］にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. ［ファイル］®［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［環境設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

ドキュメントが開かれていない状態で、［印刷設定］にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. Windows Vista の場合：

   a. ®［コントロール パネル］をクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］®［設定］®［コントロール パネル］®［プリンタとその他のハードウェア］®［プリンタと**FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。

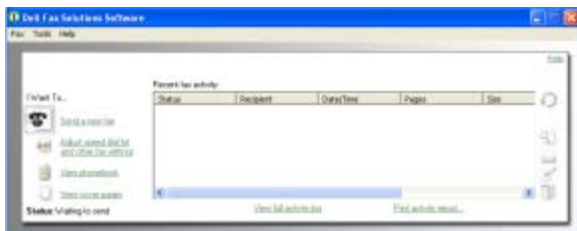
3. ［印刷設定］をクリックします。

メモ：［プリンタ］フォルダで変更したプリンタの設定は、ほとんどのアプリケーションで標準設定に設定されます。

［印刷設定］ダイアログボックスには、以下の 3 つのセクションがあります。

タブ	オプション
印刷設定	［品質/速度］ - 印刷の品質に応じて、［自動］、［高速］、［標準］、または［高品質］を選択します。［高速］は、最も速く印刷できるオプションです。ただし、フォトカートリッジがセットされている場合には選択しないでください。
	［用紙の種類］ - 用紙の種類を手動で選択するか、プリンタで自動的に検出するかを設定します。

	［用紙サイズ］- 用紙のサイズを選択します。
	［モノクロで印刷］- カラー画像をモノクロで印刷して、カラーカートリッジのインクを節約します。 メモ： ［カラーカートリッジを使用して黒で印刷する］オプションが選択されている場合、この設定は選択できません。
	［フチなし］- フチなし写真を印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。
	［印刷方向］- 文書をどの方向に印刷するかを指定します。 縦方向または横方向に印刷できます。
	［封筒］- 封筒に印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。 ［用紙サイズ］の欄には、印刷に使用できる封筒のサイズが表示されます。
	［印刷部数］- 1 回のジョブで複数のコピーを作成する方法を変更します。 ［部単位で印刷］、［標準］、または［逆順で印刷］などの印刷順序を指定します。
アドバンス	［両面印刷］ - 用紙の両面に印刷するには、このオプションを選択します。 ［自動］、［手動］、または［両面印刷］のいずれかから選択します。
	［乾燥時間の延長］ - 両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合は、このオプションを選択します。 この機能を使用すると、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間が延長されます。 メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。
	［レイアウト］ - ［標準］、［バナー］、［左右反転］、［割り付け］、［ポスター］、［小冊子］、または［フチなし］を選択します。
	［画像のシャープ化］- 画像の種類に応じて、最も良い鮮明度のレベルが自動的に選択されます。
	［デルカスタマーエクスペリエンス向上プログラム］- デルカスタマーエクスペリエンス向上プログラムに関する情報にアクセスし、参加の状態を変更できます。
	［その他のオプション］- ［表示オプション］および［印刷を完了］の設定を指定できます。 プリンタで検出された用紙の種類を表示することもできます。
メンテナンス	［カートリッジの取り付け］
	［ノズル清掃］
	［プリントヘッド調整］
	［テストページの印刷］
	［ネットワークサポート］

Dell FAX ナビの使用

Dell FAX ナビには、以下の機能があります。

- FAX の送信

  ［新規 **FAX** の送信］をクリックして、コンピュータの画面に表示される手順に従います。

- FAX のプロパティの調整

  さまざまな FAX 設定を変更するには、［**FAX** のプロパティ］をクリックします。

- アドレス帳の表示と管理

  アドレス帳を開くには、［アドレス帳］をクリックします。連絡先およびグループに関する情報の追加、編集、または削除を行えます。短縮ダイヤルリストに連絡先またはグループを追加することもできます。

- 送付状の表示と変更

  ［通常使う送付状の設定］をクリックすると、［送付状］ダイアログが表示されます。送付状をカスタマイズしたり、ロゴを追加したり、あらかじめ用意されているさまざまな送付状から選択して、FAX に添付できます。

- FAX ログの表示

  すべての送受信 FAX の詳細リストを表示または印刷するには、［**FAX** ログの表示］をクリックします。

- FAX 管理レポートの作成

  すべての FAX 操作に関する詳細なレポートを確認するには、［管理レポートの表示］をクリックします。通信管理レポートを印刷するには、［印刷］アイコンをクリックします。

Dell FAX ナビにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

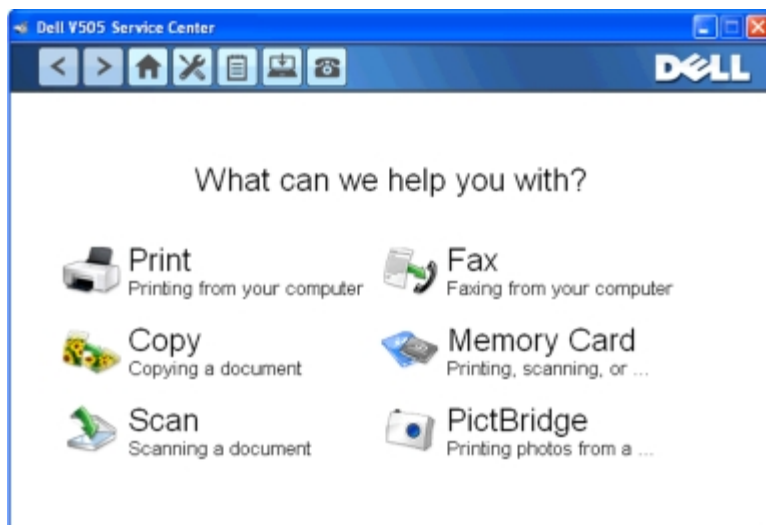
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および *2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

デルサービスセンターの使用

デルサービスセンターは、プリンタの使用中に生じた問題のトラブルシューティングを段階的に実行するのに役立つ診断ツールです。 プリンタのメンテナンス作業やカスタマーサポートへのリンクも含まれています。

デルサービスセンターを使用するには、以下のいずれかの方法を使用します。

エラーメッセージダイアログボックスからアクセスする

［詳細については、デルサービスセンターにアクセスしてください］のリンクをクリックします。

［スタート］メニューからアクセスする

1. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［デルサービスセンター］をクリックします。

   ［デルサービスセンター］ダイアログボックスが開きます。

Dell Ink Management System

印刷を実行するたびに、印刷の進行状況を示す画面が表示されます。この画面には、印刷ジョブの進行状況、カートリッジのインク残量、残りのインクで印刷できるおよそのページ数が表示されます。 カートリッジを使用し始めてから 50 ページ印刷するまでは、残りのページ数は表示されません。その間の印刷状況に応じてより正確な枚数を計算しているためです。 残りのページ数は、プリンタで実行される印刷ジョブの種類に応じて変化します。

カートリッジのインクレベルが低下している場合、印刷しようとすると「インクが残り少なくなっています」という警告が画面に表示されます。 この警告は、新しいカートリッジを取り付けるまで、印刷を行うたびに表示されます。 （⇒ カートリッジの交換）

片方または両方のインクカートリッジが空の場合、印刷しようとすると［予備タンク］ウィンドウが画面に表示されます。 この状態で印刷を続けても、希望どおりに印刷されない場合があります。

ブラックカートリッジがインク切れの場合、［印刷を完了］を選択してから［続ける］ボタンをクリックして、カラーカートリッジを使用して合成されたブラックで印刷することができます。 ［印刷を終了］を選択して［続ける］をクリックすると、ブラックカートリッジを交換するか、［印刷設定］の［アドバンス］タブにある［その他のオプション］でオプションを解除するまで、すべてのモノクロ印刷に合成されたブラックが使用されます。 インク切れのカートリッジを交換するまで、［予備タンク］ダイアログボックスは表示されなくなります。 新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、［印刷を完了］チャックボックスは自動的にオフになります。

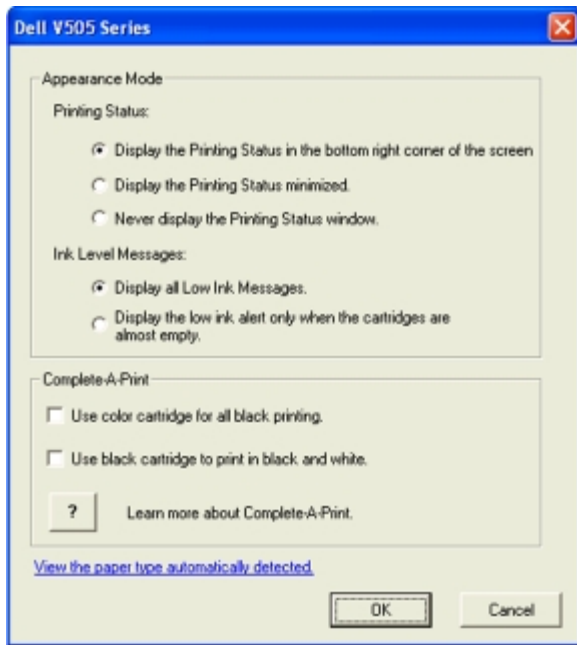
カラーカートリッジがインク切れの場合、［印刷を完了］を選択してから［続ける］ボタンをクリックして、カラーのドキュメントをグレースケールで印刷することができます。 ［印刷を完了］を選択して［続ける］をクリックすると、カラーカートリッジを交換するか、［印刷設定］の［アドバンス］タブにある［その他のオプション］からオプションの選択を解除するまで、すべてのカラードキュメントはモノクロで印刷されます。 インクが残り少ないカートリッジを交換すると、［予備タンク］ダイアログボックスは表示されなくなります。 新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、［印刷を完了］チェックボックスは自動的にオフになります。

［印刷を完了］の設定を変更するには、以下の手順に従います。

1. ［アドバンス］タブをクリックします。

2. ［詳細オプション］をクリックします。

3. ［印刷を完了］セクションで、［カラーカートリッジを使用して黒で印刷］または［ブラックカートリッジを使用してモノクロで印刷］のいずれかを選択して、これらの機能のオン/オフを切り替えます。

4. ［**OK**］をクリックします。

Adobe® Photoshop® Album を手動でインストールする

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. *Windows Vista* の場合は、 ®［コンピュータ］の順にクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］®［マイ コンピュータ］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、デスクトップで［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
3. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**Adobe** フォルダをダブルクリックします。
4. **Autoplay.exe** をダブルクリックします。
5. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

XPS ドライバ（オプション）をインストールする

XPS（XML Paper Specification）ドライバは、Windows Vista のみで使用できる XPS の優れたグラフィック機能およびカラー機能を使用するための追加プリンタドライバ（オプション）です。XPS 機能を使用するには、プリンタのインストール後に追加ドライバとして XPS ドライバをインストールする必要があります。

メモ： XPS ドライバをインストールする前に、『プリンタのセットアップ』の手順を実行して、お使いのコンピュータにプリンタをインストールします。

メモ： XPS ドライバをインストールする前に、Microsoft QFE パッチをインストールして、*Drivers and Utilities* CD からドライバファイルを展開する必要があります。パッチをインストールするには、コンピュータに対する管理者権限が必要です。

Microsoft QFE パッチをインストールして、ドライバを展開するには、以下の手順に従います。

1. *Drivers and Utilities* CDをセットし、［設定ウィザード］が表示されたら［キャンセル］をクリックします。
2. ®［コンピュータ］の順にクリックします。

3. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**Drivers** をダブルクリックします。

4. ［**xps**］をダブルクリックしてから、［**setupxps**］をダブルクリックします。

   XPS ドライバファイルがコンピュータにコピーされ、必要に応じた Microsoft XPS ファイルが実行されます。画面に表示される手順に従って、パッチのインストールを完了します。

ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

1. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

2. ［ハードウェアとサウンド］で、［プリンタ］をクリックして［プリンタのインストール］をクリックします。

3. ［プリンタの追加］ダイアログボックスで、以下のいずれかを選択します。

   - USB 接続を使用している場合は、プリンタとコンピュータに USB ケーブルが接続されていることを確認して、次を実行します。

     a. ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。

     b. ［既存のポートを使用］ドロップダウンメニューから、［**USB** の仮想プリンタポート］を選択して、［次へ］をクリックします。

   - イーサネット接続またはワイヤレス接続を使用している場合は、プリンタがネットワークに接続されていることを確認して、次を実行します。

     a. ［ネットワーク、ワイヤレスまたは **Bluetooth** プリンタを追加します］をクリックします。

     b. リストからプリンタを選択します。

     c. お使いのプリンタが表示されていない場合は、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。

     d. ［**TCP/IP** アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。

     e. お使いのプリンタの IP アドレスを確認するには、プリンタの［セットアップ］メニューの［ネットワーク設定］から、設定情報のページを印刷します。

     f. プリンタの IP アドレスを［ホスト名または **IP** アドレス］ボックスに入力して、［次へ］をクリックします。

4. ［ディスク使用］をクリックします。

   ［フロッピー ディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［参照］をクリックして、次の手順でコンピュータ上の XPS ドライバファイルの場所を参照します。

   a. ［コンピュータ］をクリックしてから、**(C:)** をダブルクリックします。

   b. ［**Drivers**］をダブルクリックし、［**PRINTER**］をダブルクリックします。

   c. 名前にお使いのプリンタの機種番号が含まれているフォルダをダブルクリックして、［**Drivers**］をダブルクリックします。

   d. ［**xps**］をダブルクリックしてから、［開く］をクリックします。

   e. ［フロッピー ディスクからインストール］ダイアログボックスで、［**OK**］をクリックします。

6. 次の 2 つのダイアログボックスで、［次へ］をクリックします。

XPS ドライバの詳細については、*Drivers and Utilities* CD に収納されている XPS の **readme** ファイルを参照してください。ファイルは setupxps バッチファイルと共に、**xps** フォルダにあります（D:\Drivers\xps\readme）。

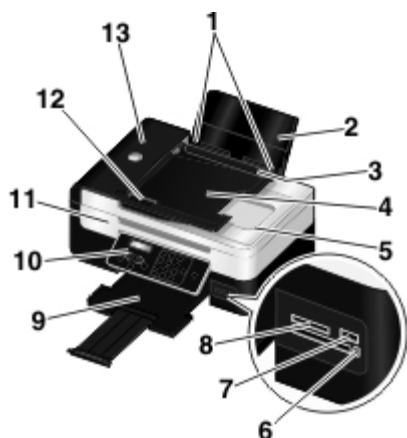
プリンタ各部の名称とはたらき

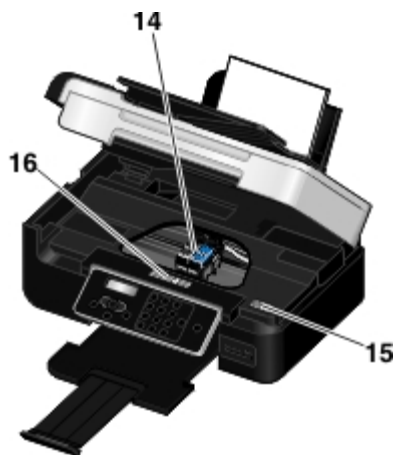
お使いのプリンタは、さまざまな用途に使用できます。 以下の点に注意してください。

- プリンタがコンピュータに接続されている場合、プリンタの操作パネルまたはプリンタソフトウェアを使用して、高品質のドキュメントを作成できます。
- 印刷、スキャン、コンピュータに写真を保存する機能、または **Office** ファイルモードを使用するには、プリンタがコンピュータに接続されている必要があります。
- コピーを作成する場合や、FAX を送信する場合、メモリカードまたは PictBridge 対応カメラから印刷する場合は、プリンタをコンピュータに接続する必要はありません。

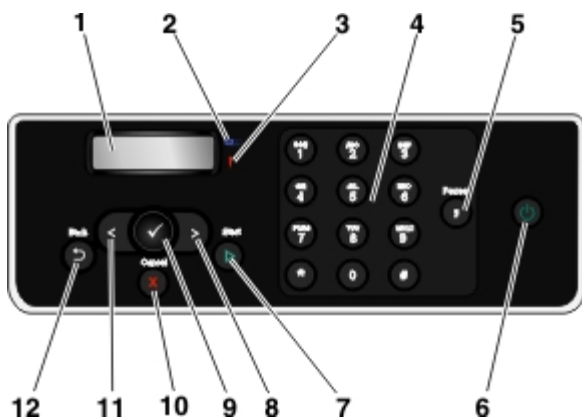
メモ： FAX を送信するには、プリンタがコンピュータに接続しているかどうかに関係なく、プリンタを電話回線に接続する必要があります。

メモ： コンピュータで DSL（デジタル加入者回線）モデムを使用している場合は、コンピュータに接続されている電話回線に DSL フィルタを取り付ける必要があります。 DSL フィルタの詳細については、DSL サービスプロバイダにお問い合わせください。

プリンタ各部のはたらき

番号	名称	説明
1	用紙ガイド	プリンタへの給紙が正しく行われるようにします。
2	用紙サポート	セットされている用紙を支えます。
3	落下防止ガード	小さな異物がプリンタ内部に入り込むのを防ぎます。
4	ADF 給紙トレイ	原稿をセットします。 複数ページの原稿のスキャン、コピー、FAX を行う際に使用します。
5	ADF 排紙トレイ付きトップカバー	プリンタの一番上の部分で、スキャン中に文書または写真が平らになるように押さえます。 ADF を通過した後の原稿が排出されるのもこの場所です。
6	カードリーダーランプ	カードリーダーの状態を示します。 メモリカードにアクセスしている場合は、ランプが点滅します。
7	PictBridge ポート	PictBridge 対応のデジタルカメラまたは USB メモリをプリンタに接続します。
8	メモリカードスロット	デジカメの写真が保存されたメモリカードをセットするスロットです。

9	排紙トレイ	プリンタから排出された用紙を受けるところです。 メモ： 排紙トレイをいっぱいに引き出して延ばします。
10	操作パネル	コピー、スキャン、FAX、および印刷を制御します。 （⇒ 操作パネルのはたらき）
11	スキャナベースユニット	カートリッジを交換する場合は、このユニットを開きます。
12	ADF 用紙ガイド	ADF への給紙が正しく行われるようにします。
13	ADF（自動原稿フィーダー）	原稿をプリンタに送ります。

番号	名称	説明
14	カートリッジホルダー	カラーカートリッジ 1 個と、ブラックまたはフォトカートリッジのいずれか 1 個の、合計 2 個のカートリッジを取り付けることができます。
15	エクスプレスサービスコード	• support.jp.dell.com を使用する際、またはテクニカルサポートにお問い合わせの際に、お使いのプリンタを識別するための番号です。 • テクニカルサポートにお問い合わせの際にエクスプレスサービスコードを入力すると、担当者とスムーズに連絡を取ることができます。 メモ： 国によっては、エクスプレスサービスコードが使用できない場合があります。
16	消耗品注文ラベル	インクカートリッジや用紙は www.dell.com/supplies から注文できます。
17	原稿台	コピー、スキャン、または FAX する文書や写真をセットする部分です。セットする場合はスキャンする面を下向きに載せます。

番号	名称	説明
18	電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）	データ/FAX モデム、電話機、留守番電話などの追加デバイスを接続するための差込口です。 使用する前にブルーのプラグを取り外してください。 メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 上側のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。 これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。
19	FAX コネクタ（ - 下側のコネクタ）	FAX を送受信するために、プリンタを使用可能な電話回線に接続します。 メモ： その他のデバイスを FAX コネクタ（ - 下側のコネクタ）に接続しないでください。また、デジタル回線フィルタを使用せずに DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）にプリンタを接続しないでください。
20	USB コネクタ	USB ケーブル（別売）を差し込みます。 USB ケーブルのもう一方の端末はコンピュータに接続します。
21	電源部	プリンタに電源を供給します。 メモ： 電源部は取り外し可能です。 電源部をコンセントに接続したままプリンタから取り外すと、電源 LED が点灯して、電源が入ったままであることを示します。 メモ： プリンタの電源がオフの際にコンセントから抜くと、次にコンセントに接続したとき、プリンタの電源はオフのままです。
22	電源コード	プリンタの電源部をご家庭やオフィスの電源コンセントに接続します。
23	両面印刷ユニットカバー	両面印刷ユニットのカバーです。 両面印刷ユニットを使用すると、自動で用紙の両面に印刷できます。
24	Dell Internal Network Adapter 1150（オプション）	お使いのプリンタをワイヤレスネットワーク上でセットアップするためのネットワーク機器（別売）です。
25	背面カバー	Dell Internal Network Adapter 1150 を取り付ける際にこのカバーを外します。

操作パネルのはたらき

番号	名称		はたらき
1	ディスプレイ		スキャン、コピー、FAX、印刷の各機能のオプションと、プリンタの状態やエラーメッセージを表示します。
2	Wi-Fi LED		Wi-Fi がアクティブかどうか確認します。 • オフ：プリンタの電源がオンになっていません。 • オレンジ：プリンタをワイヤレスで接続する準備ができていますが、接続されていません。 • オレンジの点滅：プリンタはワイヤレスネットワーク用に設定されていますが、ネットワークと通信できません。 • ブルー：プリンタはワイヤレスネットワークに接続されています。
3	エラー LED		エラーが発生しているかどうか確認します。
4	テンキー		数値またはテキストを入力します。
5	［ポーズ］ボタン		外線への切り替え、または留守番電話機につながるのを待つため、ダイヤルする番号に 3 秒間のポーズを挿入します。 メモ： ポーズを挿入できるのは、既に番号を入力し始めている場合のみです。
6	電源ボタン		プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 メモ： 電源ボタンを 3 秒以上押し続けて、プリンタの電源をオフにします。 押している時間が 3 秒以内の場合、プリンタは節電モードに切り替わります。 メモ： PictBridge 対応カメラが PictBridge ポートに接続され、操作中の場合は、電源ボタンを押してもプリンタの電源はオフになりません。
7	スタートボタン		コピー、スキャン、FAX を開始します。
8	右向き矢印ボタン		• オプションの数値を増やします。 • ディスプレイに表示されているリストをスクロールします。
9	設定ボタン		• 現在表示されているメニューにアクセスします。 • メニューのオプションを選択します。 • ボタンを 3 秒間押したままにすると、用紙が送られるか排出されます。
10	キャンセルボタン		• 実行中のスキャン、印刷、またはコピー操作をキャンセルします。 • メニューの設定に加えた変更を保存せずにメニューを終了します。
11	左向き矢印ボタン		• オプションの数値を減らします。 • ディスプレイに表示されているリストをスクロールします。

12	戻るボタン		前のメニューに戻ります。

ワイヤレスネットワーク

メモ： 一部の地域では、Dell™ Internal Network Adapter 1150 をご利用いただけない場合があります。 ご利用いただけるかどうかについては、お近くの Dell 販売店にお問い合わせください。

ワイヤレスネットワークへのアダプタの設定は、以下により行えます。

- アドホック接続を使用する（アドホック接続を確立する前に、まずアドホックプロファイルを作成する必要があります）
- 一時的に USB ケーブルを使用する（ほとんどのユーザーに推奨）
- Wi-Fi Protected Setup を使用する（上級ユーザーに推奨）

  Wi-Fi Protected Setup によるアダプタの設定には、次の 3 つの方法があります。

  - Wi-Fi Protected Setup PIN 方式を使用する
  - ルーターの Web ページの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する
  - ルーターの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する

セットアップのための最小必要条件

- Dell Internal Network Adapter 1150
- Dell AIO プリンタ
- 既存のワイヤレスネットワーク
- プリンタに付属する *Drivers and Utilities* CD
- 以下のいずれかのオペレーティングシステムを実行しているコンピュータ：
  - Windows Vista™
  - Microsoft® Windows® XP

- Microsoft Windows 2000

ワイヤレスネットワークの設定

プリンタに取り付けたプリントサーバーを設定するには、ワイヤレスネットワークの設定情報の一部が必要となる場合があります。 必要となる設定の一部は以下のとおりです。

- ネットワーク名。SSID（Service Set ID）とも呼ばれます。
- BSS（Basic Service Set）の種類（使用しているワイヤレスネットワークの種類。アドホックまたはインフラストラクチャ）

  メモ： WPS 対応プリンタの既定のワイヤレスネットワークの種類は、インフラストラクチャです。

- ワイヤレスチャネル番号
- ネットワーク認証および暗号化の種類
- セキュリティキー

 メモ： 現在のネットワーク設定を参照するには、ネットワーク設定ページで詳細を印刷するか、サービスプロバイダまたはルーターの製造元へ詳細について問い合わせます。 ネットワークセットアップページの印刷方法については、ネットワーク設定ページを印刷するを参照してください。

無線通信の暗号化

WPA（Wi-Fi Protected Access）は、Wi-Fi Protected Setup（WPS）を使用するプリンタの既定のセキュリティです。 WPS 対応プリンタでは、以下の種類のセキュリティがサポートされています。

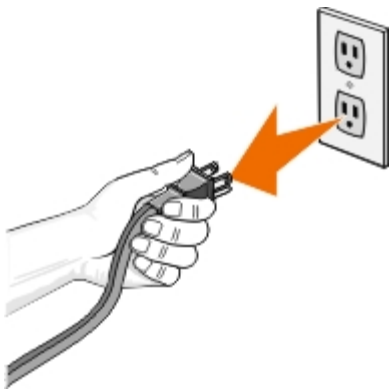
- セキュリティなし
- 128 bit TKIP 暗号化エンジンによる WPA
- 128 bit AES-CCMP 暗号化エンジンによる WPA2

WPA（Wi-Fi Protected Access）事前共有キーとはパスワードのようなもので、次の条件を満たす必要があります。

- 16 進数列を使用している場合は、有効なキーは 64 桁です。
- ASCII 文字列を使用している場合は、有効なキーは 8 桁です。

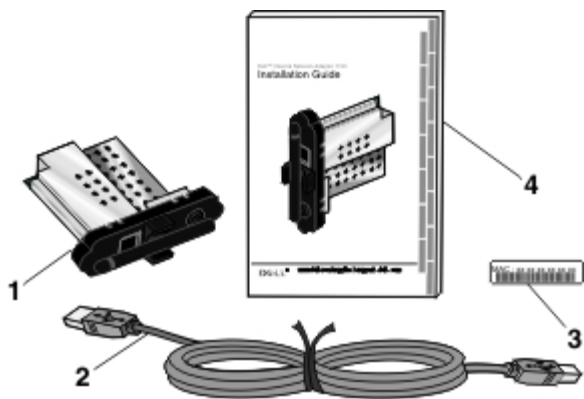
Dell Internal Network Adapter 1150 をインストールする

Dell Internal Network Adapter 1150 をインストールする

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。

注意： プリンタの電源コードを抜かないで取り付けを行うと、プリンタとプリントサーバーが損傷する場合があります。

2. 背面カバーを取り外します。

注意： ワイヤレスカードは静電気に非常に弱い製品です。 プリントサーバーに手を触れる前に、金属などに触れて静電気を逃がしてください。

3. Dell Internal Network Adapter 1150 をパッケージから取り出します。

番号	項目
1	Dell Internal Network Adapter 1150
2	USB ケーブル
3	MAC アドレスラベル
4	*Dell Internal Network Adapter 1150* 取り付けガイド

4. MAC アドレス ラベルをプリンタの背面に貼り付けます。

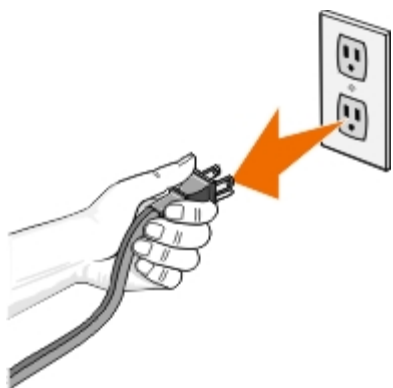
5. プリントサーバーをプリンタの背面に差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

次に、ワイヤレスネットワークでプリントサーバーを使用するための設定を行います。

プリントサーバーの取り外しと再取り付け

お使いのプリントサーバーが正しく機能していない場合は、取り外して取り付けなおす必要がある場合があります。

メモ： お使いのプリンタにプリントサーバーが取り付け済みで購入した場合、以下の手順は適用されません。

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。

注意： プリンタの電源コードを抜かないで取り付けを行うと、プリンタとプリントサーバーが損傷する場合があります。

2. Dell Internal Network Adapter 1150 の両側のつまみをしっかり持って、引き出して取り外します。

注意： プリントサーバーは静電気に非常に弱い製品です。プリントサーバーに手を触れる前に、接地された金属などに触れて静電気を逃がしてください。

注意： プリントサーバーを取り外す際は、アンテナを持たないでください。アンテナを引っぱるとプリントサーバーが破損する可能性があります。

3. 取り付けガイドの手順に従い、プリントサーバーを取り付けなおします。（⇒ Dell Internal Network Adapter 1150 をインストールする）

プリンタをイーサネット接続で設定する

1. イーサネットケーブル（別売）を使用して、プリンタをネットワークに接続します。
2. 電源コードを壁のコンセントに接続して、電源ボタン を押します。

   操作パネルのメインメニューにイーサネット接続アイコン が表示されます。
3. コンピュータの電源がオンになっていることを確認し、プリンタに付属の *Drivers and Utilities* CDをセットします。 CDが自動的に起動します。

   メモ： *Drivers and Utilities* CD がない場合は、support.jp.dell.com から該当するソフトウェアをダウンロードできます。
4. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。
5. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。
6. ［追加ソフトウェアのインストール］または［既にソフトウェアはインストールされています］画面で、［次へ］をクリックします。
7. ［接続の種類の選択］画面で［有線ネットワーク接続］を選択して、［次へ］をクリックします。
8. 画面に表示される手順に従い、設定を完了します。

一時的に USB ケーブルを使用してワイヤレスネットワーク上にプリンタを設定する（ほとんどのユーザーに推奨）

設定の概要

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定するには、プリントサーバーを取り付けたプリンタを USB ケーブルでコンピュータに接続し、*Drivers and Utilities* CD を起動する必要があります。

インストール後にワイヤレスプリントサーバーの設定の変更が必要な場合は、CD は必要ありません。ワイヤレス接続ユーティリティを起動します。

*Windows Vista*の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。

2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

3. ［**Dell V505**］をクリックします。

4. ［ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

1. ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。

ワイヤレス設定ユーティリティを使用すると、設定を順に行うことができます。ウィザードにより、ワイヤレスネットワーク設定を自動的に検出したり、ネットワーク設定を手動で入力できます。

プリントサーバーを設定する前に、プリンタが次のように正しく設定されていることを確認します。

- プリンタにプリントサーバーが正しく取り付けられている。
- カートリッジが正しく取り付けられている。
- プリンタに用紙がセットされている。
- プリンタとコンピュータに USB ケーブルが接続されている。
- プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備ができている。

一時的に USB ケーブルを使用してワイヤレスネットワーク上にプリンタを設定する（ほとんどのユーザーに推奨）

プリンタをワイヤレスネットワーク上に設定する前に、以下の点を確認します。

- ワイヤレスネットワークのセットアップが完了し、正しく機能している。
- 使用しているコンピュータが、プリンタをセットアップするワイヤレスネットワークに接続されている。

1. 新しい *Dell* コンピュータでプリンタを使用する場合 プリンタの背面にある USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。 手順 5 に進みます。

   既存のコンピュータでプリンタを使用する場合 次の手順に進みます。

2. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、*Drivers and Utilities* CDをセットします。

3. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。

4. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。

5. ［接続の種類の選択］画面で［ワイヤレス接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

［ワイヤレスの設定］画面が表示されます。

6. 画面に表示される手順に従い、設定を完了します。

アドホック接続を使用してプリンタをワイヤレスネットワーク上に設定する

WPS 対応プリンタは、既定ではインフラストラクチャモードを使ってワイヤレスネットワークへ接続します プリンタをアドホックモードを使ってワイヤレスネットワークへ接続するには、まずコンピュータでアドホックプロファイルを作成する必要があります。

アドホックプロファイルの作成については、インストール済みのヘルプ、または外付けネットワークアダプタ CD に付属のマニュアルを参照してください。

1. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、プリンタの*Drivers and Utilities* CDをセットします。

2. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。

3. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。

4. ［追加ソフトウェアのインストール］または［既にソフトウェアはインストールされています］画面で、［次へ］をクリックします。

5. ［接続の種類の選択］画面で［ワイヤレス接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

   ［ワイヤレスの設定］画面が表示されます。

6. ［ワイヤレスの設定］画面で、［次へ］をクリックします。

7. ［**Wi-Fi** インジケータをチェックする］画面で、操作パネルの色を選択し、［次へ］をクリックします。

8. インストールケーブルを接続し、［次へ］をクリックします。

9. ［ネットワークを選択］画面で、［別のネットワークに接続します］を選択し、［次へ］をクリックします。

10. ネットワークの一覧で、アドホックプロファイルを選択し、［次へ］をクリックします。

    メモ： Wi-Fi LED が青に変わり、プリンタがワイヤレスネットワークへの接続に成功したことを示します。

11. インストールケーブルを取り外し、［次へ］をクリックします。

12. インストール画面に表示される手順に従ってセットアップを完了します。

Wi-Fi Protected Setup を使用してプリンタをワイヤレスネットワーク上に設定する

Wi-Fi Protected Setup（WPS）を使用できるのは、WPS 対応ルーターをご使用の場合のみです。 お使いのルーターが WPS 対応かどうか確認するには、ルーターに WPS ロゴがあるかを確認してください。

メモ： Wi-Fi Protected Setup（WPS）は、上級ユーザーのみがご使用になることをお勧めします。

WPS のセットアップを始める前に、以下の WPS 方式のルーターの IP アドレスの確認が必要です。

- PIN 方式を使用する Wi-Fi Protected Setup。 （⇒ Wi-Fi Protected Setup PIN 方式を使用する）
- ルーターの Web ページのプッシュボタンを使用する Wi-Fi Protected Setup。 （⇒ ルーターの Web ページの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する）

ルーターのプッシュボタンを使用する Wi-Fi Protected Setup では、ルーターの IP アドレスは不要です。 （⇒ ルーターの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する）

ルーターの IP アドレスが良く分からない場合は、一時的に USB ケーブルを使用してワイヤレスネットワーク上にプリンタを設定する（ほとんどのユーザーに推奨）の手順に従ってください。

メモ： ワイヤレスネットワークのセキュリティが無効になっている場合は、必ず WPS の設定を進める前にセキュリティ設定を有効にしてください。 詳細については、ワイヤレスルーターの製造元のマニュアルを参照してください。 ワイヤレスネットワークのセキュリティを有効にしない場合は、WPS を使用するプリンタの設定により、ワイヤレスネットワーク設定が変更される場合があります。 現在のワイヤレスネットワーク設定を確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。 ネットワークセットアップページの印刷方法については、ネットワーク設定ページを印刷するを参照してください。

Wi-Fi Protected Setup PIN 方式を使用する

1. 新しいデルコンピュータでプリンタを使用する場合は、 プリンタの背面にある USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。 手順 6 に進みます。

   既存のコンピュータでプリンタを使用する場合は、 次の手順に進みます。

2. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、*Drivers and Utilities* CDをセットします。

3. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。

4. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。

5. ［追加ソフトウェアのインストール］または［既にソフトウェアはインストールされています］画面で、［次へ］をクリックします。

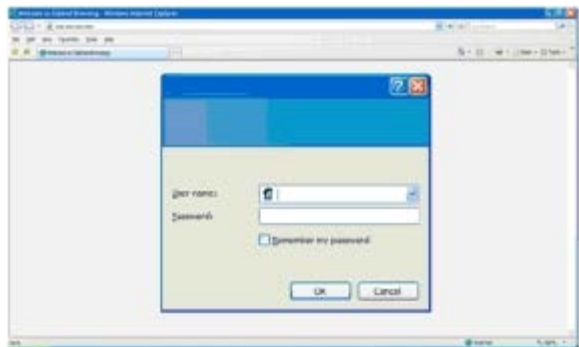
6. ［接続の種類の選択］画面で［ワイヤレス接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

7. ［ワイヤレスの設定］画面が表示されるまで待ちます。

8. インターネットブラウザでルーターの IP アドレスに入力して **Enter** を押します。

   ルーターの Web ページが開きます。 Wi-Fi Protected Setup（WPS）セクションへ移動します。

IP Address

メモ： ユーザー名とパスワードを入力するよう、メッセージが表示される場合があります。 ユーザー名とパスワードがわからない場合は、ルーターの製造元のサポート担当か、インターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。

9. プリンタ操作パネルの左右の矢印ボタンで［セットアップ］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

10. 左右の矢印ボタンで［ネットワーク設定］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

11. 左右の矢印ボタンで［Wi-Fi Protected Setup］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

12. 左右の矢印ボタンで［PIN］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

13. 続行するには［設定］ボタンを押します。

14. プリンタ操作パネルに表示される PIN をルーターの WPS ページの［PIN］フィールドに 2 分以内に入力します。 設定が完了するのを待ちます。

    - 設定に成功した場合

    プリンタ操作パネルに「WPS（Wi-Fi Protected Setup）成功」と表示されます。

    プリンタの Wi-Fi LED がブルーに変わったかどうか確認します。 （⇒ Wi-Fi LED） 手順 15に進みます。

    - 設定が失敗またはタイムアウトした場合

    数分間待ってから、手順 14から手順 9の手順をもう一度行います。

15. ルーターの WPS ページを閉じます。

16. インストール画面に表示される手順に従って設定を完了します。

ルーターの Web ページの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する

1. 新しい *Dell* コンピュータでプリンタを使用する場合 プリンタの背面にある USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。 手順 6 に進みます。

   既存のコンピュータでプリンタを使用する場合 次の手順に進みます。

2. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、*Drivers and Utilities* CDをセットします。

3. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。

4. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。

5. ［追加ソフトウェアのインストール］または［既にソフトウェアはインストールされています］画面で、［次へ］をクリックします。

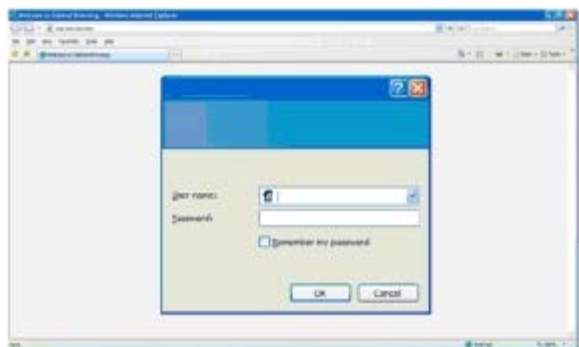
6. ［接続の種類の選択］画面で［ワイヤレス接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

7. ［ワイヤレスの設定］画面が表示されるまで待ちます。

8. インターネットブラウザでルーターの IP アドレスに入力して **Enter** を押します。

ルーターの Web ページが開きます。 WPS セクションへ移動します。

IP Address

メモ： ユーザー名とパスワードを入力するよう、メッセージが表示される場合があります。 ユーザー名とパスワードがわからない場合は、ルーターの製造元のサポート担当か、インターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。

9. プリンタ操作パネルの左右の矢印ボタンで［セットアップ］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

10. 左右の矢印ボタンで［ネットワーク設定］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

11. 左右の矢印ボタンで［Wi-Fi Protected Setup］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

12. 左右の矢印ボタンで［プッシュボタン］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

13. 続行するには［設定］ボタンを押します。

14. ルーターの WPS ページで［プッシュボタン］を 2 分以内にクリックします。 設定が完了するのを待ちます。

- 設定に成功した場合

プリンタ操作パネルに「WPS（Wi-Fi Protected Setup）成功」と表示されます。

プリンタの Wi-Fi LED がブルーに変わったかどうか確認します。 （⇒ Wi-Fi LED） 手順 15に進みます。

- 設定が失敗またはタイムアウトした場合

数分間待ってから、手順 14から手順 9の手順をもう一度行います。

15. ルーターの WPS ページを閉じます。

16. インストール画面に表示される手順に従ってセットアップを完了します。

ルーターの Wi-Fi Protected Setup ボタンを使用する

1. 新しい *Dell* コンピュータでプリンタを使用する場合 プリンタの背面にある USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。 手順 6 に進みます。

   既存のコンピュータでプリンタを使用する場合 次の手順に進みます。

2. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、*Drivers and Utilities* CDをセットします。
3. ［ホーム］画面で、［次へ］をクリックします。
4. ［このライセンス契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。
5. ［追加ソフトウェアのインストール］または［既にソフトウェアはインストールされています］画面で、［次へ］をクリックします。

6. ［接続の種類の選択］画面で［ワイヤレス接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

7. ［ワイヤレスの設定］画面が表示されるまで待ちます。

8. プリンタ操作パネルの左右の矢印ボタンで［セットアップ］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

9. 左右の矢印ボタンで［ネットワーク設定］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

10. 左右の矢印ボタンで［Wi-Fi Protected Setup］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

11. 左右の矢印ボタンで［プッシュボタン］までスクロールし、［設定］ボタンを押します。

12. 続行するには［設定］ボタンを押します。

13. ルーターにあるプッシュボタンを 2 分以内に押します。 設定が完了するのを待ちます。

> メモ： 設定に必要な時間は、ルーターによって前後します。 ルーターのボタンを押すまでにかけることができる時間（設定のための接続の有効時間）については、ルーターのマニュアルを参照してください。

- 設定に成功した場合

プリンタ操作パネルに「WPS（Wi-Fi Protected Setup）成功」と表示されます。

プリンタの Wi-Fi LED がブルーに変わったかどうか確認します。 （⇒ Wi-Fi LED） 手順 15に進みます。

Wi Fi

- 設定が失敗またはタイムアウトした場合

数分間待ってから、手順 13 から手順 8 をもう一度行います。

14. インストール画面に表示される手順に従ってセットアップを完了します。

Windows Vista を使用する

WPS を使用してワイヤレスネットワーク上でプリンタを設定するには、プッシュボタンまたは PIN 方式の代わりに Windows Vista™ を使用できます。 Windows Vista の使用の詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

ネットワーク設定ページを印刷する

IP アドレスや、SSID、BSS タイプ、ワイヤレスセキュリティモードなどのワイヤレスネットワーク設定を確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。

1. プリンタ操作パネルのメインメニューで、左右の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. 左右の矢印ボタン を使って［ネットワーク設定］までスクロールし、［設定］ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［設定ページの印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   プリンタのディスプレイに表示される手順に従います。 設定情報が印刷されます。

   プリントサーバーの IP アドレスには、［**TCP / IP**］セクションで［**Address:**］という見出しが付いています。

DHCP の設定を変更する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）では、IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイの割り当てが自動で行われます。 IP アドレスを手動で割り当てるには、操作パネルで DHCP を無効に設定する必要があります。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［セットアップ］メニューで、左右の矢印ボタン を使用して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［TCP/IP］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［DHCP 有効］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を使用して選択するオプションまでスクロールし、設定ボタン を押します。

インストール後にワイヤレス設定を変更する

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリンタを設定するには、ワイヤレスプリンタを USB ケーブルでコンピュータに接続し、*Drivers and Utilities* CD を起動する必要があります。

インストール後にワイヤレスプリントサーバーの設定の変更が必要な場合は、CD は必要ありません。 ワイヤレス接続ユーティリティを起動します。

Windows Vista の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。
2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
3. ［**Dell V505**］をクリックします。
4. ［**Dell** ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。
5. 画面に表示される手順に従い、ワイヤレス設定を変更します。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

1. ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
2. ［**Dell** ワイヤレス接続ユーティリティ］をクリックします。
3. 画面に表示される手順に従い、ワイヤレス設定を変更します。

ワイヤレス接続ユーティリティを使用すると、設定を順に行うことができます。 ウィザードにより、ワイヤレスネットワーク設定を自動的に検出したり、ネットワーク設定を手動で入力できます。

操作パネルのメニューについて

コピーモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
コピー	コピーカラー
	枚数
	品質
	明るさ
	用紙設定
	両面コピー
	ズーム
	繰り返し
	部単位
	割り付け
	原稿サイズ
	原稿の種類
	ID カードコピー

コピーモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタンを使用して［コピー］までスクロールします。
2. 設定ボタンを押します。
3. 左右の矢印ボタンを使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタンを押します。
4. 左右の矢印ボタンを使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
5. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタンを押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
コピーカラー	カラーまたはモノクロの別を選択します。 • *カラー • 黒
枚数	印刷する部数を数字（1 ～ 99）で入力します。
品質	コピーの品質を選択します。 • *自動 • 高速 • 通常 • 高品質
明るさ	左右の矢印ボタン を使用して、明るさの設定を指定します。
用紙設定	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。 • 用紙サイズ 　◦ *8.5x11” 　◦ 8.5x14” 　◦ A4 　◦ B5 　◦ A5 　◦ A6 　◦ L 　◦ 2L 　◦ ハガキ 　◦ 3x5” 　◦ 4x6” 　◦ 4x8” 　◦ 5x7” 　◦ 10x15 cm 　◦ 10x20 cm 　◦ 13x18 cm • 用紙の種類 　◦ *自動検出 　◦ 普通紙 　◦ マット紙 　◦ 高品質 　◦ OHP フィルム
両面コピー	コピーの方法を選択します • *片面から片面 • 片面から両面 • 両面から両面 • 両面から片面
ズーム	原稿を拡大または縮小する割合を指定します。 • 50% • *100% • 150% • 200% • 任意倍率 • 用紙に合わせる • 2 x 2 ポスター • 3 x 3 ポスター

	• 4 x 4 ポスター
繰り返し	1 ページに画像を繰り返して印刷する回数を指定します。 • *1 枚/ページ • 4 枚/ページ • 9 枚/ページ • 16 枚/ページ
丁合い	丁合い印刷を行うかどうかを指定します。 • *オフ • オン
割り付け	1 枚の用紙にコピーするページの数を選択します。 • *1 ページ • 2ページ • 4ページ
原稿サイズ	コピーする原稿のサイズを選択します。 • *自動 • 8.5x11” • 2.25x3.25” • 3x5” • 3.5x5” • 4x6” • 4x8” • 5x7” • 8x10” • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 60x80 mm • 9x13 cm • 10x15 cm • 10x20 cm • 13x18 cm • 20x25 cm
原稿の種類	コピーする原稿の種類を選択します。 • *テキスト/グラフィックス • テキストのみ • 高品質 • 自動設定 メモ： お使いのプリンタは、［原稿の種類］の設定を自動的に変更してコピーの品質を向上する［スマートコピー］機能を備えています。［原稿の種類］が［自動］（デフォルト）に設定されている場合、プリンタはコピー前に各原稿をスキャンし、鮮やかなカラー、ニュートラルなグレー、鮮明なテキスト、細やかな画像を実現するために設定を最適化します。
ID カードコピー	名刺の両面を 1 つのページにコピーします。 スキャナの左上に ID カードをセットし、 を押して続けます。 メモ： ID カードコピーはレターまたは A4 用紙でのみ有効です。

* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定

スキャンモード

スキャンモードメニューが使用できるのは、プリンタがコンピュータまたはネットワークアダプタに接続されている場合のみです。

メインメニュー	モードのメインメニュー
スキャン	スキャンカラー
	パソコンに保存
	ネットワークスキャン
	メモリデバイスに保存
	品質
	原稿サイズ

スキャンモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［スキャン］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
5. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
スキャンカラー	カラーまたはモノクロの別を選択します。 • *カラー • 黒
パソコンに保存	• プリンタがローカルで接続されている場合（*USB* を使用）： 左右の矢印ボタン を使用して、画像または文書を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。 • プリンタがネットワークに接続されている場合： 左右の矢印ボタン を使用して選択可能なコンピュータ名をスクロールし、設定ボタン を押してコンピュータで使用できるアプリケーションのリストにアクセスします。
ネットワークスキャン	スキャンした画像や文書をネットワークに接続されたコンピュータの一覧に送ることができます。 メモ： スキャンした画像またはドキュメントを送るコンピュータで PIN が必要な場合は、スキャンを開始する前に PIN の入力を求めるメッセージが表示されます。 ネットワーク経由でのスキャンについての詳細については、ネットワーク経由でドキュメント

	または写真をスキャンするを参照してください。
メモリデバイスに保存	原稿台または ADF にセットした文書や画像を、セットしたメモリカードまたは USB キーに自動的に保存します。
品質	原稿または画像をスキャンする解像度を選択します。 • *自動 • 75 dpi • 150 dpi • 300 dpi • 600 dpi • 1200 dpi
原稿サイズ	スキャンする原稿のサイズを選択します。 • *自動検出 • 8.5x11" • 2.25x3.25" • 3x5" • 3.5x5" • 4x6" • 4x8" • 5x7" • 8x10" • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 60x80 mm • 9x13 cm • 10x15 cm • 10x20 cm • 13x18 cm • 20x25 cm
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

FAX モード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
FAX	FAX カラー	*モノクロ	
		カラー：	
	アドレス帳	表示	
		追加	
		削除	
		変更	
		［印刷］	
	オンフック		

	日時指定	予約送信	
		保留 FAX の表示	
	品質	*標準	
		ファイン	
		スーパーファイン	
		ウルトラファイン	
	明るさ		
	原稿サイズ	*8.5X11”	
		A4	
	FAX 設定	管理レポート	通信管理レポート
			送信結果
			管理レポートの表示
		着信音と受信	自動受信
			着信音量
			受信モード
			着信音の選択
			転送
			通知形式
			受信コード
		印刷設定	用紙設定
			用紙に合せて縮小
			フッター
			両面 FAX
		ダイヤルと送信	FAX 番号
			発信者名
			回線の種類
			ダイヤル間隔
			リダイヤル回数
			外線発信番号
			ダイヤル音量
			スキャン
			送信速度
			自動 FAX 変換
			エラー修正
		着信拒否	オン/オフ
			追加
			削除
			変更
			［印刷］

			非通知拒否

FAX モードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタンを使用して［FAX］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。
3. 電話番号の入力を求める画面が表示されます。 設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
6. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存するか、サブメニューに切り替えます。

FAX 機能を正しく使用するには、次の条件が必要です。

- プリンタの FAX コネクタ（FAX - 下側のコネクタ）が使用可能な電話線に接続されている。 セットアップの詳細については、プリンタに外部デバイスをセットアップするを参照してください。

  メモ： DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）では、デジタル回線フィルタを購入しないと、FAX 操作を行うことができません。 詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- アプリケーション内から FAX を送信する場合は、プリンタを USB ケーブルでコンピュータと接続する必要があります。

メニュー項目	可能な操作
FAX カラー	カラーまたはモノクロの別を指定します。 • *モノクロ • カラー：
アドレス帳	アドレス帳で実行する操作を指定します。 • 表示 • 追加 • 削除 • 変更 • ［印刷］ アドレス帳の詳細については、短縮ダイヤルを使用するを参照してください。
オンフック	プリンタでオンフックダイヤルを使用するには、設定ボタン を押します。
日時指定	FAX の送信日時を指定します。または、保留中の FAX を表示します。 • 予約送信 • 保留 FAX の表示
品質	送信 FAX の品質（解像度）を指定します。 • *標準 • ファイン

	スーパーファイン • ウルトラファイン
明るさ	左右の矢印ボタン を使用して、明るさの設定を指定します。 アスタリスク（*）がバーの中央にある場合、明るさの設定がデフォルトの状態であることを示します。
原稿サイズ	スキャンする FAX 原稿のサイズを指定します。 • *8.5x11” • A4
FAX 設定	プリンタの FAX 設定で、さまざまなセットアップ項目を設定します。 • 管理レポート • 着信音と受信 • 印刷設定 • ダイヤルと送信 • 着信拒否
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

［FAX 設定］メニュー

［FAX 設定］の項目で選択したオプションに応じた設定がディスプレイに表示されます。

1. ［**FAX** 設定］メニューで、左右の矢印ボタン を使用して、選択可能なオプションをまでスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。

［FAX 設定］メニュー

メニュー項目	可能な操作
管理レポート	印刷設定を行うレポートの種類を指定します。 • 通信管理レポート • 送信結果 • 管理レポートの表示 ［管理レポート］の項目に含まれるオプションの詳細については、その他の FAX オプションを参照してください。
着信音と受信	プリンタの FAX 設定で、さまざまな受信方法や着信音の機能を設定します。 • 自動受信 • 着信音量 • 受信モード • 着信音の選択 • 転送 • 通知形式 • 受信コード ［自動受信と呼出音］の項目に含まれるオプションの詳細については、その他の FAX オプションを参照してください。
印刷設定	FAX を印刷する方法についての設定を行います。 • 用紙設定 • 用紙に合せて縮小 • フッター • 両面 FAX ［印刷設定］の項目に含まれるオプションの詳細については、その他の FAX オプション を参照してください。

ダイヤルと送信	FAX の送信方法を制御するさまざまなオプションを設定します。 • 発信元 FAX 番号 - テンキーを使用して自局の FAX 番号を入力します。 ここで入力した番号が FAX のフッターで使用されます。 • 発信者名 - テンキーを使用して発信者名を入力します。 ここで入力した名前が FAX のフッターで使用されます。 • 回線の種類 • ダイヤル間隔 • リダイヤル回数 • 外線発信番号 • ダイヤル音量 • スキャン • 送信速度 • 自動 FAX 変換 • エラー修正 ［ダイヤルと送信］の項目に含まれるオプションの詳細については、その他の FAX オプションを参照してください。
着信拒否	FAX の着信を拒否する番号を追加または削除します。 • オン/オフ • 追加 • 削除 • 変更 • ［印刷］ • 非通知拒否 ［着信拒否］の項目に含まれるオプションの詳細については、その他の FAX オプションを参照してください。

その他の FAX オプション

1. 左右の矢印ボタン を使用して、選択できるオプションをスクロールします。
2. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存します。

その他の FAX オプション

メニュー項目	可能な操作
通信管理レポート	通信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。 • *リクエスト時 • FAX 40 通毎
送信結果	送信管理レポートを印刷する頻度を指定します。 • *エラー時 • オフ時 • 毎回印刷
管理レポートの表示	印刷する管理レポートまたは履歴の種類を指定します。 • 通信管理レポート • 送信履歴 • 受信履歴 • 設定のリスト
自動受信	自動受信設定を指定します。 • *オン • 時間指定

	• オフ時
着信音量	着信時のプリンタの内蔵スピーカーの音量を指定します。 • オフ時 • *低 • 高
受信モード	プリンタが［自動受信］モードに設定されている場合に、FAX を受信するまでの着信音の回数を指定します。 • 着信音 1 回後 • 着信音 2 回後 • *着信音 3 回後 • 着信音 5 回後 メモ： 着信拒否機能を使用するには、着信音を 2 回以上に設定する必要があります。
着信音の選択	プリンタが着信に応答する着信音の種類を指定します。 既定の［指定なし］の設定では、プリンタはすべての着信に応答します。 • *指定なし • シングル • ダブル • トリプル
転送	着信した FAX を別の FAX 番号に転送するかどうかを指定します。 • *オフ • 転送 • 印刷して転送
通知形式	使用する通知形式を指定します。 • *パターン 1 • パターン 2 • パターン n メモ： 国/地域の設定に応じて、表示されるパターン番号は異なります。
受信コード	自動応答がオフになっている場合や、専用着信音が選択されている場合でも、受信 FAX を手動で受信します。 メモ： 既定の受信コードは 3355# です。電話機またはプリンタのテンキーを使って最大 7 桁の文字を入力し、受信コードを変更することができます。
用紙設定	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。 メモ： 国/地域の設定により、既定の用紙サイズは異なります。 • 用紙サイズ 　◦ *8.5x11” 　◦ 8.5x14” 　◦ A4 　◦ B5 　◦ A5 　◦ A6 　◦ L 　◦ 2L 　◦ ハガキ 　◦ 3x5” 　◦ 4x6” 　◦ 4x8” 　◦ 5x7” 　◦ 10x15 cm 　◦ 10x20 cm 　◦ 13x18 cm

	- 用紙の種類
	    ○ *自動検出
	    ○ 普通紙
	    ○ マット紙
	    ○ 高品質
	    ○ OHP フィルム

用紙に合せて縮小	用紙サイズより大きな FAX を、給紙トレイの用紙に合わせて縮小するかどうかを指定します。 - *用紙に合わせる - しない
フッター	受信した各 FAX のフッターに時刻/日付/ページ数/システム ID を印刷するかどうかを指定します。 - *オン - オフ時
両面 FAX	受信した FAX の印刷方法を指定します。 - *片面 - 両面
回線の種類	プリンタで使用する回線の種類を指定します。 - *タッチトーン* - パルス - PBX 経由
ダイヤル間隔	送信できなかった FAX 番号をリダイヤルするまでにプリンタが待機する時間を指定します。 - 1 分 - *2 分 - 3 分 - 4 分 - 5 分 - 6 分 - 7 分 - 8 分
リダイヤル回数	送信できなかった FAX 番号をリダイヤルする回数を指定します。 - 0 回 - 1 回 - 2 回 - *3 回 - 4 回 - 5 回
外線発信番号	ダイヤルする各番号の前に追加する 8 桁以下の番号を指定します。 メモ： ダイヤルする際には、外線発信番号の後に自動的にポーズが挿入されます。 外線発信番号が設定されていない場合： - *なし - 作成 外線発信番号が設定されている場合： - *現在 - なし

ダイヤル音量	発信音量を指定します。 • オフ時 • *低 • 高
スキャン	FAX 番号をダイヤルする前または後で、原稿をスキャンしてメモリに保存するかどうかを指定します。 • *ダイヤル前 • ダイヤル後
送信速度	FAX の最高送信速度を指定します。 • 2400 • 4800 • 7200 • 9600 • 12000 • 14400 • 16800 • 19200 • 21600 • 24000 • 26400 • 28800 • 31200 • *33600
自動 FAX 変換	自動 FAX 変換機能のオン/オフを切り替えます。 低解像度で出力する FAX 機器に高解像度の原稿を送信する場合、プリンタは自動的に解像度を変換して、送信先の FAX 機器に合わせます。 • *オン • オフ時
エラー修正	エラー修正機能を有効にするかどうかを指定します。 • *オン • オフ時
オン/オフ	着信拒否機能のオン/オフを切り替えます。 • オン • *オフ
追加	このプリンタへの FAX 送信を拒否する FAX 番号と発信者名を入力します。 メモ： FAX 番号は最大 64 桁、発信者名は最大 24 文字まで入力できます。
削除	着信拒否リストのエントリを削除します。
変更	着信拒否のエントリを変更または編集します。
［印刷］	着信拒否リストを印刷します。
非通知拒否	番号非通知の FAX を受信しない機能のオン/オフを切り替えます。 • オン • *オフ
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

写真モード

メモリカードをプリンタにセットしているか、USB キーまたは PictBridge 対応のデジタルカメラを PictBridge ポートに接続している場合にのみ、写真プリントモードを使用できます。

メインメニュー	モードのメインメニュー
高品質	コンピュータの選択
	セレクトシート
	DPOF 印刷
	写真のカラー
	自動修整
	写真の保存
	画像の印刷
	写真サイズ
	用紙設定
	品質

写真プリントモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。 データが破損する場合があります。

2. メモリカードまたは USB キーに写真のみが含まれている場合、ディスプレイは自動的に写真モードに切り替わります。 左右の矢印ボタンを使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタンを押します。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真の両方が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージが表示されます。 左右の矢印ボタンを使って［写真］までスクロールし、設定ボタンを押します。

3. 左右の矢印ボタンを使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。

4. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタンを押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
コンピュータの選択	写真を保存するコンピュータを選択します。 プリンタがネットワーク接続され、ネットワーク接続をサポートしているコンピュータのリストを受信している場合にのみ有効です。
セレクトシート	セレクトシートを使用して、写真の印刷方法を管理します。 • ［セレクトシートの印刷］サブメニューで、左右の矢印ボタンを使用して以下の設定を選択します。 　◦ すべて 　◦ 最新 25 枚 　◦ 期間

	［セレクトシートのスキャン］サブメニューで、［スタート］ボタン を押してセレクトシートのスキャンを開始します。 （⇒ セレクトシートを使用して写真を印刷する）
DPOF 印刷 メモ： DPOF（Digital Print Order Format）画像を保存しているメモリカードがプリンタにセットされているか、DPOF 画像を保存している PictBridge 対応デジタルカメラが PictBridge ポートに接続されている場合にのみ、このメニュー項目を使用できます。	［スタート］ボタン を押すと、メモリカードの DPOF 画像がすべて印刷されます。 （⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する）
写真のカラー	写真のカラーを指定します。 • *カラー • モノクロ • セピア
自動修整	写真の画質を自動で修整します。 • *オフ • オン
写真の保存	メモリカード、USB メモリ、または PictBridge 対応デジタルカメラ上の写真を保存する場所を選択します。 • コンピュータ • ネットワーク メモ： プリンタを USB ケーブルで直接接続している場合、スタートボタン を押すと、コンピュータで **Dell Imaging Toolbox** が起動します。
画像の印刷	スタートボタン を押すと、メモリカード、USB キー、または PictBridge 対応デジタルカメラの画像がすべて印刷されます。
写真サイズ	写真のサイズを指定します。 • Wallet • 3.5x5” • *4x6” • 5x7” • 8x10” • L • 2L • 6x8 cm • 10x15 cm • 13x18 cm • 8.5x11” • A4 • A5 • B5 • A6 • ハガキ
用紙設定	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを指定します。 • 用紙サイズ 　○ *8.5x11” 　○ 8.5x14” 　○ A4

	- B5 - A5 - A6 - L - 2L - ハガキ - 3x5” - 4x6” - 4x8” - 5x7” - 10x15 cm - 10x20 cm - 13x18 cm • 用紙の種類 - *自動検出 - 普通紙 - マット紙 - 高品質 - OHP フィルム
品質	写真の印刷品質を設定します。 • *自動 • 高速 • 通常 • 高品質
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

Office ファイルモード

Office ファイルモードを使用できるのは、文書が保存されているメモリカードまたは USB メモリがプリンタにセットされている場合、または プリンタが構成済みのネットワークアダプタに接続されている場合のみです。 Office ファイルモードを使用するには、まず MS Office のインストールが必要です。

プリンタは、以下の拡張子のファイルを認識します。

- .doc（Microsoft® Word）
- .xls（Microsoft Excel）
- .ppt（Microsoft PowerPoint®）
- .pdf（Adobe® Portable Document Format）
- .rtf（リッチテキスト形式）
- .docx（Microsoft Word Open Document Format）
- .xlsx（Microsoft Excel Open Document Format）
- .pptx（Microsoft PowerPoint Open Document Format）
- .wps（Microsoft Works）
- .wpd（Word Perfect）

メモ： **Office** ファイルモードメニューを使用するには、USB ケーブル経由でプリンタがコンピュータに接続され、適切なプリンタソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。

Office ファイルモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. コンピュータがプリンタに接続され、電源がオンになっていることを確認します。

2. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。 データが破損する場合があります。

3. メモリカードまたは USB キーに文書のみが含まれている場合、ディスプレイは自動的に `Office` ファイルモードに切り替わります。 左右の矢印ボタン を押してファイルをスクロールし、スタートボタン を押して印刷します。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真の両方が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。 左右の矢印ボタン を押して［文書］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン を押します。

Office ファイルモードのメニュー項目	設定
ファイルの選択	左右の矢印ボタン を使用して、USB キーまたはメモリカードに保存されたフォルダとファイルをスクロールします。 設定ボタン を押してフォルダの内容を表示するか、スタートボタン を押して印刷します。

PictBridge モード

PictBridge 対応のカメラを接続すると、プリンタは自動的に PictBridge モードに切り替わります。 カメラを操作することで写真を印刷できます。 （⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する）

メインメニュー	モードのメインメニュー
PictBridge	用紙設定
	写真サイズ
	レイアウト
	品質

1. プリンタが PictBridge モードに切り替わったら、左右の矢印ボタン を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン を押します。

2. 左右の矢印ボタン を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。

3. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作

用紙設定	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを指定します。
	
	- 用紙サイズ
	  - *8.5x11”
	  - 8.5x14”
	  - A4
	  - B5
	  - A5
	  - A6
	  - L
	  - 2L
	  - ハガキ
	  - 3x5”
	  - 4x6”
	  - 4x8”
	  - 5x7”
	  - 10 x 15 cm
	  - 10 x 20 cm
	  - 13 x 18 cm
	- 用紙の種類
	  - *自動検出
	  - 普通紙
	  - マット紙
	  - 高品質
	  - OHP フィルム

写真サイズ	印刷する写真のサイズを選択します。 - Wallet - 3.5X5” - *4x6” - 5x7” - 8x10” - 8.5x11” - L - 2L - ハガキ - A6 - A5 - B5 - A4 - 60x80 mm - 9x13 cm - 10x15 cm - 13x18 cm - 20x25 cm - レイアウトの使用 メモ： ［レイアウトの使用］オプションは、写真サイズとレイアウトが一致していない場合に限り、写真サイズの一覧に表示されます。
レイアウト	印刷するページの写真のレイアウトを指定します。 - *自動 - フチなし - 1 枚/ページ - 2 枚/ページ - 3 枚/ページ - 4 枚/ページ - 6 枚/ページ - 8 枚/ページ - 16 枚/ページ - 中央

品質	写真の印刷品質（解像度）を指定します。 • ＊自動 • 高速 • 通常 • 高品質
用紙の種類	給紙トレイにセットされている用紙の種類を指定します。 • ＊自動検出 • 普通紙 • マット紙 • 高品質 • OHP フィルム
＊ 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

Bluetooth モード

Bluetooth™ アダプタ（別売）を PictBridge ポートにセットすると、プリンタは自動的に Bluetooth モードに切り替わります。

メインメニュー	モードのメインメニュー
Bluetooth	有効
	検出
	プリンタ名
	セキュリティレベル
	パスキー
	デバイスリストの消去

1. 左右の矢印ボタンを使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタンを押します。
2. 左右の矢印ボタン を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
3. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
有効	プリンタが Bluetooth 接続を受け入れ、USB Bluetooth アダプタが他の Bluetooth 対応デバイスと通信できるようにします。 • オフ時 • オン ＊
検出	他の Bluetooth 対応デバイスが、プリンタに接続された USB Bluetooth アダプタを検出できるようにします。 • オフ時 • オン ＊
プリンタ名	プリンタの名前とサービスタグナンバーを表示します。

	メモ： *Bluetooth* ワイヤレス仕様を使用してコンピュータに接続されているデバイスとして、この名前がプリンタの一覧に表示されます。
セキュリティレベル	Bluetooth 接続のセキュリティ設定を行います。 • 高 • 低 *
パスキー	パスキーを指定します。 すべての Bluetooth 対応の外部デバイスで、印刷ジョブを送信する前にこのパスキーを入力する必要があります。 メモ： セキュリティレベルが［高］に設定されている場合は、パスキーを指定する必要があります。
デバイスリストの消去	リストにあるデバイス名を削除します。 設定ボタン を押すと、デバイスリストがクリアされます。 リストがクリアされる前に、確認メッセージが表示されます。 メモ： このサブメニューは、セキュリティレベルが［高］に設定されている場合にのみ利用できます。 メモ： プリンタには、最大 8 つの Bluetooth 対応の外部デバイスを保存できます。 プリンタで検出されたデバイスが 8 つを超えた場合、使用頻度が最も少ないデバイスがリストから削除されます。
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

セットアップモード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
セットアップ	用紙設定	用紙サイズ	
		用紙の種類	
	デバイス設定	言語	
		国/地域	
		日付/時刻	
		ホスト FAX 設定	
		ボタン音	
		節電モード	
		設定リセットタイムアウト	
		両面乾燥時間	
	標準設定	写真プリントサイズ	
		標準設定にする	
	ネットワーク設定	設定ページの印刷	
		Wi-Fi Protected Setup	プッシュボタン
			PIN
			自動
		ワイヤレス情報	SSID
			信号の強さ
		TCP/IP	DHCP 有効
			IP アドレスの表示
			IP ネットマスクの表示

			IP ゲートウェイの表示
		時刻の同期	*有効
			無効
		接続方法	*自動
			イーサネット 10/100
			ワイヤレス 802.11 b/g
		ネットワーク設定のリセット	

セットアップモードメニューにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタンを使用して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 左右の矢印ボタンを使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタンを押します。
3. 左右の矢印ボタンを使用して、選択できるメニュー項目をスクロールし、設定ボタンを押します。

セットアップモードのメニュー

メニュー項目	可能な操作
用紙設定	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。 • 用紙サイズ 　◦ *8.5x11" 　◦ 8.5x14" 　◦ A4 　◦ B5 　◦ A5 　◦ A6 　◦ L 　◦ 2L 　◦ ハガキ 　◦ 3x5" 　◦ 4x6" 　◦ 4x8" 　◦ 5x7" 　◦ 10x15 cm 　◦ 10x20 cm 　◦ 13x18 cm • 用紙の種類 　◦ *自動検出 　◦ 普通紙 　◦ マット紙 　◦ 高品質 　◦ OHP フィルム
デバイス設定	再設定する操作パネルの設定を選択します。 • 言語 • 国/地域 • 日付/時刻 • ホスト FAX 設定 • ボタン音 • 節電モード • 設定リセットタイムアウト • 両面乾燥時間

	(⇒ ［プリンタ設定］のオプション)
標準設定	標準設定を、出荷時の設定から任意に指定する設定に変更します。 • 写真プリントサイズ • 標準設定にする (⇒ 標準設定のオプション)
ネットワーク設定	ネットワーク設定を指定します。 • 設定ページの印刷 • Wi-Fi Protected Setup • ワイヤレス情報 • TCP/IP メニュー • 時刻の同期 • 接続方法 • ネットワーク設定のリセット (⇒ ネットワーク設定のオプション)
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

［プリンタ設定］のオプション

［セットアップ］メニューから［プリンタ設定］を選択すると、操作パネルの設定を再設定できます。

［プリンタ設定］メニュー

メニュー項目	可能な操作
言語	使用する言語を指定します。
国/地域	使用する国を指定します。
日付/時刻	現在の日時を入力します。
ホスト FAX 設定	プリンタの FAX 設定をプリンタ設定ユーティリティから再設定できるようにするかどうかを指定します。 • *許可 • 禁止
ボタン音	操作パネルのボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを指定します。 • *オン • オフ時
節電モード	プリンタが節電モードに移行するまでの時間を指定します。 • すぐに • 10 分後 • 30 分後 • *60 分後 • 120 分後 • 240 分後
設定リセットタイムアウト	設定がクリアされて標準設定に戻るまでの時間を指定します。 • *2 分後 • オフ
両面乾燥時間	ドキュメントが両面印刷ユニットに自動で再セットされるまでの、両面の乾燥時間の合計を指定します。 • *標準 • 延長

* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

標準設定のオプション

［セットアップ］メニューから［標準設定］を選択すると、操作パネルの標準設定を指定できます。

［標準設定］メニュー

メニュー項目	可能な操作
写真プリントサイズ	写真のサイズを指定します。
標準設定にする	プリンタで使用する設定を指定します。 • 現在の設定 • 出荷時設定

ネットワーク設定のオプション

［セットアップ］メニューから［ネットワークの設定］を選択すると、ネットワーク設定のオプションを設定できます。

［ネットワーク設定］メニュー

メニュー項目	可能な操作
設定ページの印刷	ワイヤレスネットワーク設定のリストを印刷します。
Wi-Fi Protected Setup	Wi-Fi 保護で使用する設定の種類を指定します。 • プッシュボタン • PIN • 自動 メモ： Wi-Fi Protected Setup メニューは、アクティブな接続がワイヤレスであるときのみ使用できます。
ワイヤレス情報	ワイヤレス設定オプションを表示します。 • SSID • 信号の強さ
TCP/IP メニュー	TCP/IP オプションを設定します。 • DHCP 有効 • *DHCP* が無効の場合、ディスプレイに次の項目が表示されます。 　◦ IP アドレス 　◦ ネットマスク 　◦ ゲートウェイ • *DHCP* が有効の場合、ディスプレイに次の項目が表示されます。 　◦ IP アドレスの表示 　◦ IP ネットマスクの表示 　◦ IP ゲートウェイの表示
時刻の同期	ネットワークのタイムサーバーに従ってプリンタの内蔵クロックを更新できるようにします。 • *有効 • 無効
接続方法	使用するネットワークの種類を指定します。 • *自動 • イーサネット 10/100 • ワイヤレス 802.11b/g

ネットワーク設定のリセット	すべてのワイヤレスネットワーク設定をクリアまたは保持します。 • いいえ • はい

ワイヤレス情報メニュー

メニュー項目	可能な操作
SSID	現在使用している SSID を表示します。 メモ： ［ネットワーク名］の値は変更できません。
信号の強さ	現在のワイヤレス信号強度を表示します。

TCP / IP

メニュー項目	可能な操作
DHCP 有効	プリンタの DHCP 機能を有効にします。 • *はい • いいえ メモ： DHCP が有効の場合、IP アドレス、IP ネットマスク、または IP ゲートウェイを変更または設定することはできません。
IP アドレス	テンキーを使用して、IP アドレスを入力します。 設定ボタン ✓ を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP アドレスは変更できません。 代わりに、ディスプレイに［IP アドレスの表示］が表示されます。
ネットマスク	テンキーを使用して、IP ネットマスクを入力します。 設定ボタン ✓ を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP ネットマスクは変更できません。 代わりに、ディスプレイに［IP ネットマスクの表示］が表示されます。
ゲートウェイ	テンキーを使用して、IP ゲートウェイを入力します。 設定ボタン ✓ を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP ゲートウェイは変更できません。 代わりに、ディスプレイに［IP ゲートウェイの表示］が表示されます。
*** 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定**	

メンテナンスモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
メンテナンス	インク残量
	ノズル清掃
	プリントヘッド調整
	テスト印刷

メンテナンスモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［メンテナンス］までスクロールします。
2. 設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン を押します。

メニュー項目	可能な操作
インク残量	設定ボタン を押すと、2 つのカートリッジのインク残量が表示されます。
ノズル清掃	設定ボタン を押すと、カートリッジが清掃されます。テストパターンが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。
プリントヘッド調整	設定ボタン を押すと、プリントヘッドが調整されます。調整パターンが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。
テスト印刷	設定ボタン を押すと、テストページが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。

ピアトゥピアネットワーク

Dell™ Internal Wireless Adapter 1150 を使用しなくても、プリンタをネットワーク上で他のユーザーと共有することができます。 USB ケーブルでプリンタを直接コンピュータ（ホストコンピュータ）に接続し、ピアトゥピア共有を介してネットワーク上でプリンタを共有できるようにします。 コンピュータを使用してプリンタを共有すると、コンピュータの速度が低下する可能性があります。

プリンタを共有するには：

1. プリンタに "共有名" を割り当てます。 (⇒ ネットワーク上でプリンタを共有する)
2. 接続して共有プリンタを使用するネットワークコンピュータの設定を行います。 (⇒ 他のネットワークコンピュータで共有プリンタを追加する)

ネットワーク上でプリンタを共有する

USB ケーブルでプリンタが直接接続されているホストコンピュータまたはネットワークコンピュータ上で、プリンタを共有します。

Windows Vista™ の場合：

1. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
3. ［プリンタ］をクリックします。
4. プリンタのアイコンを右クリックして、［共有］を選択します。
5. ［共有オプションの変更］をクリックします。
6. ［続行］をクリックします。
7. ［このプリンタを共有する］をクリックして、プリンタ名を割り当てます。
8. ［**OK**］をクリックします。

Windows® XP および *Windows 2000* の場合：

1. *Windows XP* の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。
2. プリンタのアイコンを右クリックして、［共有］を選択します。
3. ［このプリンタを共有する］をクリックして、プリンタ名を割り当てます。
4. ［**OK**］をクリックします。

他のネットワークコンピュータで共有プリンタを追加する

ネットワーク上の他のコンピュータとプリンタを共有するには、クライアントコンピュータで以下の手順を実行します。

*Windows Vista*の場合：

1. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
3. ［プリンタ］をクリックします。
4. ［プリンタの追加］をクリックします。
5. ［ネットワーク、ワイヤレスまたは **Bluetooth** プリンタを追加します］をクリックします。
6. 共有プリンタに手動で接続するには、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。
7. ［プリンタ名または **TCP/IP** アドレスでプリンタを検索］ダイアログボックスで、［共有プリンタを名前で選択する］をクリックしてから、プリンタの共有名を入力します。

   プリンタを共有するコンピュータの名前を確認するには、ホストコンピュータで以下の操作を行います。

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［システムとメンテナンス］をクリックします。
   c. ［システム］をクリックします。
8. ［次へ］をクリックします。
9. コンピュータの画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

1. *Windows XP* の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。
2. ［プリンタの追加］をクリックします。
3. ［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスで［次へ］をクリックします。
4. ［ローカル プリンタまたはネットワーク プリンタ］ダイアログボックスで、［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックします。
5. ［次へ］をクリックします。
6. ［プリンタの指定］ダイアログボックスで、［指定したプリンタに接続する］をクリックしてから、プリンタの共有名を入力します。

   プリンタを共有するコンピュータの名前を確認するには、ホストコンピュータで以下の操作を行います。

   a. *Windows XP* の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［パフォーマンスとメンテナンス］® ［システム］の順にクリックします。

      Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［システム］の順にクリックします。

b. ［システムのプロパティ］ダイアログボックスで、［コンピュータ名］タブをクリックします。

7. ［次へ］をクリックします。

8. コンピュータの画面に表示される手順に従って、インストールを完了します。

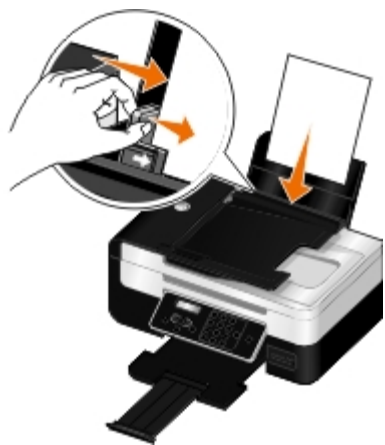
用紙や原稿をセットする

- 用紙のセット
- 自動用紙センサーのはたらき
- 原稿をセットする

用紙のセット

1．用紙をさばきます。

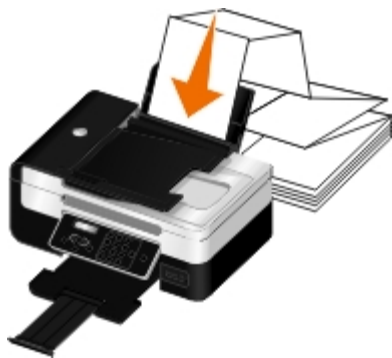
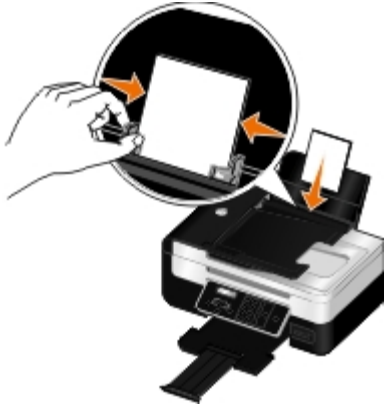
2．用紙サポートの中央に用紙をセットします。

3．用紙ガイドを用紙の両端に合わせます。

メモ： 用紙ガイドを両方同時に引っ張らないでください。 一方の用紙ガイドを移動すると、それに合わせてもう一方のガイドが調整されます。

メモ： 用紙をプリンタに無理に押し込まないでください。 用紙は、用紙サポートに沿うように平らに置き、両端が左右の用紙ガイドに接するようにセットします。

印刷用紙のガイドライン

セット可能枚数	以下の点をチェックしてください。
普通紙： 100 枚	• 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 • レターヘッド付き用紙の場合は、レターヘッドのある方をプリンタ側に向けて、印刷面を上に向けてセットします。

重量マット紙： 100 枚	- 用紙の印刷面を上に向けてセットします。 - 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 ［自動］、［標準］、または［写真］のいずれかの印刷品質を選択します。 メモ： 標準モードを使用できますが、重量マット紙、ラベル紙、写真紙、光沢紙などの高級紙へのご使用はお勧めしません。
バナー紙： 20 枚 	- 他の用紙が用紙サポートにある場合は、取り除いてからバナー紙をセットします。 - インクジェット用のバナー紙を使用してください。 - バナー紙の束をプリンタの上または後方に置き、1 枚目をプリンタに差し込みます。 - 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 ［**A4** バナー］または［**US** レター バナー］のどちらかの用紙サイズを選択します。
封筒： 10 枚 	- 封筒の印刷面を上に向けてセットします。 - 用紙ガイドを封筒の両端に合わせます。 - 印刷方向を［横］に設定します。 メモ： 国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。 海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。 - 正しい封筒サイズを選択します。 正確な封筒サイズがリストに表示されない場合は次に大きなサイズを選択し、左右にマージンを設定して封筒に印刷されるテキストの位置を調整します。
ラベル用紙： 25 枚	- ラベルシートの印刷面を上に向けてセットします。 - 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 ［自動］、［標準］、または［写真］のいずれかの印刷品質を選択します。

	メモ： 標準モードを使用できますが、重量マット紙、ラベル紙、写真紙、光沢紙などの高級紙へのご使用はお勧めしません。
グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、フォトカード： 25 枚 	• カードの印刷面を上に向けてセットします。 • 用紙ガイドをカードの端に合わせます。 • ［自動］、［標準］、または［写真］のいずれかの印刷品質を選択します。 メモ： 標準モードを使用できますが、重量マット紙、ラベル紙、写真紙、光沢紙などの高級紙へのご使用はお勧めしません。
フォトペーパー/光沢紙： 25 枚	• 用紙の印刷面を上に向けてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 • ［自動］、［標準］、または［写真］のいずれかの印刷品質を選択します。 メモ： 標準モードを使用できますが、重量マット紙、ラベル紙、写真紙、光沢紙などの高級紙へのご使用はお勧めしません。
アイロンプリント紙： 10 枚	• アイロンプリント紙のパッケージに記載されているセット手順に従います。 • アイロンプリント紙の印刷面を上に向けてセットします。 • 用紙ガイドをアイロンプリント紙の端に合わせます。 • ［自動］、［標準］、または［写真］のいずれかの印刷品質を選択します。
OHP フィルム： 50 枚	• OHP フィルムのざらざらした方の面を上に向けてセットします。 • 用紙ガイドを OHP フィルムの端に合わせます。

自動用紙センサーのはたらき

プリンタには自動用紙センサーが装備されており、以下の種類の用紙を検出できます。

- 普通紙/マット紙
- OHP フィルム
- フォトペーパー/光沢紙

これらの種類の用紙をセットすると、プリンタが用紙の種類を検出して、［品質/速度］設定が自動的に調整されます。

用紙の種類	［品質 / 速度］設定	
	ブラックカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合	フォトカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合
普通紙/マット紙	標準	高品質

OHP フィルム	標準	高品質
フォトペーパー/光沢紙	高品質	高品質

メモ： プリンタでは用紙サイズは検出されません。

用紙サイズを選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで、用紙のサイズを選択します。

4. ［**OK**］をクリックします。

自動用紙センサーはオフにしない限り、常にオンになっています。特定の印刷ジョブのために自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで、用紙の種類を選択します。

4. ［**OK**］をクリックします。

印刷実行時に常に自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista*™ の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows® *XP*の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックします。

3. ［印刷設定］をクリックします。

4. ［印刷設定］タブで、用紙の種類を選択します。

5. ［**OK**］をクリックします。

原稿をセットする

自動原稿フィーダーにセットする

スキャン、コピー、FAX を行う場合、ADF（自動原稿フィーダー）には 25 枚まで原稿をセットできます。複数ページの原稿をセットする場合は、ADF を使用してください。

1. スキャンする側を上にして、原稿を ADF にセットします。

メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

2. ADF の用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

ADF で使用できる用紙

セット可能枚数	以下の点をチェックしてください。
US レターサイズの用紙： 25 枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
リーガルサイズの用紙： 25 枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
A4 サイズの用紙： 25枚	• 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
2 つ穴、3 つ穴、4 つ穴の穴開き用紙： 25 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
3 つ穴の縁付きコピー用紙： 25 枚	• 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） • 原稿面を上にしてセットします。 • 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

フォーム用紙、レターヘッド付き用紙： 25 枚	- 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） - 原稿面を上にしてセットします。 - 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 - 印刷済みの用紙は、ADF で使用する前によく乾かしておきます。 - 印刷に金属粉インキが使用されている用紙はADFで使用しないでください。 - エンボスのある用紙は使用しないでください。
ユーザー定義サイズ用紙： 25 枚	- 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） - 原稿面を上にしてセットします。 - 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

原稿を原稿台にセットする

1. 原稿カバーを開きます。

2. 原稿を下向きにして原稿台にセットします。

メモ： このとき、原稿の表の左上角を、プリンタの矢印に合わせるようにセットしてください。

3. 原稿カバーを閉じます。

プリンタでセットアップ設定を変更する

操作パネルを使って、プリンタの言語、国/地域、および日付の設定を変更することができます。

言語を選択する

メモ： 出荷時のプリンタでは、ヘブライ語は使用できなくなっています。 操作パネルでヘブライ語を使用するには、左矢印ボタン と戻る矢印ボタン を同時に押したままにしながら、電源ボタン を押します。

1. 操作パネルで、左右の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 左右の矢印ボタン を押して［デバイス設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［言語］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   メモ： 出荷時の設定は英語です。

4. 左右の矢印ボタン を使用して、言語の一覧をスクロールします。
5. 選択する言語がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押して［はい］までスクロールし、設定ボタン を押して設定を保存します。

国を選択する

国または地域は、操作パネルで選択できます。 国設定の変更は、プリンタの既定の用紙サイズ、発信者番号通知形式といった、国や地域によって異なる設定に影響します。

1. 操作パネルで、左右の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 左右の矢印ボタン を押して［デバイス設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［国/地域］までスクロールし、設定ボタン を押します。

メモ： 出荷時の設定は、アメリカ合衆国です。

4. 左右の矢印ボタン を使用して、国/地域リストをスクロールします。

5. 選択する国/地域がディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押して設定を保存します。

日付と時刻を入力する

1. 操作パネルで、左右の矢印ボタンを押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタンを押します。
2. 左右の矢印ボタン を押して［デバイス設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［日付/時刻］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. テンキーを使って、月、日、および年を入力します。
5. 設定ボタン を押します。
6. テンキーを使って、時および分を入力します。
7. 設定ボタン を押します。
8. 左右の矢印ボタン を使って、時刻形式をスクロールします。
9. 設定ボタン を押して、設定を保存します。

出荷時の言語設定に戻す

プリンタのメニューを使用しなくても、ディスプレイの言語を出荷時の設定に戻すことができます。

メモ： この手順を実行すると、他に選択したすべての設定も出荷時の設定に戻ります。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. ［戻る］ボタン と［スタート］ボタン を押したままにして、電源ボタン を押します。
3. ディスプレイに［Lang cleared］と表示されたら、ボタンから手を放します。
4. 左右の矢印ボタン を押して、使用言語、国/地域、日付/時刻、FAX 番号、FAX 機器名を指定します。設定ボタン を押して、設定を保存します。

出荷時の設定に戻す

メニューの設定に「*」マークが付いている場合、現在の設定を示しています。プリンタの設定は、「出荷時の設定」と呼ばれる設定に戻すこ

とができます。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 操作パネルで、左右の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［標準設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［標準設定にする］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［現在の設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   これで、出荷時の設定にリセットされます。

操作パネルのデフォルト設定を変更する

操作パネルのデフォルト設定を変更するには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 操作パネルの設定を変更します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［セットアップ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［標準設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［標準設定にする］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押して［現在の設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   操作パネルの現在の設定が保存され、新しいデフォルト設定になります。

印刷

ドキュメントを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。詳細については、用紙のセットを参照してください。
3. ドキュメントを開いた状態で、［ファイル］、［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
6. 設定の変更を完了したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
7. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

写真を印刷する

コンピュータから写真を印刷する

メモ： 写真の印刷には、カラーカートリッジとフォトカートリッジの使用をお勧めします。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 印刷面を上に向けて用紙をセットします。

   メモ： 写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

3. ドキュメントを開いて［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［環境設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで［写真］を選択し、ドロップダウンメニューから写真に適したdpi（ドット/インチ）の値を選択します。

   メモ： フチなし写真を印刷するには、［印刷設定］タブで［フチなし］チェックボックスをオンにして、［アドバンス］タブのドロップダウンメニューからフチなし用紙のサイズを選択します。 フチなし印刷を実行できるのは、フォトペーパー/光沢紙を選択した場合のみです。 フォトペーパー/光沢紙以外の用紙に印刷する場合は、すべてのフチに 2 mm の余白が生じます。

6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

7. 設定の変更を完了したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

9. 印刷された写真が貼り付いたり、汚れたりしないように、プリンタから排出された写真は 1 枚ずつ取り除きます。

   メモ： 写真をアルバムや額などにはさむ場合、完全にインクが乾くまで十分に時間をおいてください（環境によって 12 ～ 24 時間かかります）。 こうすることで、写真が長持ちします。

PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する

お使いのプリンタは、PictBridge 対応カメラからの印刷をサポートしています。

1. プリンタの電源をオンにします。

2. USB ケーブルの一方の端をカメラに接続します。

3. USB ケーブルのもう一方の端をプリンタ前面の PictBridge ポートに接続します。

   カメラに適した USB の設定および PictBridge 接続の選択と、使用に関する情報については、お使いのカメラに付属する説明書を参照してください。

   メモ： プリンタがコンピュータに接続されていない場合に PictBridge 対応のカメラをプリンタに接続すると、プリンタの操作パ

ネルの機能の一部が使用できなくなる場合があります。プリンタから PictBridge 対応のカメラを外すと、これらの機能が使用できるようになります。

4. デジタルカメラの電源をオンにします。

   プリンタは、自動的に **PictBridge** モードになります。

5. 写真の印刷を開始する方法については、カメラの取扱説明書の手順を参照してください。

注意： PictBridge 印刷の実行中は、PictBridge 対応デバイスを取り外したり、メモリカードまたは PictBridge 対応デバイス付近のプリンタの部分に手を触れたりしないでください。データが破損する場合があります。

メモ： デジタルカメラの USB 設定でコンピュータとプリンタ（PTP）モードのどちらかを選択できる場合、PictBridge 印刷用にはプリンタ（PTP）モードを選択します。詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

封筒に印刷する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 印刷面を上に向けて封筒をセットします。

3. ドキュメントを開いて［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

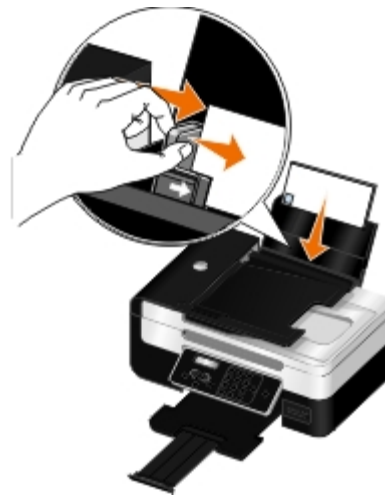
   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［印刷設定］タブで［封筒］を選択して、［用紙サイズ］ドロップダウンメニューから封筒のサイズを選択します。

   メモ： 国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。 海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。

国内で使用する封筒を印刷する場合、どちらの方向にセットしてもかまいません。

海外向けの封筒を印刷する場合は、この方向にセットしてください。

6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。
7. 設定の変更を完了したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

Bluetooth® 対応デバイスから印刷する

- このプリンタは、Bluetooth 仕様 2.0 に準拠しています。 以下のプロファイルがサポートされています。 Object Push Profile（OPP）、Serial Port Profile（SPP）、および Basic Print Profile（BPP）。 お使いの Bluetooth 対応デバイス（携帯電話や PDA）のメーカー情報を参照して、ハードウェアの互換性および相互運用性を確認してください。 Bluetooth 対応デバイスでは、最新のファームウェアを使用することをお勧めします。
- Windows® Mobile または Pocket PC PDA から Microsoft ドキュメントを印刷するには、サードパーティ製のソフトウェアおよびドライバを追加する必要があります。 必要なソフトウェアに関する詳細は、PDA のマニュアルを参照してください。
- デル カスタマーサポートにお問い合わせいただく前に、Bluetooth 対応デバイスとの接続のセットアップに関する情報を示したセクションを参照してください。 デルサポート Web サイト（support.dell.com）もご利用ください。 この Web サイトには最新の資料が掲載されています。 Bluetooth 対応デバイスに付属するマニュアルのセットアップ手順に従っていることを確認してください。

プリンタと Bluetooth 対応デバイスとの間の接続をセットアップする

メモ： プリンタは、Bluetooth 接続を使用してコンピュータからファイルを印刷できません。

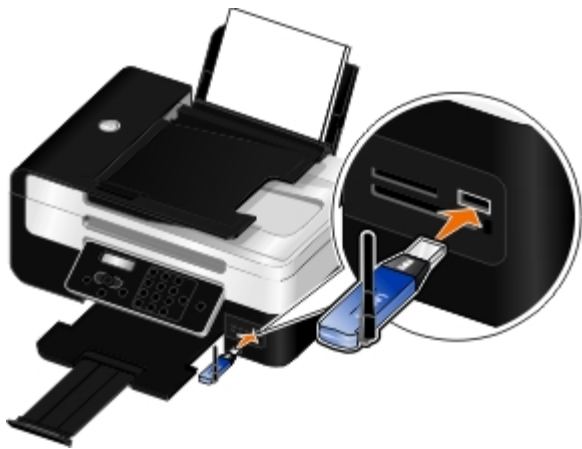
Bluetooth デバイスから初めて印刷ジョブを送信する場合は、Bluetooth 対応デバイスとプリンタの間の接続をセットアップする必要があります。 以下の場合は再度セットアップを行う必要があります。

- プリンタを出荷時の設定にリセットした。 （⇒ 出荷時の設定に戻す）
- Bluetooth セキュリティレベルまたは Bluetooth パスキーを変更した。 （⇒ Bluetooth のセキュリティレベルを設定する）
- 使用している Bluetooth 対応デバイスでは、印刷ジョブを送信するたびに Bluetooth 接続をセットアップする必要があります。 Bluetooth 印刷に関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- Bluetooth デバイスリストの内容を消去した。 （⇒ Bluetooth モード）
- 使用している Bluetooth デバイスの名前は Bluetooth デバイスリストから自動的に削除されます。

  Bluetooth セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、以前に接続をセットアップした Bluetooth デバイスが 8 台までプリンタのリストに保存されます。 プリンタで検出されたデバイスが 8 つを超えた場合、使用履歴が最も古いデバイスがリストから削除されます。 削除されたデバイスからプリンタに印刷ジョブを送信できるようにするには、そのデバイスのセットアップを再度行う必要があります。

メモ： プリンタに印刷ジョブを送信するために使用する Bluetooth デバイスのそれぞれについて、接続をセットアップする必要があります。

プリンタと Bluetooth 対応デバイスの間の接続をセットアップするには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. USB Bluetooth アダプタをプリンタの前面にある USB ポートにセットします。

   メモ： プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. 左右の矢印ボタン を押して［Bluetooth］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［検出］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

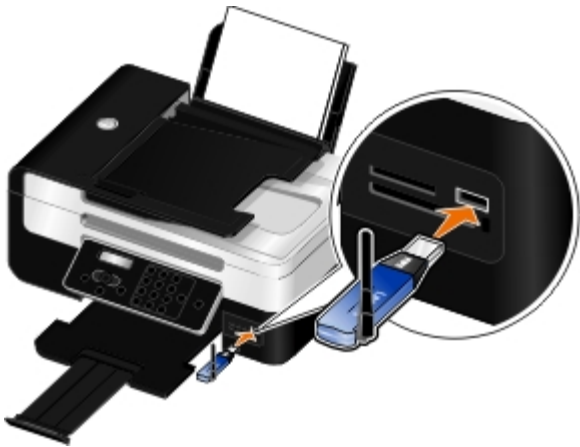
   これで、プリンタは Bluetooth 対応デバイスからの接続を受け入れる準備ができました。

6. プリンタへの接続をセットアップするため、Bluetooth 対応デバイスを設定します。 Bluetooth 接続に関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

   メモ： プリンタの Bluetooth セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、パスキーを入力する必要があります。 （⇒ Bluetooth のセキュリティレベルを設定する）

Bluetooth のセキュリティレベルを設定する

1. プリンタの電源をオンにします。

2. Bluetooth USB アダプタを USB ポートに接続します。

   メモ： プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. 左右の矢印ボタン を押して［Bluetooth］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［セキュリティレベル］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押してセキュリティレベルを選択し、設定ボタン を押します。

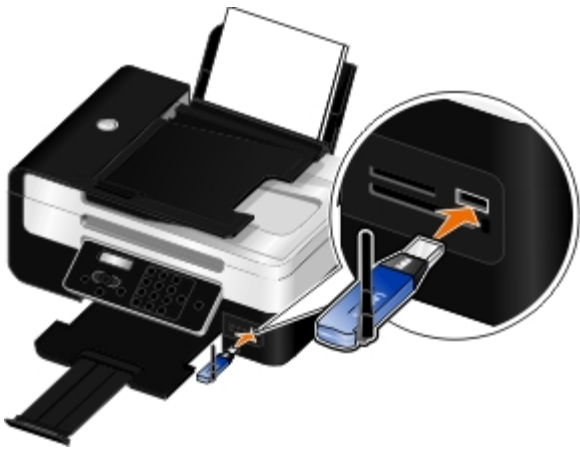
   - パスキーを入力しなくても Bluetooth デバイスを接続でき、印刷ジョブをプリンタに送信できるようにするには、［低］を選択します。
   - プリンタに接続して印刷ジョブを送信する前に、Bluetooth デバイスで 4 桁の数字のパスキーを入力する必要があるようにするには、［高］を選択します。

6. セキュリティレベルを［高］に設定すると、操作パネルのディスプレイに［パスキー］メニューが表示されます。キーパッドを使用して 4 桁のパスキーを入力し、設定ボタン を押します。

7. 新しいパスキーを保存するかどうかを選択するメッセージが表示されたら、左右の矢印ボタン を押して［はい］までスクロールして、設定ボタン を押します。

Bluetooth 対応デバイスから印刷する

1. プリンタの電源をオンにします。

2. USB Bluetooth アダプタを USB ポートに接続します。

メモ： プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. Bluetooth モードがオンになっていることを確認します。（⇒Bluetooth モード）

4. プリンタが Bluetooth 接続を受信できるように設定されていることを確認します。（⇒プリンタと Bluetooth 対応デバイスとの間の接続をセットアップする）

5. プリンタで印刷できるように Bluetooth デバイスをセットアップします。Bluetooth 印刷のセットアップに関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

6. 印刷を開始するには、Bluetooth デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

メモ： プリンタの Bluetooth セキュリティレベルが［高］に設定されている場合、パスキーを入力する必要があります。（⇒Bluetooth のセキュリティレベルを設定する）

---

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）

3. ドキュメントを開いて［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［割り付け］を選択します。

6. ［ページ数 **/** 枚］ドロップダウンリストで、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

7. ページの間に枠線を印刷する場合は、［ページ枠の印刷］チェックボックスをオンにします。

8. ［印刷設定］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。

9. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

10. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

画像を分割する（ポスター）

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）
3. ドキュメントを開いて［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［環境設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［ポスター］を選択します。
6. ポスターのサイズを選択します。
7. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

メモ： ポスターのページを個別に印刷するには、［アドバンス］タブで［印刷ページの選択］をクリックします。 クリックして印刷する部分と印刷しない部分を設定し、［**OK**］をクリックします。

バナー紙に印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［アドバンス］タブで、［レイアウト］ドロップダウンリストから［バナー］を選択し、［バナー紙のサイズ］ドロップダウンリストから［**US** レター バナー］または［**A4** バナー］を選択します。
6. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
7. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

   メモ： 印刷が開始されたら、バナー紙の先端がプリンタから排出されるのを待ち、プリンタの前の用紙を注意して広げます。

文書を部単位で印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒ 用紙のセット）
3. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。
4. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。
5. ［印刷設定］タブで、印刷する部数を指定します。

   メモ： ［部単位で印刷］チェックボックスが使用できるようにするには、2 部以上の部数を指定する必要があります。
6. ［部単位で印刷］チェックボックスをオンにします。
7. ［印刷設定］タブと［アドバンス］タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。
8. 設定を変更したら、［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。
9. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

小冊子を印刷する

［印刷設定］の設定を変更する前に、アプリケーションで正しい用紙サイズを選択する必要があります。 小冊子を印刷するには、次の用紙サイズを使用できます。

- レター
- A4

1. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）
2. ドキュメントを開いて［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。
3. ［印刷］ダイアログボックスで、［プロパティ］、［環境設定］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。
4. ［アドバンス］タブをクリックします。
5. ［レイアウト］ドロップダウンメニューから［小冊子］を選択します。

   メモ： カスタム用紙を選択している場合、小冊子は利用できません。
6. ［**1** 組の枚数］ドロップダウンメニューから、1 組ごとに印刷する枚数を選択します。

メモ： 1 組とは、折り返して組み合わせた複数の用紙のまとまりを指します。 印刷された用紙の組は、正しいページ順序で 1 枚ずつ重ねます。 重ねた組をとじると小冊子になります。 厚手の用紙に印刷する場合は、**1** 組の枚数で少な目の枚数を指定します。

7. ［**OK**］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

8. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

 メモ： 小冊子をとじる方法（⇒「小冊子をとじる」）

小冊子をとじる

1. 排紙トレイの印刷済みの用紙を裏返します。
2. 重ねた用紙の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして置きます。
3. 次の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして最初の山の上に置きます。

4. 小冊子が出来上がるまで、残りの用紙を最初のページを下にして順に重ねます。
5. 用紙をとじると、小冊子が完成します。

文書を両面に印刷する（両面印刷）

自動両面印刷機能を使用すると、用紙の向きを手動で変更しなくても、文書を用紙の両面に印刷できます。 US レターサイズまたは A4 サイズの普通紙をセットしていることを確認します。 封筒、カード用紙、フォトペーパーには両面印刷できません。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）
3. ドキュメントを開いて［ファイル］®［印刷］の順にクリックします。
4. ［環境設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。
5. ［アドバンス］タブをクリックし、［両面印刷］チェックボックスをオンにします。

6. ドロップダウンリストから、［自動］を選択します。
7. ページのとじしろを選択します。
8. ［乾燥時間の延長］チェックボックスをオンにします。
9. ［給紙ガイドの印刷］チェックボックスがオフになっていたら、オンにします。
10. ［**OK**］をクリックします。

    ［印刷設定］ダイアログボックスが閉じます。

11. ［**OK**］または［印刷］をクリックします。

印刷ジョブをキャンセルする

ローカルコンピュータからのジョブ

USB ケーブル経由でプリンタに接続されているコンピュータから送信された印刷ジョブをキャンセルするには、次の 2 とおりの方法があります。

［プリンタ］フォルダから：

1. *Windows Vista™* の場合：

    a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

    b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

    c. ［プリンタ］をクリックします。

    Windows® XP の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

    Windows 2000 の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
3. ［開く］ をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. ［ドキュメント］メニューで［キャンセル］をクリックします。

［印刷の進行状況］ウィンドウから：

［印刷の進行状況］ウィンドウは、印刷ジョブを送信するたびに画面の右下に自動的に表示されます。［印刷中止］をクリックして、現在の印刷ジョブをキャンセルします。

タスクバーから：

1. コンピュータの画面右下またはタスクバーにあるプリンタのアイコンをダブルクリックします。
2. キャンセルする印刷ジョブをダブルクリックします。

3. ［キャンセル］をクリックします。

Bluetooth 対応デバイスからのジョブ

プリンタから：

- ［キャンセル］ボタン を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除します。
- 電源ボタン を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除して、プリンタの電源をオフにします。

Bluetooth 対応デバイスから：

詳細については、お使いのデバイスに付属するマニュアルを参照してください。

ワイヤレスネットワーク上のコンピュータからのジョブ

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ ® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
3. ［開く］ をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. ［ドキュメント］メニューで［キャンセル］をクリックします。

印刷設定のデフォルトを変更する

文書や写真を印刷するために送信する際には、両面印刷、印刷品質、モノクロ印刷などのさまざまな設定を指定することができます。頻繁に使用する設定がある場合は、それをデフォルトに設定して、印刷ジョブを送信するたびに指定する必要がないようにすることができます。

希望する設定をほとんどのプログラムでの標準の印刷設定にするには、［プリンタ］フォルダから［印刷設定］ダイアログボックスを開きます。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

c. ［プリンタ］をクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］® ［設定］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］を選択します。
4. 設定を変更して、ほとんどのプログラムから印刷する際にデフォルトで使用する設定を作成します。

［印刷設定］タブで、次を設定できます。

- デフォルトの印刷品質を［高速］、［標準］、［高品質］のいずれかに変更します。
- デフォルトの用紙の種類とサイズを変更します。
- モノクロ印刷およびフチなし印刷をデフォルトの設定にします。
- デフォルトの印刷方向を変更します。
- デフォルトの印刷部数を変更します。

［アドバンス］タブで、以下を設定できます。

- 自動両面をデフォルトに設定します。
- 両面印刷ジョブをデフォルトに設定する場合に、乾燥時間を延長します。
- デフォルトに設定するレイアウトを指定します。

［メンテナンス］タブで、以下を設定できます。

［メンテナンス］タブからデフォルトに設定できる印刷設定はありません。ここでは、以下の操作を行うことができます。

- カートリッジの取り付け、清掃、調整を行います。
- テストページを印刷します。
- プリンタをネットワーク上で共有するための情報を取得します。

メンテナンス

危険： このセクションに記載されている手順を実行する前に、『オーナーズマニュアル』の安全に関する情報を読み、その指示に従ってください。

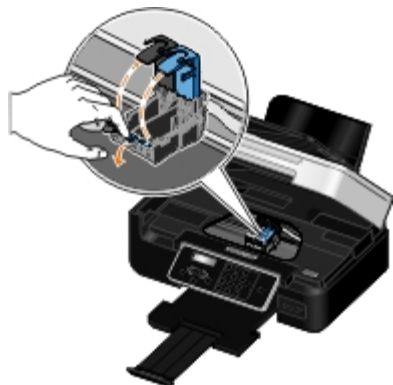
Dell™ 製カートリッジは、当社でしか取り扱っておりません。 追加のカートリッジは、オンラインで www.dell.com/supplies からご注文いただくか、お電話でご注文ください。

注意： お使いのプリンタには、Dell ブランドのカートリッジを使用してください。 Dell ブランド以外のアクセサリ、部品、またはコンポーネントの使用により問題が発生した場合は、保証の対象とはなりません。

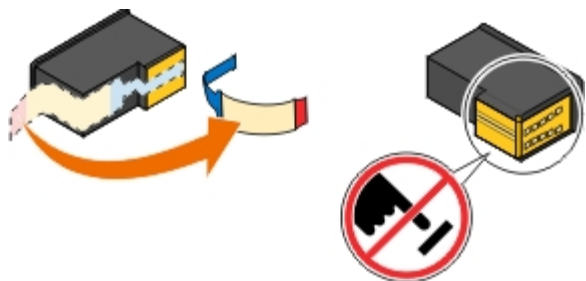
カートリッジの交換

1. プリンタの電源をオンにします。
2. スキャナベースユニットを持ち上げます。

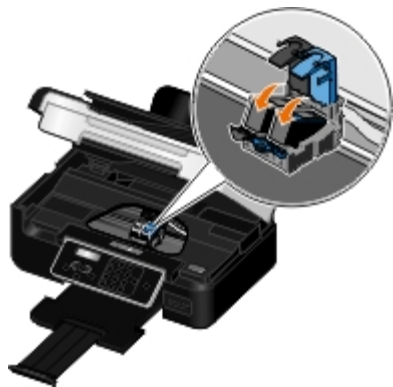
印刷中でなければ、カートリッジホルダーが取り付け位置まで移動して停止します。

3. カートリッジレバーを押し下げると、各カートリッジの蓋が持ち上がります。

4. 使用済みのカートリッジを取り外します。

5. カートリッジは、フォトカートリッジに付属する保存容器などの密閉容器に入れて保存するか、適切な方法で廃棄してください。

6. 新品のカートリッジを取り付ける場合は、各カートリッジの背面および下部から粘着テープと透明な保護テープを取り外します。

注意： カートリッジの横の接触面または下のノズルに手を触れないでください。

7. 新しいカートリッジを差し込みます。ブラックカートリッジまたはフォトカートリッジを左側のカートリッジホルダーに、またカラーカートリッジを右側のカートリッジホルダーにしっかりと取り付けたことを確認します。

   メモ： 通常の印刷では、ブラックカートリッジとカラーカートリッジを使用します。写真を印刷する場合は、ブラックカートリッジをフォトカートリッジに交換してください。

8. ぱちん と音がするまでカートリッジの蓋を閉じます。

9. スキャナベースユニットを下ろし、完全に閉じます。

プリントヘッドの調整

カートリッジの取り付けまたは交換を行うと、プリントヘッドの調整を求めるメッセージが自動的に表示されます。文字の形が崩れていたり左マージンにそろっていない場合、または縦の線や直線が波打っていたりする場合は、プリントヘッドの調整が必要となることがあります。

操作パネルからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。（⇒用紙のセット）
2. 左右の矢印ボタン を押して［メンテナンス］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［プリントヘッド調整］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   調整パターンが印刷されます。カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。調整が完了したら、印刷した用紙は捨ててください。

プリンタソフトウェアからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista*™ の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

Windows® XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

3. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
4. ［印刷設定］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［メンテナンス］タブをクリックします。
6. ［プリントヘッド調整］をクリックします。
7. ［印刷］をクリックします。

   調整パターンが印刷されます。カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。調整が完了したら、印刷した用紙は捨ててください。

カートリッジノズルの清掃

次のような場合は、カートリッジノズルを清掃する必要があります。

- 画像や黒い塗りの部分に白いすじが入る。
- 印刷が不鮮明または濃すぎる。
- 色あせが起こる、印刷できない、または正しく印刷されない。
- 縦の線がギザギザになる、または滑らかでない。

操作パネルからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。（⇒用紙のセット）
2. 左右の矢印ボタン を押して［メンテナンス］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［ノズル清掃］までスクロールし、設定ボタン を押します。

プリンタソフトウェアからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

3. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
4. ［印刷設定］をクリックします。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［メンテナンス］タブをクリックします。
6. ［ノズル清掃］をクリックします。

   テストパターンが印刷されます。

7. 引き続き印刷品質が改善されない場合は、［ノズル清掃を繰り返す］をクリックします。
8. 文書をもう一度印刷して、印刷品質が改善されたことを確認します。

それでも印刷品質が改善されない場合は、乾いた清潔な布でノズルを拭き、ドキュメントをもう一度印刷します。

プリンタの表面を清掃する

1. プリンタの電源をオフにし、電源コードを壁のコンセントから抜いたことを確認します。

危険： 感電しないように、作業を始める前に電源コードを壁のコンセントから抜き、プリンタに接続されたすべてのケーブルを抜いてください。

2. 用紙サポートと排紙トレイから用紙を取り除きます。
3. 清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を水で湿らせます。

注意： プリンタの表面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。

4. 排紙トレイに付着したインクの汚れを拭き取り、プリンタの表面だけを拭いてください。

注意： 湿った布で内部を拭くと、プリンタが破損する可能性があります。清掃に関する正しい手順に従わなかったためにプリンタが破損した場合、保証は適用されません。

5. 新しい印刷ジョブを開始する前に、用紙サポートと排紙トレイが乾いていることを確認してください。

メモリカードまたは USB キーから印刷する

- 写真を印刷する
- Office ファイルを印刷する

ほとんどのデジタルカメラでは、写真の保存にメモリカードを使用します。 このプリンタは、以下のメモリカードをサポートしています。

- コンパクトフラッシュ Type I / II
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- メモリースティック Duo （アダプタ付）
- メモリースティック Duo Pro
- miniSD カード（アダプタ付）
- マイクロドライブ
- microSD（TransFlash）
- SD メモリーカード
- SDHC
- MMC（マルチメディアカード）
- MMCmobile
- RS-MMC
- xD-ピクチャーカード
- XD-ピクチャーカード Type M および Type H

メモリカードは、ラベルを上にして挿入します。 カードリーダーには、これらのカードをセットするための 3 つのスロットと、カードの読み込み時とデータ転送時に点滅する小さなランプがあります。

メモ： 複数のメモリカードを同時にセットしないでください。

PictBridge に使用しているコネクタは、USB キーに保存されている情報へのアクセスにも使用できます。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。 データが破損する場合があります。

メモ： メモリカードが既にプリンタにセットされている場合は、USB キーを挿入しないでください。

メモリカードまたは USB キーをセットすると、その中にデジタル写真ファイルのみが保存されている場合は、プリンタは自動的に写真モードに切り替わります。 メモリカードまたは USB キーに文書と写真が含まれている場合は、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージが表示されます。 （⇒ 写真モード）

メモ： プリンタは FAT32 データ形式をサポートします。 NTFS で保存されたファイルは、メモリカードまたは USB キーをプリンタにセットする前に FAT32 データ形式に変換する必要があります。

写真を印刷する

写真をコンピュータに保存する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。

   メモリカードまたは USB キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に 写真モードに切り替わります。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。 左右の矢印ボタンを使って［写真］までスクロールし、設定ボタンを押します。

2. 左右の矢印ボタン を押して［写真の保存］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. ［スタート］ボタンを押します。

   コンピュータで、**Dell Imaging Toolbox** が起動します。

4. 写真をコンピュータにコピーする方法については、［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログボックスに表示される手順に従います。

CD またはフラッシュメモリの写真を印刷する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）

3. CD またはメモリデバイス（フラッシュメモリ、メモリカード、デジタルカメラなど）をコンピュータにセットして、Windows のダイアログが表示された場合はこれを閉じます。

4. *Windows Vista*™ の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

5. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログボックスが開きます。

6. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。

7. ［フォルダ］ペインで CD またはフラッシュメモリがあるドライブを参照し、写真が保存されているフォルダを開きます。

   メモ： メモリデバイスのドライブが［フォルダ］ペインに表示されない場合は、アプリケーションを閉じてからもう一度開き、手順 1 と 2 を繰り返します。

   フォルダ内のすべての写真のサムネイルがプレビュー枠に表示されます。

8. 印刷する写真をクリックして選択します。

9. ［写真の印刷］をクリックします。

10. ドロップダウンメニューから、使用する印刷品質、用紙サイズ、用紙の種類を選択します。

11. 写真を複数枚印刷する場合、または 100 x 150 mm（4 x 6 インチ）以外の写真サイズを選択する場合は、使用するオプションを表から選択します。 最後の列のドロップダウンメニューで、その他のサイズを表示して選択します。

メモ： 写真を編集してから印刷する場合は、［印刷プレビュー］画面上部の［写真の編集］をクリックします。 ソフトウェアで自動的に写真を編集するには、［ワンクリック自動補正］、［赤目の自動修正］、または［明るさの自動修正］を選択します。 ［その他の画像補正ツール］をクリックすると、写真編集ウィンドウが開きます。 編集を完了したら、右下部の［編集の保存］をクリックして、印刷画面に戻ります。

12. ［印刷］をクリックします。

すべての写真を印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。

   メモリカードまたは USB キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に 写真モードに切り替わります。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン を押して［写真］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. 左右の矢印ボタン を使用して［画像の印刷］までスクロールし、操作パネルの設定ボタン を 2 回押します。

   メモリカードまたは USB キーに保存されたすべての写真が印刷されます。

メモ： メモリカードまたは USB キーに保存された写真の一部のみを印刷するには、プルーフシートを使用して印刷する写真を選択します。 （⇒セレクトシートを使用して写真を印刷する）

メモ： メモリカードまたは USB キーから直接印刷できるのは、JPEG 形式または特定の TIFF 形式の画像だけです。デジタルカメラで直接作成された TIFF 形式のファイルで、アプリケーションで変更されていない場合にのみサポートされます。別の形式でメモリカードまたは USB キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。 （⇒写真をコンピュータに保存する）

DPOF を使用してデジタルカメラから写真を印刷する

DPOF（Digital Print Order Format：デジタルプリントオーダーフォーマット）は、一部のデジタルカメラで使用できる、印刷する写真とともに印刷設定情報をメモリカードに保存できる機能です。 DPOF 互換のデジタルカメラを使用すると、印刷するメモリカード内の写真、印刷枚数、その他の印刷設定を指定できます。 メモリカードをプリンタのメモリカードスロットにセットすると、プリンタがこれらの設定を認識します。

1. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。

   メモ： セットした用紙のサイズが DPOF で指定したサイズ以上であることを確認します。

2. メモリカードをセットします。 プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。

   メモ： 複数のメモリカードまたは USB キーを同時に挿入しないでください。

3. 左右の矢印ボタン を押して［DPOF 印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. ［スタート］ボタンを押します。

セレクトシートを使用して写真を印刷する

1. メモリカードまたは USB キーをセットします。

   メモリカードまたは USB キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に 写真モードに切り替わります。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン を押して［写真］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   メモ： メモリカードまたは USB キーから直接印刷できるのは、JPEG 形式または TIFF 形式の画像のみです。別の形式でメモリカードまたは USB キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。（⇒写真をコンピュータに保存する）

2. 左右の矢印ボタン を押して［セレクトシート］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［セレクトシートの印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して、セレクトシートに印刷するメモリカードまたは USB キーの写真を指定します。

選択できるオプション	はたらき
すべて	メモリカードまたは USB キーのすべての写真をセレクトシートに印刷します。
最新 25 枚	新しい順に 25 枚の写真をセレクトシートに印刷します。
期間	特定の期間に撮影された写真のみを印刷します。

5. ［スタート］ボタン を押します。

   セレクトシートが印刷されます。

6. セレクトシートの手順に従って印刷する写真を選択し、使用するレイアウトと用紙の種類を選択します。

   印刷時に赤目を修整する場合は、写真の下にある赤目アイコン横の丸を塗りつぶしてください。

   メモ： 選択する場合は、丸を完全に塗りつぶしてください。

7. セレクトシートを下向きにして原稿台にセットします。（⇒原稿をセットする）
8. 用紙をセットします。（⇒用紙のセット）

メモ： プリンタにセットした用紙のサイズが、セレクトシートで選択した用紙のサイズと同じであることを確認します。

メモ： 写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

9. 左右の矢印ボタン を押して［セレクトシートのスキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

注意： セレクトシートで選択した写真が印刷されるまでは、メモリカードを取り外したり、プリンタの電源をオフにしたりしないでください。メモリカードを取り外したり、プリンタの電源をオフにすると、セレクトシートは無効になります。

Office ファイルを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

   メモリカードまたは USB キーに文書のみが含まれている場合、プリンタは自動的に `Office` ファイルモードに切り替わります。

   メモリカードまたは USB キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン を押して［文書］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   プリンタでサポートされるファイルの種類の詳細（⇒Office ファイルモード）

3. 左右の矢印ボタン を使用して、印刷するファイルまでスクロールします。

4. ［スタート］ボタン を押します。

トラブルシューティング

プリンタが動作しない場合は、プリンタが電源コンセントに接続されていること、またコンピュータを使用する場合はコンピュータに正しく接続されていることを確認します。

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、プリンタドライバの Dell サービスセンターを開くか、または http://support.dell.com/support へアクセスしてください。

セットアップに関するトラブル

コンピュータに関するトラブル

プリンタとコンピュータ間に互換性があることを確認する。

このプリンタでサポートされているのは、Ubuntu Linux、Debian GNU/Linux、openSUSE Linux、Windows Vista™、Windows® XP、および Windows 2000 のみです。

メモ： Linux オペレーションシステムは Web パックでのみ使用できます。

メモ： Windows ME、Windows 98、Windows 95 はこのプリンタでサポートされていません。

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていることを確認する。

USB ケーブルを確認する。

- USB ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、USB ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアのインストール画面が自動的に表示されない場合は、ソフトウェアを手動でインストールする。

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. Windows Vista の場合は、® ［コンピュータ］の順にクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］® ［マイ コンピュータ］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、デスクトップで［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3. **CD-ROM**ドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe**をダブルクリックします。
4. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、［**USB** ケーブルを使用する］または［ワイヤレスネットワークを使用する］をクリックします。
5. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認する。

Windows Vista の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。
2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。 プリンタソフトウェアをインストールします。 （⇒ ソフトウェアの削除と再インストール）

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正する。

- プリンタとコンピュータから USB ケーブルを取り外します。 USB ケーブルをプリンタとコンピュータに再接続します。
- プリンタの電源をオフにします。 プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。 電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。
- それでも問題が解消できない場合は、USB ケーブルを交換します。

プリンタを通常使うプリンタに設定する。

1. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］をクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。
2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
3. ［通常使うプリンタに設定］を選択します。

プリンタが動作せず、印刷ジョブが印刷キューに残っている。

お使いのコンピュータにこのプリンタが複数インストールされていないかチェックします。

1. Windows Vista の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］をクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタオブジェクトが複数あるかどうかチェックします。
3. 各プリンタオブジェクトに印刷ジョブを送信し、有効なプリンタを見つけます。
4. プリンタを通常使うプリンタに設定するには、以下の手順に従います。
   a. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
   b. ［通常使うプリンタに設定］をクリックします。
5. それ以外のプリンタオブジェクトをそれぞれ右クリックし、［削除］をクリックして、プリンタオブジェクトのコピーを削除します。

   ［プリンタ］フォルダに同じプリンタが複数インストールされないようにするには、USB ケーブルを差しなおす場合に、最初にプリンタで使用していた USB ポートと同じポートに差してください。 また、*Drivers and Utilities* CD からプリンタドライバを 2 回以上インストールしないでください。

プリンタに関するトラブル

プリンタの電源コードがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。

プリンタが一時停止していないか確認します。

1. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。
   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。
3. ［一時停止］が選択されていないことを確認します。［一時停止］が選択されている場合は、クリックしてオプションをオフにします。

プリンタのランプが点滅しているか確認します （⇒エラーメッセージ）
カートリッジが正しく取り付けられていて、各カートリッジからシールと保護テープが取り外されていることを確認します。
用紙が正しくセットされていることを確認します。 （⇒用紙のセット）
プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。 （⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する）

エラーメッセージ

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、http://support.dell.com/support を参照してください。

エラーメッセージ	エラーの説明	解決方法
コンピュータに接続	プリンタがコンピュータに接続されていない、またはコンピュータの電源がオンになっていない場合に、スキャンまたはメモリカードか USB キーの Office ファイルの印刷を実行しようとしたか、［パソコンに保存］オプションを選択しました。	コンピュータがプリンタに接続されていることを確認します。
コンピュータに接続します。	プリンタが接続されていない、またはコンピュータの電源が入っていないか、ネットワークへ接続されていないときに、メモリカードまたはデジタルカメラから写真を保存しようとしたか、［コンピュータに保存］オプションを選択しました。	プリンタの電源がオンになっていることと、コンピュータまたはネットワークに接続されていることを確認してください。
この機能はネットワーク接続では使用できません。	プリンタがネットワークプリントサーバーに接続されていないか、コンピュータに直接接続されていない場合に、メモリカードまたは USB キーの Office ファイルを印刷しようとしました。	プリンタを直接コンピュータに接続してください。
応答なし を押してキャンセルします。	［スタート］ボタン を押してからタイムアウトが発生しました。	［キャンセル］ボタン を押します。
用紙をセットし、 を押します。	プリンタに用紙がありません。	プリンタに用紙をセットし、［設定］ボタン を押して印刷を続けます。 （⇒ 用紙のセット）
原稿セットエラー 自動原稿フィーダーを確認し、 を押します。	自動原稿フィーダーの用紙がなくなりました。	ADF に用紙をセットし、［設定］ボタン を押してコピーまたはスキャンを続けます。（⇒ 自動原稿フィーダーにセットする）
つまった紙を取り除く 自動原稿フィーダーを確認し、 を押します。	自動原稿フィーダーで紙が詰まっています。	ADF 内の紙づまりを取り除きます。（⇒ つまった紙を取り除く）
キャリア停止を解消し、 を押します。	プリントヘッドキャリアが停止しました。	キャリアの移動範囲から障害物を取り除くか、キャリアの蓋を閉じてから、設定ボタン を押します。

紙づまりを取り除き、 を押します。	プリンタに紙づまりが発生しています。	紙づまりを取り除きます。 （⇒ 紙づまりがないか確認します。）
つまった紙を取り除く 両面印刷ユニットを確認し、 を押します。	両面印刷ユニットに紙詰まりがあります。	紙づまりを取り除きます。 （⇒ 紙づまりがないか確認します。）
両面印刷では 8.5x11" または A4 サイズの普通紙が必要です。	両面印刷ユニットにセットされている用紙は使用できません。	8.5 X 11 または A4 用紙をセットし、設定ボタン を押して両面印刷を続けます。
メンテナンスカバーが開いています	スキャナベースユニットを開いています。	スキャナベースユニットを閉じます。
用紙サイズ 用紙サイズに対して写真サイズが大きすぎます。 ボタンを押して新しいサイズの用紙を使用します。	用紙サイズより小さな用紙がセットされています。	プリンタにセットした用紙に合わせて用紙サイズを変更するか、設定ボタン を押して印刷を続けます。
用紙サイズ利用不可	写真印刷ジョブが開始されましたが、サポートされない用紙サイズが選択されています。	［戻る］ボタン を押して印刷ジョブをキャンセルし、新しい用紙サイズを選択します。
• 左ホルダーに黒またはフォトをセット • 右ホルダーにカラーをセット • 両方のカートリッジを取り付けてください。	カートリッジがありません。 見つからないカートリッジに「？」マークが表示され、その下にメッセージが表示されます。	ブラックまたはフォトカートリッジを左のホルダーに、カラーカートリッジを右のホルダーに取り付けてください。 （⇒ カートリッジの交換）
調整エラー テープがはがされているか調べます。詳細については取扱説明書を参照してください。 を押してもう一度実行します。	カートリッジを取り付ける前に、カートリッジから保護テープが取り除かれていません。	カートリッジから保護テープを取り除きます。 （⇒ カートリッジの交換）
• ブラックインクが残り少なくなりました。 WWW.DELL.COM/SUPPLIES でカートリッジを注文してください。 ボタンを押して操作を続けます。 • カラーインクが残り少なくなりました。 WWW.DELL.COM/SUPPLIES でカートリッジを注文してください。 ボタンを押して操作を続けます。 • フォトインクが残り少なくなりました。 WWW.DELL.COM/SUPPLIES でカートリッジを注文してください。 ボタンを押して操作を続けます。 • ブラックとカラーインクが残り少なくなりました。 WWW.DELL.COM/SUPPLIES でカートリッジを注文してください。 ボタンを押して操作を続けます。	カートリッジのインクがなくなりかけています。	カートリッジを交換してください。 （⇒ カートリッジの交換）

• フォトとカラーインクが残り少なくなりました。 WWW.DELL.COM/SUPPLIES でカートリッジを注文してください。 ボタンを押して操作を続けます。		
• 左のカートリッジエラー。 カートリッジを交換してください。 • 右のカートリッジエラー。 カートリッジを交換してください。	カートリッジが無効です。 無効なカートリッジに「**X**」マークが表示され、その下にメッセージが表示されます。	無効なカートリッジを交換してください。 （⇒ カートリッジの交換）
カートリッジエラー。 取扱説明書を参照してください。	インクカートリッジの一方または両方が無効です。	カートリッジを両方とも取り外し、次に 1 つずつセットしてみて、どのカートリッジに不具合があるか確認します。
メモリカードエラー。 破損していないカードが正しくセットされていることを確認します。	メモリカードまたは USB キーが正しくセットされていないか、破損している、機能していない、またはサポートされない形式でフォーマットされています。	メモリカードまたは USB キーを取り外します。 詳細については、お使いのデバイスに付属するマニュアルを参照してください。
無効なデバイス。 接続デバイスには未対応。 デバイスを取り外し、取扱説明書を参照してください。	接続されたデバイスがサポートされていないか、PictBridge 対応のデジタルカメラが正しい USB モードに設定されていません。	デバイスの接続を解除するか、USB モードの設定をチェックします。 詳細については、お使いのデジタルカメラに付属するマニュアルを参照してください。
カメラとメモリカードを同時に使用できません。 1 つを除きすべてのデバイスまたはカードを取り外してください。	プリンタにカメラとメモリカードが同時にセットされています。	メモリカードとカメラをすべて取り外します。
プリンタの他の機能を使用するには、カメラを取り外してください。	プリンタが **PictBridge** モードのときに機能しないボタンが押されました。	プリンタで他の機能を使用できるようにするには、PictBridge 接続を解除してください。
8.5x11 サイズの普通紙をセットして ボタンを押します。 または A4 サイズの普通紙をセットして ボタンを押します。	テストパターン、クリーニングページ、またはネットワーク設定ページを印刷しようとしたとき、普通紙以外の用紙が用紙サポートにセットされています。	普通紙をセットして、設定ボタン を押します。
セレクトシート無効。 セレクトシートを再印刷して、もう一度スキャンしてください。	プリンタが無効なバーコードを読み取ったか、エラーがあります。	セレクトシートをチェックするか、もう一度印刷してください。 （⇒ セレクトシートを使用して写真を印刷する）
セレクトシートを読み取れません。	プリンタがセレクトシートを読み取れないか、セレクトシートが曲がっている、または原稿台に正しくセットされていません。	セレクトシートを再印刷してオプションを選択するか、セレクトシートを原稿台に正しくセットしてからもう一度スキャンしてください。
レイアウトが選択されていません。	スキャンしたセレクトシートで写真または用紙サイズのオプションが選択されていません。	セレクトシートで写真または用紙サイズのオプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。
一度に選択できるレイアウトは 1 つだけです。	スキャンしたセレクトシートで写真または用紙サイズのオプションが 2 つ以上選択されています。	セレクトシートを再度印刷し、写真または用紙サイズのオプションを 1 つだけ選択してから、もう一度スキャンしてください。
写真が選択されていません。	スキャンしたセレクトシートで画像が選択されていません。	セレクトシートで画像を選択して、もう一度スキャンしてください。
セレクトシートに必要な情報が記入されていません。	スキャンしたセレクトシートの情報が削除されたか、メモリカードから情報が削除されました。	セレクトシートを再度印刷し、オプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。

カードから一部の写真が削除されました。	セレクトシートで選択した写真が削除されたか、メモリカードから写真が削除されました。	セレクトシートを再度印刷し、オプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。
エラー NNNN。	ディスプレイに「エラー」と 4 桁の番号が表示された場合、重大なエラーが発生しています。	カスタマサポートに連絡します。 詳しい情報を参照するには、http://support.dell.com/support にアクセスしてください。

つまった紙を取り除く

給紙口の紙づまり

1. 用紙をしっかりと持って引き出し、取り除きます。 用紙がプリンタ内部にあって届かない場合は、スキャナベースユニットを持ち上げてプリンタを開きます。
2. 用紙を引き抜きます。
3. スキャナベースユニットを閉じます。
4. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

プリンタ内部の紙づまり

1. プリンタの電源をオフにします。
2. スキャナベースユニットを持ち上げます。

3. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
4. スキャナベースユニットを閉じます。
5. プリンタの電源をオンにし、ドキュメントをもう一度印刷します。

両面印刷ユニット内の紙づまり

1. 両面印刷ユニットカバーを取り外します。

2. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。

3. 両面印刷ユニットカバーを取り付けなおします。

4. 設定ボタン ✓ を押すと、印刷を続行します。

ADF 付近の紙づまり

1. ADF 給紙トレイの左側にある ADF カバーを持ち上げます。

2. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。

3. ADF のカバーを閉じます。

4. 設定ボタン ✓ を押します。

5. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

紙づまりと給紙不良の予防

ほとんどの場合、以下のガイドラインに従うことで紙づまりと給紙不良を防ぐことができます。

- プリンタの用紙に関するガイドラインに準拠した用紙を使用します。（⇒用紙のセット）
- 給紙トレイに用紙が正しくセットされていることを確認します。
- 定められた枚数以上の用紙を給紙トレイにセットしないでください。
- 印刷中にトレイから用紙を取り出さないでください。
- 用紙をよくさばき、まとめてからセットしてください。
- 濡れたり、曲がったり、折れ目のある用紙を使用しないでください。
- プリンタの説明に従って用紙の方向を決めてください。

用紙に関するトラブル

用紙が正しくセットされていることを確認します。 （⇒用紙のセット）
プリンタに推奨されている用紙のみを使用します。 （⇒印刷用紙のガイドライン）
複数のページを印刷するときは、用紙を少なめにセットします。 （⇒印刷用紙のガイドライン）
用紙が折れ曲がったり、破れたりしていないことを確認します。
紙づまりがないか確認します。 （⇒つまった紙を取り除く）

印刷に関するトラブル

インク残量をチェックして、必要に応じて新しいプリントカートリッジと交換します。 （⇒カートリッジの交換）
排紙トレイから 1 枚ずつ用紙を取り除きます。 以下の種類の用紙を使用している場合に用紙が汚れないようにするには、プリンタから排出された用紙は 1 枚ずつ取り除いて乾かします。 • フォトペーパー • 光沢紙 • OHP フィルム • ラベル用紙 • 封筒 • アイロンプリント紙
両面印刷ジョブで乾燥時間を延長する 両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間を延長します。 メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。 この機能をすべての両面印刷ジョブのデフォルトに設定するには、以下の手順に従います。 1. *Windows Vista* の場合： 　a. ® ［コントロール パネル］の順にクリックします。 　b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。 　c. ［プリンタ］をクリックします。 　*Windows XP* の場合は、［スタート］® ［コントロール パネル］® ［プリンタとその他のハードウェア］® ［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。 　*Windows 2000* の場合は、［スタート］® ［設定］® ［プリンタ］の順にクリックします。 2. ［**Dell V505**］のアイコンを右クリックします。 3. ［印刷設定］を選択します。 　［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。 4. ［詳細設定］タブをクリックします。 5. ［両面印刷］領域で［乾燥時間の延長］を選択します。 6. ［**OK**］をクリックします。

この機能を現在の両面印刷ジョブのみに適用するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［詳細設定］タブをクリックします。

4. ［両面印刷］領域で［乾燥時間の延長］を選択します。

5. ［**OK**］をクリックします。

印刷速度が遅い場合、コンピュータで使用できるメモリリソースを増やす

- 使用していないアプリケーションをすべて閉じます。
- ドキュメント内のグラフィックや画像の枚数とサイズをできるだけ少なくします。
- メモリ（RAM）の増設を検討します。
- ほとんど使用しないフォントをシステムから削除します。
- プリンタソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールします。 (⇒ソフトウェアの削除と再インストール)
- ［印刷設定］ダイアログボックスで低めの印刷品質を選択します。

用紙が正しくセットされていることを確認します。

(⇒用紙のセット)

コピーに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

(⇒ エラーメッセージ)

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

3. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。
4. ［ファイル］® ［開く］の順にクリックして、編集する画像を選択します。
5. 画像を開いた状態で［追加補正］タブをクリックします。
6. ［パターン補正］をクリックします。

   ［パターン補正］ダイアログボックスが開きます。

7. ［モアレを除去する］を選択します。
8. ［除去するモアレのパターンを選択してください］ドロップダウンメニューから、 スキャンした原稿に応じてパターンを選択します。
9. ［**OK**］をクリックします。

スキャンした画像の背景ノイズを調整します。

1. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

3. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。
4. ［ファイル］® ［開く］の順にクリックして、編集する画像を選択します。
5. 画像を開いた状態で［追加補正］タブをクリックします。
6. ［パターン補正］をクリックします。

   ［パターン補正］ダイアログボックスが開きます。

7. ［カラー画像から背景ノイズを取り除く］を選択します。
8. スライドバーを左右に移動し、スキャンした文書の背景ノイズの程度を調整します。

9. ［**OK**］をクリックします。

ドキュメントや写真が原稿台に正しくセットされていることを確認します。

（⇒ 原稿を原稿台にセットする）

用紙サイズを確認します。

使用している用紙のサイズが、操作パネルまたは **Dell Imaging Toolbox** で選択したサイズと同じであることを確認します。

スキャンに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

（⇒ エラーメッセージ）

USB ケーブルを確認する。

- USB ケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、USB ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認する。

Windows Vista の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。
2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。 プリンタソフトウェアをインストールします。 （⇒ ソフトウェアの削除と再インストール）

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正する。

- プリンタとコンピュータから USB ケーブルを取り外してから、再度接続します。
- プリンタの電源をオフにします。 プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。 電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。

スキャンに時間がかかる場合や、コンピュータが停止してしまう場合は、スキャン解像度を低めの値に変更します。

1. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

3. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。

4. ［詳細設定］をクリックします。

5. ［スキャン解像度の選択］ドロップダウンメニューから、低めのスキャン解像度を選択します。

6. この設定をすべてのスキャンジョブでデフォルトにするには、［常にこの設定を使ってスキャンする］を選択します。

7. ［スタート］をクリックしてスキャンを開始するか、または［プレビュー］をクリックして文書や写真をスキャンする前にプレビューします。

スキャンした画像の画質が悪い場合は、スキャン解像度を高めの値に変更します。

1. Windows Vista の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

3. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。

4. ［詳細設定］をクリックします。

5. ［スキャン解像度の選択］ドロップダウンメニューから、高めのスキャン解像度を選択します。

6. この設定をすべてのスキャンジョブでデフォルトにするには、［常にこの設定を使ってスキャンする］を選択します。

7. ［スタート］をクリックしてスキャンを開始するか、または［プレビュー］をクリックして文書や写真をスキャンする前にプレビューします。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. Windows Vista の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。
3. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。
4. ［ファイル］® ［開く］の順にクリックして、編集する画像を選択します。
5. 画像を開いた状態で［追加補正］タブをクリックします。
6. ［パターン補正］をクリックします。

   ［パターン補正］ダイアログボックスが開きます。
7. ［モアレを除去する］を選択します。
8. ［除去するモアレのパターンを選択してください］ドロップダウンメニューから、 スキャンした原稿に応じてパターンを選択します。
9. ［**OK**］をクリックします。

スキャンした画像の背景ノイズを調整します。

1. Windows Vista の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。
3. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。
4. ［ファイル］®［開く］の順にクリックして、編集する画像を選択します。
5. 画像を開いた状態で［追加補正］タブをクリックします。

6. ［パターン補正］をクリックします。

［パターン補正］ダイアログボックスが開きます。

7. ［カラー画像から背景ノイズを取り除く］を選択します。

8. スライドバーを左右に移動し、スキャンした文書の背景ノイズの程度を調整します。

9. ［**OK**］をクリックします。

ドキュメントや写真が原稿台に正しくセットされていることを確認します。

（⇒ 原稿を原稿台にセットする）

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

FAX に関するトラブル

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていて、**USB** ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

コンピュータが使用可能なアナログ電話回線に接続されていることを確認します。

- FAX 機能を使用するには、コンピュータの FAX モデムと電話回線を接続する必要があります。
- DSL ブロードバンドサービスを使用している場合は、電話線に DSL フィルタが取り付けられていることを確認します。 詳細については、インターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。
- FAX 送信時は、コンピュータがダイアルアップモデムによってインターネットに接続していないことを確認します。

外部モデムを使用する場合は、モデムの電源がオンになっていて、コンピュータに正しく接続されていることを確認します。

プリンタのメモリがいっぱいの場合は、通信管理レポートを印刷し、未送信のページを再送信します。

カラーページを送信する場合は、原稿をダイヤル後にスキャンするように設定します。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. ［FAX 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。

3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［ダイヤルと送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

6. 左右の矢印ボタン を使って［ダイヤル後］までスクロールし、設定ボタン を押して変更を保存します。

メモ： この設定は、その後のすべての FAX ジョブに適用されます。

番号通知を使用できない場合は、正しい通知形式を選択していることを確認します。

発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。 2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［FAX 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［通知形式］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を使用して、オプションを選択します。
   - 検出形式として FSK（周波数シフトキーイング）が使用されている場合は、［形式 1］を選択します。
   - 検出形式として DTMF（二重トーン多重周波数）が使用されている場合は、［形式 2］を選択します。
7. 設定ボタン を押します。

FAX の画質がよくない場合は、送信 FAX の品質を［ウルトラファイン］に設定します。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［FAX 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［品質］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して、［ウルトラファイン］までスクロールします。
5. 設定ボタン を押して、設定を保存します。

受信された FAX の品質が改善されない場合は、受信側の FAX 機器の品質が限られている可能性があります。 プリンタで設定を変更しても、受信側の FAX の品質には影響しません。

ネットワークに関するトラブル

電源を確認する

プリンタの電源ランプが点灯していることを確認します。

ケーブルをチェックする

- 電源ケーブルがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

使用しているネットワーク接続を確認します。 プリンタが使用可能なネットワーク接続に接続されていることを確認します。
コンピュータを再起動する コンピュータをシャットダウンし、再起動します。
プリントサーバーを取り外して、取り付けなおす 1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。 2. プリントサーバーの両側のつまみを持って、引き出して取り外します。アンテナには手を触れないでください。（⇒ プリントサーバーの取り外しと再取り付け） 3. 取り付けガイドの手順に従い、プリントサーバーを取り付けなおします。（⇒ Dell Internal Network Adapter 1150 をインストールする）
セットアップおよび使用方法については、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

メモリカードに関するトラブル

使用しているメモリカードの種類がプリンタで使用できるものであることを確認します。 （⇒メモリカードまたは USB キーから印刷する）
メモリカードは一度に **1** 枚だけセットしてください。
メモリカードは奥までしっかり差し込んでください。 メモリカードがスロットに正しくセットされていない場合、プリンタはカードの内容を読み取ることができません。
メモリカード内の画像を印刷する場合、画像のファイル形式がプリンタでサポートされていることを確認してください。 メモリカードから直接印刷できるのは、JPEG 形式または特定の TIFF 形式の画像だけです。デジタルカメラで直接作成された TIFF 形式のファイルで、アプリケーションで変更されていない場合にのみサポートされます。別の形式でメモリカードに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。
プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。 （⇒PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する）

印刷品質の改善

文書の印刷品質が不十分な場合は、次のような方法で印刷品質を改善することができます。

- 適切な用紙を使用します。たとえば、フォトカートリッジで写真を印刷する場合は、Dell™ プレミアムフォトペーパーを使用します。
- 印刷品質を高く設定します。

印刷品質を高く選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で［ファイル］® ［印刷］の順にクリックします。

   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［設定］、［プロパティ］、［オプション］、または［セットアップ］をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

   ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. ［印刷設定］タブで高品質の設定を選択します。
4. 文書をもう一度印刷します。
5. 印刷品質が改善されない場合は、カートリッジの調整またはノズル清掃を行います。（⇒プリントヘッドの調整 および カートリッジノズルの清掃）

   その他の解決方法を参照するには、http://support.dell.com/support にアクセスしてください。

印刷用紙の選択とセット方法に関する一般的なガイドライン

- 濡れたり、曲がったり、しわがある用紙や、破れている用紙に印刷すると、紙づまりや印刷品質の低下の原因となります。
- 印刷品質を高めるには、高品質のコピー用紙を使用してください。
- エンボス文字や目打ちのある用紙や、表面仕上げに極端に光沢やざらつきがある用紙を使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙は使用するまでパッケージから取り出さないでください。パッケージは床に直接置かずに、引き出しや棚に収納してください。
- 用紙やパッケージの上に重い物を乗せないでください。
- 用紙がしわになったり曲がったりする可能性がありますので、湿気の多い場所などに置かないでください。
- 未使用の用紙は、気温が 15 ～ 30 ℃（59°～ 86°F）で、相対湿度が 10 ～ 70% の場所に保管してください。
- 保管時は、プラスティック製のコンテナまたは袋などの湿気を通さないパッケージを使用して、ほこりや湿気で用紙が痛まないようにしてください。

ソフトウェアの削除と再インストール

プリンタの使用時にプリンタが正しく機能しないか、通信エラーのメッセージが表示された場合は、プリンタソフトウェアを削除し、再インストールします。

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell V505** のアンインストール］をクリックします。

3. 画面に表示される手順に従います。

4. コンピュータを再起動します。

5. *Drivers and Utilities* CDをセットし、画面に表示される手順に従います。

インストール画面が表示されない場合は、以下の手順に従います。

a. *Windows Vista* の場合は、® ［コンピュータ］の順にクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］® ［マイ コンピュータ］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、デスクトップで［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

b. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。

c. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、［**USB** ケーブルを使用する］または［ワイヤレスネットワークを使用する］をクリックします。

d. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

コピー

文書をコピーする

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）
3. 原稿をセットします。

4. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］モードまでスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を使用してコピーのサブメニューをスクロールし、コピー設定を変更します。
6. ［スタート］ボタン を押します。

> **メモ：** コピーのサブメニューからコピーの設定を選択せずに［スタート］ボタン を押すと、現在のデフォルト設定でコピーが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。
2. 用紙をセットします。 (⇒ 用紙のセット)
3. 原稿をセットします。 (⇒ 原稿を原稿台にセットする)
4. *Windows Vista™* の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
5. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。
6. ［ホーム］画面で、［コピー］をクリックします。

   ［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。
7. ［文書］を選択します。
8. コピーを作成する前に文書のスキャン画像を調整する場合は、［カスタム設定］をクリックします。
9. ［スタート］ボタンをクリックします。

   ［コピー］ダイアログボックスの右ペインに文書が表示されます。
10. ［コピー］ダイアログボックスの左ペインで、好きなコピー設定を選択します。
11. ［コピー］をクリックします。

写真をコピーする

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。 (⇒用紙のセット)
3. 写真を原稿台の上にセットします。 (⇒原稿をセットする)
4. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押して［品質］までスクロールし、設定ボタン を押します。

6. 左右の矢印ボタン を押して［写真］までスクロールし、設定ボタン を押します。

7. ［スタート］ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。 4 x 6 サイズの写真をコピーする場合は、4 x 6（10 x 15 cm）サイズのフォトカードを印刷面を上にしてセットします。 （⇒ 用紙のセット）

3. 写真を原稿台の上にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

4. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

5. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

6. ［ホーム］画面で、［コピー］をクリックします。

   ［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。

7. ［写真］を選択します。

8. コピーを作成する前に文書のスキャン画像を調整する場合は、［カスタム設定］をクリックします。

9. ［スタート］ボタンをクリックします。

   ［コピー］ダイアログボックスの右ペインに写真が表示されます。

10. ドロップダウンメニューから、使用する印刷品質、用紙サイズ、用紙の種類を選択します。

11. 写真を複数枚印刷する場合、または 10 x 15 cm（4 x 6 インチ）以外の写真サイズを選択する場合は、使用するオプションを表から選択します。 最後の列のドロップダウンメニューで、その他のサイズを表示して選択します。

12. ［コピー］をクリックします。

両面の原稿をコピーする

1. 原稿をセットします。 （⇒原稿をセットする）

2. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 左右の矢印ボタン を押して［両面コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［両面の原稿を片面にコピー］または［両面の原稿を両面にコピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. ［スタート］ボタン を押します。

6. プリンタのディスプレイに表示される手順に従います。

両面コピーを作成する

お使いのプリンタには、用紙を手動で裏返さずに原稿の両面コピーを作成するための、両面印刷ユニットが組み込まれています。片面が印刷されると用紙が自動的に裏返されるため、プリンタで裏面に印刷することができます。

メモ： 両面コピーを作成するには、US レターサイズまたは A4 サイズの普通紙を使用します。封筒、カード用紙、フォトペーパーには両面印刷できません。

1. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）

2. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. 左右の矢印ボタン を押して［両面コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を使用して、［片面の原稿を両面にコピー］（片面の原稿をコピーする場合）または［両面の原稿を両面にコピー］（両面の原稿をコピーする場合）までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. ［スタート］ボタン を押します。

---

1 ページに同じ画像を繰り返す

1 枚の用紙に同じページの画像を複数回繰り返して印刷できます。 このオプションは、ラベルやシール、チラシ、ハンドアウトなどのアイテムを作成するときに便利です。

1. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）

2. 原稿を上向きにして ADF（自動原稿フィーダー）にセットするか、下向きにして原稿台にセットします。

   メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、OHP フィルム、フォトペーパー、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

   メモ： ADF トレイの用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

   メモ： 原稿台を使用する場合は、トップカバーを閉じて、スキャンする画像の縁が黒くならないようにします。

3. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［繰り返し］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を使って 1 つのページに画像を繰り返す回数を選択し、設定ボタン を押して設定を保存します。

6. コピーを行うには、 を押します。

複数ページを 1 枚の用紙にコピーする（割り付け）

［割り付け］設定では、それぞれのページの画像を縮小して印刷し、1 枚の用紙に複数のページをコピーすることができます。 たとえば、割り付け設定を使用して 1 枚に 4 ページの画像を印刷するよう設定する場合、20 ページの文書を 5 ページにまとめることができます。

1. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）

2. 原稿を上向きにして ADF（自動原稿フィーダー）にセットするか、下向きにして原稿台にセットします。

   メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、OHP フィルム、フォトペーパー、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

   メモ： ADF トレイの用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

   メモ： 原稿台を使用する場合は、トップカバーを閉じて、スキャンする画像の縁が黒くならないようにします。

3. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［割り付け］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を使って用紙 1 枚あたりにコピーするページ数を選択し、設定ボタン を押して設定を保存します。

6. ボタンを押すと、ページの画像がプリンタのメモリに保存されます。

7. 別のページをスキャンするかどうか尋ねるメッセージが表示されたら、左右の矢印ボタン を使ってオプションを選択し、設定ボタン を押します。

コピー品質を調整する

1. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）

2. 原稿を上向きにして ADF（自動原稿フィーダー）にセットするか、下向きにして原稿台にセットします。

   メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、OHP フィルム、フォトペーパー、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

   メモ： ADF トレイの用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

   メモ： 原稿台を使用する場合は、トップカバーを閉じて、スキャンする画像の縁が黒くならないようにします。

3. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［品質］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押してコピー品質を選択し、設定ボタン を押して設定を保存します。

6. コピーを行うには、 を押します。

コピーの濃度を調整する

1. 用紙をセットします。 （⇒ 用紙のセット）

2. 原稿を上向きにして ADF（自動原稿フィーダー）にセットするか、下向きにして原稿台にセットします。

   メモ： ハガキ、写真、小さな原稿、OHP フィルム、フォトペーパー、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

   メモ： ADF トレイの用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

   メモ： 原稿台を使用する場合は、トップカバーを閉じて、スキャンする画像の縁が黒くならないようにします。

3. 左右の矢印ボタン を押して［コピー］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［濃度］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を使用してスライドバーを調節し、設定ボタン を押して設定を保存します。

   メモ： 左矢印ボタンを押すとコピーは薄くなり、右矢印ボタンを押すとコピーは濃くなります。

6. コピーを行うには、 を押します。

仕様

概要

メモリ	• 32 MB SDRAM • 8 MB または 64 MB FLASH • <1 MB FAX
接続	USB および USB 2.0 高速対応
負荷サイクル（平均）	1,000 ページ/月
プリンタの寿命	• プリンタ： 18,000 ページ • スキャナ： スキャン 12,000 回 • ADF： スキャン 6,000 回

環境に関する仕様

温度 / 相対湿度

条件	温度	相対湿度（結露なし）
操作時	16 ℃ ～ 32 ℃	40 ～ 80%
保管時	2 ℃ ～ 60 ℃	5% ～ 80%
輸送時	-40 ℃ ～ 60 ℃	5% ～ 100%

消費電力および要件

定格交流入力	100 ～ 240 V AC
定格周波数	50/60 Hz
最小交流入力	90 V AC
	255 V AC

最大交流入力	
最大入力電流	1.0 A
平均電力消費量	
スタンバイモード 操作モード	10 W 未満 32 W 未満

FAX モードでの機能

スキャナを使用して FAX を送信する場合、ドキュメントは 200 dpi（ドット/インチ）でスキャンされます。モノクロのドキュメントを送信できます。

FAX が正しく機能するには、使用できるアナログ電話回線に接続されたコンピュータにプリンタが接続されている必要があります。

 メモ： DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

 メモ： ISDN（統合デジタル通信サービス網）用のモデムやケーブルモデムなどは FAX モデムではないため、FAX を送受信することはできません。

印刷およびスキャンモードでの機能

お使いのプリンタでは、72 ～ 19,200 dpi の範囲でスキャンできます。 プリンタにも同じ性能がありますが、デル™では、あらかじめ設定された解像度での使用をお勧めします。

印刷およびスキャン解像度	スキャン解像度	印刷解像度	
		フォトペーパー / 光沢紙	その他すべての用紙
高速	150 x 150 dpi	1200 x 1200 dpi	300 x 600 dpi
通常	300 x 300 dpi	1200 x 1200 dpi	1200 x 1200 dpi
高品質	600 x 600 dpi	4800 x 1200 dpi	1200 x 1200 dpi

オペレーティングシステムのサポート

以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Ubuntu Linux
- Debian GNU/Linux
- openSUSE Linux
- Microsoft Windows Vista™
- Microsoft® Windows® XP
- Microsoft Windows 2000

メモリの仕様と要件

オペレーティングシステムの最小システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム	プロセッサの速度（MHz）	RAM（MB）	ハードディスク
Ubuntu Linux	500 Mhz Intel（IA32）	256	100 MB
Debian GNU/Linux	500 Mhz Intel（IA32）	256	100 MB
openSUSE Linux	500 Mhz Intel（IA32）	256	100 MB
Microsoft Windows Vista	1 GHz 32/64 ビット以上	512	800 MB
Microsoft Windows XP	800 MHz Pentium/Celeron	256	500 MB
Microsoft Windows 2000	800 MHz Pentium/Celeron	256	500 MB

用紙の種類とサイズ

用紙の種類	サポートされるサイズ	セット可能枚数
普通紙またはマット紙	• US レター：8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm） • A4：8.27 x 11.69 インチ（210 x 297 mm） • リーガル：8.5 x 14 インチ（216 x 355.6 mm）	100 枚
バナー紙	• A4 バナー • US レター バナー	20 枚
封筒	• US 封筒 #9：3 7/8 x 8 7/8 インチ • US 封筒 #10：4 1/8 x 9 1/2 インチ • 6 3/4（US 封筒）：3 1/4 x 6 1/2 インチ • 7 3/4（US 封筒）：3 7/8 x 7 1/2 インチ • 封筒 A2 Baronial：111 x 146 mm • 封筒 B5：176 x 250 mm • 封筒 C5：162 x 229 mm • 封筒 C6：114 x 162 mm • 封筒 DL：110 x 220 mm • 封筒 長形 3 号：120 x 235 mm • 封筒 長形 4 号：90 x 205 mm • 封筒 長形 40 号：90 x 225 mm • 封筒 角形 3 号：216 x 277 mm • 封筒 角形 4 号：197 x 267 mm • 封筒 角形 5 号：190 x 240 mm • 封筒 角形 6 号：162 x 229 mm	封筒： 10 枚
グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、フォトカード	• フォトカード/ポストカード：4 x 6 インチ • インデックスカード：3 x 5 インチ	25 枚
フォト光沢紙	• 8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm）	25 枚

	• A4：8.27 x 11.69 インチ（210 x 297 mm） • 4 x 6 インチ（101.6 x 152.4 mm）	
アイロンプリント紙	• 8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm） • A4：8.27 x 11.69 インチ（210 x 297 mm）	10 枚
OHP フィルム	• 8.5 x 11 インチ（216 x 279 mm） • A4：8.27 x 11.69 インチ（210 x 297 mm）	OHP フィルム： 50 枚
ユーザー定義サイズの用紙	用紙サイズの要件は次のとおりです。 • 幅：3.0 ～ 8.5 インチ（76 ～ 216 mm） • 長さ：5.0 ～ 17.0 インチ（127 ～ 432 mm）	100 枚

ケーブル

お使いのプリンタには、USB （ユニバーサルシリアルバス）ケーブル（別売り）を使用します。

スキャン

---

1 ページの原稿または 1 枚の写真をスキャンする

操作パネルの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。 ネットワーク経由でスキャンする場合、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。

2. 原稿をセットします。 （⇒ 原稿をセットする）

   メモ： ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは ADF（自動原稿フィーダー）にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

3. 左右の矢印ボタンを押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタンを押します。

4. プリンタがローカルで接続されている場合（*USB* を使用）：

   a. 左右の矢印ボタンを押して［パソコンに保存］までスクロールし、設定ボタンを押します。

   b. プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。

      左右の矢印ボタンを使用して、画像を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。

   c. 選択するアプリケーションがディスプレイに表示されたら、設定ボタンを押します。

   プリンタがネットワークに接続されている場合：

   メモ： このプリンタをネットワークに接続するには、Dell™ Internal Network Adapter 1150（別売）が必要です。

   a. 左右の矢印ボタン を押して［ネットワークスキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   b. 左右の矢印ボタンを使用して、画像を取り込むことができるコンピュータ名をスクロールします。

c. 使用するコンピュータ名がディスプレイに表示されたら、設定ボタンを押します。

d. コンピュータで PIN 番号が設定されている場合、テンキーを使用して 4 桁の PIN を入力します。

メモ： 標準設定では PIN は不要です。画像を取り込むコンピュータで PIN が設定されている場合にだけ必要となります。 スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。

e. 設定ボタン を押します。

5. ［スタート］ボタンを押します。

ページがスキャンされます。 スキャンが完了したら、選択したアプリケーションでファイルが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 文書または写真を下向きにして原稿台にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

3. *Windows Vista™* の場合：

a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。

6. ［写真］オプションを選択します。

スキャンした文書のテキストを編集したり、PDF を作成する必要のない場合は、［写真］オプションを選択して文書を画像としてスキャンし、デフォルトのワープロアプリケーションではなく、ライブラリへ送ります。

7. ［スタート］ボタンをクリックします。

ADF を使用して複数ページの原稿をスキャンする

操作パネルの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。 ネットワーク経由でスキャンする場合、コン

ピュータがネットワークに接続されていることを確認してください。

2. 原稿を下向きにして ADF（自動原稿フィーダー）にセットします。 (⇒ 原稿をセットする)
3. 左右の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. プリンタがローカルで接続されている場合（*USB* を使用）：
   a. 左右の矢印ボタン を押して［パソコンに保存］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。
   c. 左右の矢印ボタン を使用して、画像を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。
   d. 選択するアプリケーションがディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押します。

   プリンタがネットワークに接続されている場合：

   メモ： このプリンタをネットワークに接続するには、Dell Internal Network Adapter 1150（別売）が必要です。

   a. 左右の矢印ボタン を押して［ネットワークスキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. 左右の矢印ボタン を使用して、画像を取り込むことができるコンピュータ名をスクロールします。
   c. 使用するコンピュータがディスプレイに表示されたら、設定ボタン を押します。
   d. コンピュータで PIN 番号が設定されている場合、テンキーを使用して 4 桁の PIN を入力します。

      メモ： 標準設定では PIN は不要です。画像を取り込むコンピュータで PIN が設定されている場合にだけ必要となります。 スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。 (⇒ コンピュータ名および PIN を設定する)

   e. 設定ボタン を押します。
5. ［スタート］ボタン を押します。

   ADF にセットされたすべてのページがスキャンされます。 ADF 内のすべてのページがスキャンされたら、選択したアプリケーションですべてのページを含む 1 個のファイルが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。 (⇒ 原稿をセットする)
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

   メモ： Dell Imaging Toolbox は、プリンタの操作パネルから起動することもできます。 プリンタがスキャンモードの場合に、［スタート］ボタン を押すと、 ［Dell Imaging Toolbox］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

   ［スキャンした原稿の取り込み先を選択してください。］ ダイアログボックスが表示されます。

6. ［文書］オプションを選択します。

7. ［カスタム設定］をクリックすると、スキャン設定を変更できます。

8. 設定を変更したら、［スタート］をクリックします。

   ADF にセットされたすべてのページがスキャンされます。 ADF 内のすべてのページがスキャンされたら、選択したアプリケーションですべてのページを含む 1 個のファイルが作成されます。

複数の写真をスキャンして 1 つのファイルに保存する

メモ： アプリケーションによっては、一度に複数のページをスキャンできない場合があります。

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 写真を原稿台の上にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

   メモ： 写真同士の間、および写真とスキャン領域の端との間には十分なスペースを空けてください。

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［複数の写真をスキャンする］をクリックします。

6. ［スタート］ボタンをクリックします。

ネットワーク経由でドキュメントまたは写真をスキャンする

1. コンピュータとプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源をオンにします。

   メモ： デル™プリンタをネットワークに接続するには、デル製ネットワークアダプタ（別売）をお使いください。

2. 原稿をセットします。 （⇒ 原稿をセットする）

   メモ： ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは ADF にセットしないでください。 これらの原稿は原稿台にセットします。

3. 左右の矢印ボタン を押して［スキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［ネットワークスキャン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押して、ドキュメントまたは写真を送るコンピュータを選択し、設定ボタン を押します。

   プリンタはコンピュータをスキャンし、スキャンした画像を開くアプリケーションのリストを検索します。

   メモ： コンピュータにはプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。 プリンタソフトウェアをインストールするには、*Drivers and Utilities* CD を使用します。

   メモ： プリンタでスキャンされた画像を受信するように設定されたコンピュータが 1 台のみの場合、スキャンした画像を開くことができるコンピュータで使用可能なアプリケーションがプリンタに自動的に表示されます。

6. プリンタで PIN の入力を求められたら、コンピュータ用に指定された 4 桁の PIN を入力します。

   メモ： 標準設定では PIN は不要です。画像を取り込むコンピュータで PIN が設定されている場合にだけ必要となります。 スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。 （⇒ コンピュータ名および PIN を設定する）

7. 左右の矢印ボタン を押して、ドキュメントまたは写真を開くアプリケーションを選択し、設定ボタン を押します。

8. ［スタート］ボタン を押して、ドキュメントまたは写真をスキャンします。

   選択したコンピュータのアプリケーションで、取り込んだ原稿が表示されます。

コンピュータ名および PIN を設定する

ネットワーク経由でスキャンする際には、選択するコンピュータの名前を指定する必要があります。 他のユーザーがスキャンした画像を自分のコンピュータに送れないようにするために、個人識別番号（PIN）を設定することもできます。

1. Windows Vista の場合：

   a. ® ［コントロール パネル］をクリックします。

   b. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

   c. ［プリンタ］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタと **FAX**］の順にクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックして、［印刷設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログが表示されます。

3. ［メンテナンス］タブで［ネットワークサポート］をクリックします。

［**Dell** ネットワークオプション］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［**Dell** ネットワークオプション］ダイアログで、［ネットワークスキャンのコンピュータ名と **PIN** を変更します］をクリックします。

5. 画面に表示される手順に従います。

6. コンピュータ名または PIN を指定したら、［**OK**］をクリックします。

写真をスキャンして編集する

OCR（光学式文字認識）機能を使用すると、スキャンした原稿をテキストに変換して、ワープロなどのアプリケーションで編集できます。

メモ： 日本語または簡体字中国語をお使いのお客様は、お使いのコンピュータに OCR ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。 お使いのプリンタには OCR ソフトウェアが 1 つ付属しており、プリンタソフトウェアと同時にコンピュータにインストールされています。

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 原稿を下向きにして原稿台にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［操作］をクリックします。

6. ［**OCR** ソフトウェアを起動する］をクリックします。

7. ［開始］をクリックします。

   スキャンした文書は、デフォルトのワープロアプリケーションに取り込まれます。 そこで文書を編集できます。

写真をスキャンして編集する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 写真を下向きにして原稿台にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［操作］をクリックします。

6. ［画像の編集］をクリックします。

7. ［写真］または［複数の写真］のオプションを選択します。

8. ［スタート］ボタンをクリックします。

   ［保存 / 編集］ダイアログボックスに画像が表示されます。

9. 左ウィンドウ枠から編集オプションを選択して、写真を編集します。

写真をコンピュータに保存する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 1 枚または複数の写真を下向きにして原稿台にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

   メモ： 写真同士の間、および写真とスキャン領域の端との間には十分なスペースを空けてください。

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

6. ［写真］または［複数の写真］のオプションを選択します。

7. ［スタート］ボタンをクリックします。

8. ［保存 / 編集］ダイアログボックスの右ペインで、［保存］をクリックします。

9. 画像の保存方法を変更するには：

   a. 以下のいずれかの設定を選択します。

      - 別のフォルダに保存する場合は、［参照］をクリックしてフォルダを選択し、［**OK**］をクリックします。
      - ファイルの名前を変更する場合は、［ファイル名］ボックスに名前を入力します。
      - 写真を別のファイル形式で保存する場合は、［ファイルの種類］ドロップダウンメニューからファイル形式を選択します。
      - 写真の日付を選択するには、ドロップダウンメニューをクリックして、カレンダーから日付を選択します。

   b. ［保存］をクリックします。

画像や文書を拡大・縮小する

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

3. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

4. ［ホーム］画面で、［操作］をクリックします。

5. ［スキャン画像サイズの変更］をクリックします。

6. 画像を新しくスキャンする場合は、以下の手順に従います。

   a. ［ファイル］®［新規］®［新しい画像のスキャン］をクリックします。

   b. ［写真］オプションから選択します。

   c. ［スタート］ボタンをクリックします。

      ［ライブラリ］ダイアログボックスの右ペインに、スキャン画像のサムネイルが表示されます。

   d. サイズを変更する写真を選択します。

保存済みの画像を使用する場合は、以下の手順に従います。

a. ［ライブラリ］ダイアログボックスの［フォルダ］ペインから、サイズを変更するファイルが保存されているフォルダを開きます。

フォルダ内のすべての文書および写真のサムネイルがプレビュー枠に表示されます。

b. サイズを変更する写真を選択します。

7. ［次へ］をクリックします。

［画像の解像度 / サイズ］ダイアログボックスが開きます。

8. 既定の写真サイズまたは任意のサイズを指定して、新しい画像のサイズを選択します。

9. ［**OK**］をクリックします。

ドキュメントや写真を E メールで送信する

文書や写真をスキャンして E メールで送信する

文書や写真をスキャンして E メールに添付できます。

1. コンピュータとプリンタの電源をオンにして、接続を確認します。

2. 文書または写真を下向きにして原稿台にセットします。 （⇒ 原稿を原稿台にセットする）

3. Windows Vista の場合：

a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

5. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

6. ［写真］または［複数の写真］のオプションを選択します。

メモ： 文書をスキャンして E メールで送る場合は、［写真］または［複数の写真］を選択します。 ［文書］を選択すると、スキャンした文書がライブラリではなく、デフォルトのワープロアプリケーションで開きます。

7. ［スタート］ボタンをクリックします。

スキャン画像が［保存 / 編集］ダイアログの右ペインに表示されます。

8. ［保存 / 編集］ダイアログボックスの左ペインの設定を使用して、スキャン画像を調整します。
9. スキャン画像を保存します。
10. スキャンした原稿を選択した状態で、［**E** メール］をクリックします。
11. ［送信画質と速度］セクションで、写真のサイズを選択します。
12. ［新規メール］をクリックして、文書または写真を E メールに添付します。

ファイルを E メールに添付する

1. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログボックスが開きます。
3. ［ホーム］画面で［フォトアルバム］をクリックします。
4. ［フォルダ］ペインで、送信するファイルが保存されているフォルダを開きます。

   フォルダ内のすべての写真および文書のサムネイルがプレビュー枠に表示されます。
5. 添付する写真または文書をクリックして選択し、［**E** メール］をクリックします。
6. 写真を送信する場合は、写真のサイズを選択します。
7. ［新規メール］をクリックして、ファイルを添付する E メールを作成します。

PDF を作成する

スキャンしたイメージから

1. 原稿を下向きにして原稿台にセットします。
2. *Windows Vista* の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

3. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］が開きます。

4. From the ［ホーム］画面で［フォトアルバム］をクリックします。
5. ［追加］、［スキャナから追加］の順にクリックします。
6. ［写真］、［複数の写真］、または［文書］を選択します。
7. ［開始］をクリックしてスキャンを開始します。
8. スキャンした原稿を選択した状態で、［**PDF** に変換］をクリックします。
9. 別の画像をスキャンする場合、またはライブラリから画像を追加する場合は、［その他を追加］をクリックします。
10. 別の画像を追加またはスキャンするには：

    a. 以下のいずれかを実行します。

    - ［スキャナから追加］を選択して、［写真］、［複数の写真］、または［文書］を選択します。 ［開始］をクリックします。
    - ［フォトライブラリから追加］を選択してスキャン済みの画像を追加し、プレビュー枠の画像をクリックして、画像の選択と解除を切り替えます。

    b. 選択を完了したら、［ファイルの追加］をクリックします。

11. ［すべての画像を **1** つの **PDF** ファイルで保存する］または［画像ごとに個別の **PDF** ファイルで保存する］を選択します。
12. ［**PDF** 作成］をクリックします。

    ソフトウェアで PDF が作成され、［保存］ダイアログボックスが開きます。

13. PDF ファイルの名前を入力して、保存場所を選択します。
14. ［保存］をクリックします。

保存された画像から

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログボックスが開きます。

3. ［ホーム］画面で、［フォトアルバム］をクリックします。

4. ［フォルダ］ペインで、PDF に変換する画像が保存されているフォルダを開き、サムネイルを選択します。

5. ［**PDF** に変換］をクリックします。

6. 別の画像をスキャンする場合、またはライブラリから画像を追加する場合は、［その他を追加］をクリックします。

7. 別の画像を追加またはスキャンするには：

   a. 以下のいずれかを実行します。

      - ［スキャナから追加］を選択して、［写真］、［複数の写真］、または［文書］を選択します。［開始］をクリックします。
      - ［フォトライブラリから追加］を選択して、プレビュー枠の画像をクリックして画像の選択と解除を切り替えます。

   b. 選択を完了したら、［ファイルの追加］をクリックします。

8. ［すべての画像を **1** つの **PDF** ファイルで保存する］または［画像ごとに個別の **PDF** ファイルで保存する］を選択します。

9. ［**PDF** 作成］をクリックします。

   ソフトウェアで PDF が作成され、［保存］ダイアログボックスが開きます。

10. PDF ファイルの名前を入力して、保存場所を選択します。

11. ［保存］をクリックします。

スキャン設定を変更する

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell Imaging Toolbox**］を選択します。

   ［**Dell Imaging Toolbox**］ダイアログボックスが開きます。

3. ［ホーム］画面で、［スキャン］をクリックします。

4. ［詳細設定］をクリックします。

5. 必要に応じて、設定を変更します。

設定	オプション
色の設定	［カラー］、［グレースケール］、または［モノクロ］のいずれかを選択します。
スキャン解像度（dpi）	ドロップダウンメニューからスキャン解像度の値を選択します
用紙サイズ	• スキャンした原稿を自動でトリミングします。 • ドロップダウンメニューから用紙のサイズを選択して、スキャンする範囲を選択します。
OCR ソフトウェアを起動する	画像をテキストに変換します。
常にこの設定を使ってスキャンする	チェックボックスをオンにすると、選択した設定が常に使用されます。

付録

デル テクニカルサポートのご利用条件

技術者によるテクニカルサポートをお受けいただくには、トラブルシューティングに対するお客様のご協力とご自身での操作が必要となります。サポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェア用ドライバなどの出荷時の設定への復元と、プリンタおよびデルが取り付けを行ったすべてのハードウェアの機能の適正についての確認を行います。技術者によるこのテクニカルサポートのほかに、デル カスタマーサービスでのオンラインテクニカルサポートもご利用いただけます。また、テクニカルサポートの追加オプションをご購入いただくことができます。

デルでは、プリンタおよびデルがインストールまたは取り付けを行ったすべてのソフトウェアと周辺機器に対して、限定テクニカルサポートを提供しています。Software & Peripherals (DellWare)、ReadyWare、Custom Factory Integration (CFI/DellPlus) などから購入およびインストールされたものを含む、サードパーティ製ソフトウェアおよび周辺機器に対するサポートは、それらの製造元により提供されます。

デルへのお問い合わせ

デルサポートには、support.jp.dell.com からアクセスできます。 最初に表示されるページで地域を選択し、要求される詳細に記入すると、ヘルプツールおよび情報にアクセスできます。

デルの電話サポートをご利用いただく前に、プリンタドライバにあるデルサービスセンターでトラブルシューティングの詳細な情報を確認することもできます。

オンラインでのデルへのお問い合わせには、次のアドレスをご利用ください。

- インターネット

  www.dell.com/

  www.dell.com/ap/（アジア太平洋諸国のみ）

  www.dell.com/jp/（日本のみ）

  www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

  www.dell.com/la/（中南米諸国のみ）

  www.dell.ca（カナダのみ）

- 匿名 FTP（ファイル転送プロトコル）

  ftp.dell.com

  ログインユーザー名： anonymous、パスワードにはお客様の E メールアドレスを入力してください。

- E メールサポートサービス

  mobile_support@us.dell.com

support@us.dell.com

la-techsupport@dell.com（中南米諸国のみ）

apsupport@dell.com（アジア太平洋諸国のみ）

support.jp.dell.com（日本のみ）

support.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

- E メール見積もりサービス

apmarketing@dell.com（アジア太平洋諸国のみ）

sales_canada@dell.com（カナダのみ）

保証および返品条件

Dell Inc.（以下「デル」といいます）は、ハードウェア製品の製造のために、新品、または業界標準の慣例に従い新品と同等とみなされる部品およびコンポーネントを使用しています。 お使いのプリンタに対するデルの保証については、『製品情報ガイド』を参照してください。

ワイヤレス規制に関する情報

ワイヤレスでの相互運用性

Dell Wireless Printer Adapter 製品は、DSSS（直接スペクトラム拡散方式）無線通信技術、および OFDM（直交周波数分割多重方式）に基づくすべての無線 LAN 製品と相互に運用可能なように設計され、以下の規格に準拠しています。

- IEEE 802.11b-1999 2.4 GHz 無線 LAN 規格
- IEEE 802.11g 2.4 GHz 無線 LAN 規格
- WECA（Wi-Fi アライアンス）の定義による WiFi（ワイヤレスフィデリティ）認証

保証および返品条件

Dell Wireless Printer Adapter は、他の無線装置と同様に、高周波電磁エネルギーを放出します。 ただし、本装置が放出するエネルギーレベルは、携帯電話など、他の無線装置が放出する電磁エネルギーより下回っています。 Dell Wireless Printer Adapter は、無線通信に関する安全基準および推奨事項に記載されているガイドラインの範囲内で運用されます。 これらの安全基準および推奨事項は、科学団体の総意を反映し、広範囲の調査文献を継続的に検証および分析している科学者で構成される団体および委員会での協議の結果に基づくものです。 状況または環境によっては、Dell Wireless Printer Adapter の使用が、建造物の所有者や該当する組織の担当責任者によって制限される場合があります。

そのような状況の例として、以下のものが含まれます。

- Dell Wireless Printer Adapter 装置を航空機内で使用する場合。
- Dell Wireless Printer Adapter 装置を、他の装置またはサービスに対する干渉が原因で障害が発生することが認識または確認されている環境で使用する場合。

特定の組織または環境（空港など）での無線装置の使用に適用される方針について不明な場合は、Dell Wireless Printer Adapter 装置の電源を入れる前に、その使用許可について問い合わせることをお勧めします。

⚠ 危険： 爆破装置への接近に関する警告： ワイヤレスネットワーク装置などの可搬式送信機を、シールドされていない雷管または爆破装

置が存在する環境で使用できるように変更していない限り、そのような環境で使用しないでください。

危険： 航空機内での使用に関する注意： 無線通信装置の信号は航空機の重要な機器に影響を与える恐れがあるため、**FCC** および **FAA** による規制に基づき、このような装置を航空機内で運用することは禁じられています。

規制に関する情報

Dell Wireless Printer Adapter の取り付けおよび使用の際には、製品に付属するユーザーマニュアルに記載されている製造元の指示に必ず従ってください。 特定の国または地域での承認については、「無線通信機器に関する承認」を参照してください。 Dell Inc. では、この Dell Wireless Printer Adapter キットに含まれる装置の無許可の改変、または Dell Inc. により指定されたケーブルおよび機器以外の代用または追加により生じる、ラジオまたはテレビへのいかなる電波障害にも責任を負いません。このような無許可の改変、代用、または追加により生じる障害を修正する責任は使用者にあります。 Dell Inc. および認定販売店または代理店は、使用者がこれらのガイドラインへの準拠を怠ったことにより生じた損害または規制違反についての責任を負いません。

電波障害に関する必要条件

危険： 本装置は **2.412 ～ 2.462 GHz** 周波数帯を使用するため、屋内に限り使用することができます。 **FCC** では、コチャンネル移動衛星システムに対する干渉の恐れを低減するため、本製品による **2.412 ～ 2.462 GHz** 周波数帯の使用を屋内のみとするように要求しています。

障害に関する声明

本装置は FCC 規則パート 15 に準拠しています。 以下の 2 つの条件を前提として運用してください。 （1）このデバイスにより、有害な干渉を発生しない。（2）このデバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信される干渉すべてに適応する必要がある。 本機器の試験結果は、FCC 規則パート 15 に規定されるクラス B デジタル装置に関する制限に準拠しています。 この制限は、機器を家庭環境に設置した場合の有害な干渉に対して、適切な保護を提供するためのものです。 本機器は、高周波エネルギーを生成、使用、および放射するものです。 製造元の指示に従って本機器を設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を生じる恐れがあります。 ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないことが保証されるものではありません。 機器の電源をオンまたはオフにして、この機器によりラジオまたはテレビの受信に干渉が生じていると判断された場合、以下の方法で干渉を解消してください。

- 本装置の位置を変更する。
- 装置と受信機の距離を広げる。
- 装置を別の電源コンセントに接続し、装置と受信装置が使用する分岐回路を違うものにする。
- 詳細については、販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者に相談して指示を受けてください。

メモ： この Dell Wireless Printer Adapter の取り付けおよび使用の際には、製品に付属するユーザーマニュアルに記載されている製造元の指示に必ず従ってください。 指示に従わない状態で取り付けまたは使用を行うと、FCC 規則パート 15 に違反することとなります。 デルが明示的に許可していない変更を行った場合、本機器を使用する権利が無効とされることがあります。

本装置を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、これらの装置と組み合わせて使用しないでください。

FAX

お使いのプリンタでは、コンピュータに接続しなくても FAX を送受信できます。

さらに、*Drivers and Utilities* CD には Dell™ FAX ナビが含まれていて、プリンタソフトウェアをインストールする際にコンピュータにインストールされています。 この FAX アプリケーションを使用して、FAX を送受信することもできます。 （⇒ Dell FAX ナビの使用）

次の表に、FAX 機能を使用できるようにするために必要な機器（一部オプション）の詳細を示します。

機器	利点	参照先
• プリンタ • モジュラーケーブル（同梱）	コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できます。	壁の電話コンセントに直接接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • モジュラーケーブル 2 本（1 本同梱）	• FAX 回線を通常の電話回線として使用できます。 • 電話機の置き場所に関係なくプリンタをセットアップできます。 • コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できます。	電話機に接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • 留守番電話機（別売） • モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱）	通話と FAX を両方受信できます。	留守番電話に接続する
• プリンタ • 電話機（別売） • コンピュータのモデム（別売） • モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱） • USB ケーブル（別売）	電話の接続口の数を増やすことができます。	コンピュータのモデムに接続する

プリンタに外部デバイスをセットアップする

壁の電話コンセントに直接接続する

1. モジュラーケーブルの一方の端を FAX コネクタ（FAX - 下のコネクタ）に接続します。

2. モジュラーケーブルのもう一方の端を、使用可能な壁の電話コンセントに差し込みます。

電話機に接続する

1. プリンタの FAX コネクタ（FAX - 下のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

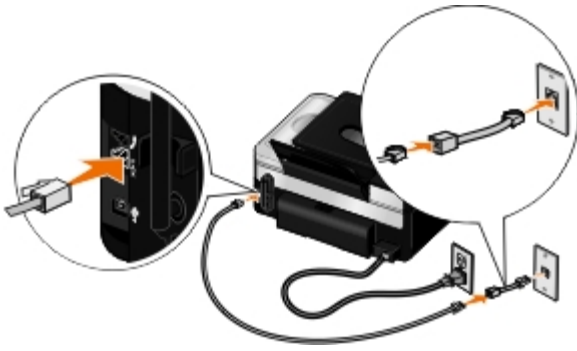
2. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。

3. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを電話機に接続します。

メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

DSL（デジタル加入者回線）を使用している場合

DSL では、電話回線を通じてデジタルデータがコンピュータに配信されます。お使いのプリンタはアナログデータ専用です。DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

メモ： ISDN（統合デジタル通信サービス網）モデムおよびケーブルモデムは FAX モデムではないため、FAX 送信をサポートしていません。

1. DSL フィルタを、使用可能な電話回線に接続します。

2. プリンタを DSL フィルタの出力に直接接続します。

   メモ： DSLフィルタとプリンタとの間に分配器を設置しないでください。詳細については、DSL サービスプロバイダにお問い合わせください。

留守番電話に接続する

1. プリンタの FAX コネクタ（FAX - 下のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

2. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。

3. 留守番電話に接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。

4. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを留守番電話に接続します。

   メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。 これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

5. 操作パネルまたは Dell FAX ナビから、5 回コールした後でプリンタが FAX を受信するように設定します。

   操作パネルから：

   a. 左右の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   b. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。

   c. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   d. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   e. 左右の矢印ボタン を押して［受信モード］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   f. 左右の矢印ボタン を押して［着信音 5 回後］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   Dell FAX ナビから：

   a. *Windows Vista*™ の場合：

1. ® ［プログラム］の順にクリックします。

2. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

3. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

b. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

c. ［いいえ］をクリックします。

［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

d. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。

e. ［着信音の回数］フィールドで、［**5** 回］を選択します。

f. ［**OK**］をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

g. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

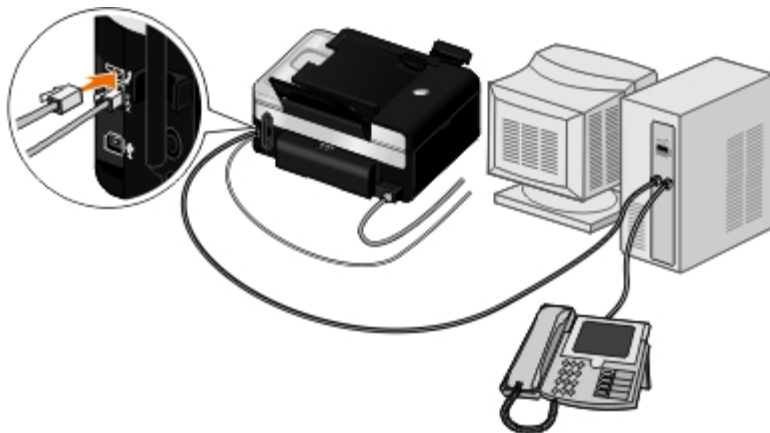
ダイアログボックスが表示されます。

h. ［はい］をクリックします。

i. ［閉じる］をクリックします。

6. 留守番電話機で、自動で応答するまでの着信音の回数を **3** 回以下に設定します。 詳細については、留守番電話機に付属のマニュアルを参照してください。

メモ： この設定は、［自動受信］が［オン］（出荷時の設定）または［時間指定］に設定されている場合にのみ機能します。 （⇒ FAX 設定を変更する）

コンピュータのモデムに接続する

1. FAX -

プリンタの　　コネクタ（FAX 下のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。

2. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）から、ブルーの保護プラグを取り外します。
3. 電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）に接続されたモジュラーケーブルをコンピュータのモデムに接続します。
4. コンピュータのモデムに接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。

メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ（ - 中央のコネクタ）からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

FAX を送信する

クイック FAX を送信する

操作パネルの使用

1. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. キーパッドを使用して、FAX 番号または短縮ダイヤル番号を入力します。
5. ［スタート］ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. 原稿をセットします。（⇒原稿をセットする）
4. *Windows Vista™* の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
5. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

6. ［新規 **FAX** の送信］をクリックします。

7. コンピュータの画面に表示される手順に従って FAX を送信します。

FAX 番号を入力する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. 数字テンキーを使用して、FAX 番号を入力します。

   メモ： 番号を間違って入力した場合は、左向き矢印ボタン を押すと番号を削除できます。

操作	方法
FAX 番号に FAX を送信する	テンキーを使用して、番号を入力します。 64 桁以内で FAX 番号を入力できます。 同報送信は、最大 30 件の送信先へ行うことができます。
アドレス帳に登録された番号に FAX を送信する	• 送信先の短縮ダイヤルに対応する番号を入力します。 • ［アドレス帳］メニューを使用します。 a. 左右の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。 b. ［FAX 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。 c. 左右の矢印ボタン を押して［アドレス帳］までスクロールし、設定ボタン を押します。 d. 左右の矢印ボタン を押して［表示］までスクロールし、設定ボタン を押します。 e. 左右の矢印ボタン を押して、FAX 送信先の名前または FAX 番号までスクロールします。
内線番号に FAX を送信する	アスタリスク（*）およびシャープ（#）を押し、テンキーを使用して内線番号を入力します。
外線に FAX を送信する	以下の手順で外線発信番号を設定します。 a. 左右の矢印ボタン を押して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。 b. ［FAX 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。 c. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。 d. 左右の矢印ボタン を押して［ダイヤルと送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。 e. 左右の矢印ボタン を押して［外線発信番号］までスクロールし、設定ボタン を押します。 f. 左右の矢印ボタン を押して［作成］までスクロールし、設定ボタン を押します。 メモ： 外線発信番号を変更する場合は、入力済みの外線発信番号までスクロールしてから、設定ボタン を押します。 保存済みの外線発信番号を削除するには、左向き矢印ボタン を押します。

	g. テンキーを使用して、外線発信番号を入力します。 8 桁以内で外線発信番号を入力できます。 h. 設定ボタン を押します。
トーンを聞きながら内線番号に FAX を送信する（オンフック）	内線番号が 2 桁の場合は 0 を、1 桁の場合は 00 を追加してダイヤルします。 たとえば、内線番号が 12 の場合は 120 と入力します。内線番号が 2 の場合は 200 と入力します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. 原稿をセットします。 （⇒ 用紙や原稿をセットする）
4. *Windows Vista* の場合：

    a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

    b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

    c. ［**Dell V505**］をクリックします。

    Windows® *XP* または *Windows 2000* の場合：

    ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

5. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

    ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

6. ［新規 **FAX** の送信］をクリックします。

    ［**FAX** 送信］ダイアログボックスが表示されます。

7. ［名前］、［会社名］、［FAX 番号］の各フィールドに送信先情報を入力するか、［アドレス帳から送信先を選択する］をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。
8. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、［アドレス帳に登録］をクリックします。

    ［アドレス帳へ登録］ダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックします。
10. 複数の送信先に FAX を送信する場合は、［他の送信先を追加］をクリックします。

    a. ［名前］、［会社名］、［FAX 番号］の各フィールドに次の送信先情報を入力するか、［アドレス帳から送信先を選択する］をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。

    b. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、［アドレス帳に登録］をクリックします。

    c. 連絡先情報を手動で入力する場合は、［追加］をクリックして［送信先］リストに連絡先を追加します。

    d. 送信先の情報を変更するには、送信先を選択して［編集］をクリックします。

    e.

［送信先］リストから連絡先を削除するには、送信先を選択して［削除］をクリックします。

f. ［送信先］リストの作成が完了するまで、手順 a から手順 e を繰り返します。

11. ［次へ］をクリックします。

12. コンピュータの画面に表示される手順に従って FAX を送信します。

高度な FAX 送信

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、さまざまな FAX サブメニューを使用して、送信する FAX の設定を変更できます。FAX メニューでは、以下の操作を実行できます。

- FAX の送信日時を指定する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を管理する
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

（⇒FAX モード）

コンピュータの使用

Dell Fax ナビを使用すると、高度な FAX 機能を利用できます。Dell FAX ナビには、基本的な FAX 機能のほかに以下の機能があります。

- FAX の送信日時を指定する
- コンピュータのファイルと紙の原稿を 1 回の FAX 操作で送信する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を簡単に管理する
- さまざまな送付状を独自に作成し、保存する
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

（⇒Dell FAX ナビの使用）

1. *Windows Vista*の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell プリンタ**］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

3. ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスの該当するリンクをクリックして、操作を行います。

4. 画面に表示される手順に従います。

自動応答システム経由で FAX を送信する

一部の企業では、通話者がいくつかの質問に回答して、希望する部署に接続する自動応答システムを採用している場合があります。 該当するボタンを押して質問に回答すると、適切な部署に電話がつながります。 質問に回答する必要のある自動応答システムを採用している企業に FAX を送信するには、オンフック機能を使用できるようにプリンタを設定します。

1. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. 原稿台に下向きまたは ADF に上向きに原稿をセットします。 （⇒ 用紙や原稿をセットする）
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［オンフック］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 設定ボタン をもう一度押すと、オンフックモードが有効になります。
7. テンキーを使用して、企業の電話番号をダイヤルします。
8. テンキーを使用して、自動応答システムを操作します。
9. FAX の信号音が聞こえたら、［スタート］ボタン を押して FAX を送信します。

   FAX を中止するには、プリンタの［キャンセル］ボタン を押します。

指定した時刻に FAX を同報送信する

FAX 番号を組み合わせて、指定した時刻に 1 件の FAX を同報送信できます。

1. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. 原稿台に下向きまたは ADF に上向きに原稿をセットします。 （⇒ 用紙や原稿をセットする）
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［日時指定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の 矢印ボタン を使用して［予約送信］までスクロールし、設定ボタン を押します。

7. テンキーを使用して FAX を送信する時刻を入力し、設定ボタン を押します。

8. プリンタの設定が 24 時間モードになっていない場合は左右の矢印ボタン を押して目的の時刻形式を選択し、設定ボタン を押します。

9. テンキーを使って FAX 番号を入力するか、設定ボタン を押して、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの一覧を表示します。

10. 左右の矢印ボタン を使って、［短縮ダイヤルまたはグループダイヤル］リストまでスクロールし、設定 ボタン を押します。

    メモ： グループ FAX のエントリは、90 ～ 99 です。

11. 必要に応じてさらに FAX 番号を追加し、設定ボタン を押します。送信先番号は、最大 30 件まで登録できます。

12. ［スタート］ボタン を押します。

13. FAX 送信する別の原稿をスキャンするには、左右の矢印ボタン を使って［はい］までスクロールします。 操作パネルに表示される手順に従います。

メモ： 指定した時刻に FAX 番号がダイヤルされ、すべての指定した FAX 番号に FAX が送信されます。 同報送信リストの番号のいずれかに FAX が送信できない場合、リダイヤル設定に基づいて、その番号がリダイヤルされます。

FAX を転送する

外出先で FAX を受信する場合は、FAX の転送機能を使用します。 FAX の転送には、以下の 3 つの設定があります。

- オフ- （出荷時の設定）
- 転送 - プリンタは指定された FAX 番号に FAX を送信します。
- 印刷して転送 - プリンタは FAX を印刷してから、指定された FAX 番号に送信します。

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 転送］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押してオプションを選択し、設定ボタン を押します。
7. テンキーを使用して、FAX の転送先の番号を入力します。 最大 64 文字まで入力できます。
8. 設定ボタン を押して、設定を保存します。

メモ：［転送］または［印刷して転送］を選択した場合、FAX のデフォルトメニューの左下に［転送］と表示されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。
7. ［**FAX** 転送］フィールドでオプションを選択します。
8. ［転送先］フィールドに、FAX 番号を入力します。
9. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。
10. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

    ダイアログボックスが表示されます。
11. ［はい］をクリックします。
12. ［閉じる］をクリックします。

FAX を受信する

FAX を自動受信する

ユーザーが操作を行わなくても、プリンタで自動的に FAX を受信して印刷することができます。

以下の点をチェックしてください。

- プリンタの電源がオンになっていて、FAX を送受信できるように正しく設定されている。（⇒プリンタに外部デバイスをセットアップする）
- ［自動受信］が［オン］（出荷時の設定）または［時間指定］に設定されている。

  自動受信機能がオンになっているかどうかチェックするには、以下の手順に従います。

  1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
  2. 左右の矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
  3. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
  4. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信］までスクロールし、設定ボタン を押します。
  5. プリンタが常に自動的に着信に応答して FAX を受信するようにするには、左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールします。

     プリンタが着信に応答する時間帯を指定するには、左右の矢印ボタン を押して［時間指定］までスクロールし、キーパッドを使用して自動受信機能をオンおよびオフにする時刻を指定します。

     メモ： プリンタに留守番電話が接続されている場合に［自動応答］をオンにすると、留守番電話が着信に応答します。FAX 信号音が検出されると、留守番電話機が切断され、プリンタが FAX を受信します。FAX 信号音が検出されなかった場合、留守番電話機が着信に対応します。

FAX を手動で受信する

自動受信機能をオフにして、FAX の受信方法を管理することもできます。不要な FAX を受信しない場合や、ほとんど受信しない場合、または FAX の受信費用がかかりすぎる場合などに便利です。

1. プリンタの電源がオンになっていて、FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。（⇒プリンタに外部デバイスをセットアップする）
2. ［自動受信］をオフに設定します。

   a. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   b. 左右の矢印ボタン を押して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   c. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   d. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信］までスクロールし、設定ボタン を押します。
   e. 左右の矢印ボタン を押して［オフ］までスクロールし、設定ボタン を押します。

3. FAX が着信したら、［スタート］ボタン を押すか、キーパッドで「DELL#（3355#）」と入力して受信します。

手動受信コードを設定する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［手動受信のキー入力］までスクロールし、設定ボタン を押します。

   メモ： 既定の手動受信コードは、**DELL# (3355#)** です。

6. テンキーを使用して、受信コードを入力します。 左矢印ボタン を使って、エントリを削除または編集します。 7 文字までの数字と、*、# を入力できます。
7. 設定ボタン を押して、設定を保存します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする)
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。
7. ［手動受信コード］フィールドに、受信コードを入力します。
8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

   ダイアログボックスが表示されます。

10. ［はい］をクリックします。

11. ［閉じる］をクリックします。

自動的に FAX を受信するまでの着信音の回数を設定する

操作パネルの使用

1. 自動受信機能がオンになっていることを確認します。 （⇒ FAX を自動受信する）
2. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
3. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押して［受信モード］までスクロールし、設定ボタン を押します。
7. 左右の矢印ボタン を押してオプションを選択し、設定ボタン を押して設定を保存します。

   メモ： 既定では、着信音 3 回後に設定されています。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。
7. ［着信音の回数］フィールドでオプションを選択します。
8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

   ダイアログボックスが表示されます。

10. ［はい］をクリックします。
11. ［閉じる］をクリックします。

発信者番号通知を使用する

発信者番号通知とは、発信者の電話番号または名前を識別するために、一部の電話会社で提供しているサービスです。 このサービスに加入している場合、お使いのプリンタで使用できます。 FAX を受信すると、FAX の送信元の電話番号または名前が液晶ディスプレイに表示されます。

メモ： 発信者番号通知は、一部の国および地域でのみ利用できます。

メモ： 通知形式の種類は、国または地域の設定に応じて異なり、選択した国または地域に該当する通知形式のみが表示されます。

プリンタでは、パターン 1（周波数シフトキーイング）およびパターン 2（二重トーン多重周波数）という 2 種類の発信者番号通知方法をサポートしています。 発信者番号を表示するには、お住まいの国または地域、および利用している電話会社に応じて、方法を切り替える必要があります。

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［自動受信と呼出音］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［通知形式］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を使って目的のオプションまでスクロールし、設定ボタン を押して設定を保存します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。

b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。

7. ［通知形式］フィールドで目的のオプションを選択します。

8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

   ダイアログボックスが表示されます。

10. ［はい］をクリックします。

11. ［閉じる］をクリックします。

用紙の両面に FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。

3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX　設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［印刷設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押して［両面　FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

6. 左右の矢印ボタン を押して［両面印刷］までスクロールし、設定ボタン を押します。

コンピュータを使用する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［**FAX** レポートの印刷］タブをクリックします。

7. ［両面印刷］フィールドから、［両面印刷］を選択します。

8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。

9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

   ダイアログボックスが表示されます。

10. ［はい］をクリックします。

11. ［閉じる］をクリックします。

オーバーサイズの FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。

3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

4. 左右の矢印ボタン を押して［印刷設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。

5. 左右の矢印ボタン を押して［用紙に合せて縮小］までスクロールし、設定ボタン を押します。

6. 左右の矢印ボタン を使用して、オプションを選択します。

7. 設定ボタン ✓ を押して、設定を保存します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする)
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［**FAX** レポートの印刷］タブをクリックします。
7. ［オーバーサイズ］フィールドから、オプションを選択します。
8. ［**OK**］をクリックします。

   確認のダイアログボックスが表示されます。
9. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

   ダイアログボックスが表示されます。
10. ［はい］をクリックします。
11. ［閉じる］をクリックします。

FAX 設定を変更する

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、［詳細設定］メニューから FAX 設定を変更できます。［詳細設定］メニューで行った変更は、すべての FAX ジョブに常に適用されます。 (⇒ ［FAX 設定］メニュー)

コンピュータを使用する

コンピュータからプリンタの FAX 設定を構成する場合は、**FAX** ユーティリティにアクセスします。

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP および *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログが開きます。

3. FAX 設定ウィザードを使用してプリンタの FAX 設定を構成する場合は、［はい］をクリックします。 ［**Dell FAX** 設定ウィザードへようこそ］ダイアログが開きます。

   FAX 設定を手動で変更する場合は、［いいえ］をクリックします。 ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

タブ名	可能な操作
ダイヤルと送信	• 電話回線の種類を指定します。 • 外線発信番号を入力します。 • 発信音量を設定します。 • 自局の FAX 番号と名前を入力します。 • リダイヤルの回数、および FAX 送信に失敗した場合の再試行間隔を選択します。 • 番号をダイヤルする前または後で、原稿全体をスキャンするかどうかを選択します。 • FAX を送信する際の最高送信速度と印刷品質を選択します。 • 送信設定に関係なく、受信側の FAX 機器に合わせて FAX を自動的に変換します。 • スキャンする FAX 原稿の用紙サイズを選択します。
着信音と受信	• プリンタが FAX の着信に応答するまでの着信音の回数を指定します。 メモ： 留守番電話機では、プリンタで設定した着信音の回数より少ない回数を設定する必要があります。 • 電話回線で FAX 専用着信音サービスが利用できる場合は、FAX 専用着信音を指定します。 • 着信音量を設定します。 • エラー修正機能を使用するかどうかを選択します。 • 発信者番号通知形式を選択します。1 は周波数シフトキーイングによる検出形式の国または地域の場合、2 は二重トーン多重周波数による検出形式の国または地域の場合です。 発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。 2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。 • 手動受信コードを指定します。 デフォルトのコードは **DELL#**（**3355#**）です。 • 着信した FAX を自動で受信するか、指定時刻に受信するかを選択します。 • 着信した FAX を自動で受信する時刻を指定します。 • FAX を転送するか、印刷してから転送するかを選択します。 • 転送先の FAX 番号を指定します。 • FAX の着信拒否を管理します。
FAX 印刷/履歴	• 用紙サイズを超える FAX を自動的に縮小して 1 ページに印刷するか、元のサイズのままで 2 ページに印刷するかを指定します。 • フッター（日付、時刻、ページ番号）を各ページに印刷するかどうかを選択します。 • 用紙トレイが 2 つ取り付けられている場合、用紙を使用するトレイを選択します。 受信した FAX に合わせて用紙を選択する場合は、［自動］を選択します。

	• オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。 • 通信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。 • 送信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストの追加、作成、編集を行います。
送付状	• FAX を送信する際に送付状を送信するかどうかを指定します。 • 送付状に表示される情報を編集または更新します。 • FAX を送信する際の優先順位を選択します。 • 短いメッセージを追加します。

短縮ダイヤルを使用する

FAX を簡単に送信するために、89 個の個別の短縮ダイヤル番号と、1 つにつき 30 個までの番号を含むことができる 10 個のグループ短縮ダイヤルを指定できます。

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストを作成する

操作パネルを使用する

短縮ダイヤルリストにエントリを追加する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［アドレス帳］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［追加］までスクロールし、設定ボタン を 2 回押します。
5. 操作パネルに表示される手順に従います。

メモ： 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の短縮ダイヤル番号が自動的に割り当てられます。 短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

グループダイヤルリストに番号を追加する

1. メインメニューから、左右の矢印ボタン を使って［FAX］ までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［アドレス帳］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［追加］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左矢印ボタン を押して［グループ FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。

メモ： グループ FAX の番号は 90 ～ 99 です。

6. テンキーを使用して FAX 番号をグループに追加し、設定ボタン を押します。

7. ［別の番号を入力］画面で、左右の矢印ボタン を押して［はい］までスクロールし、設定ボタン を押して別の番号を追加します。

8. グループダイヤルリストへの番号の追加を終えたら、左右の矢印ボタン を押して［いいえ］までスクロールし、設定ボタン を押します。

9. テンキーを使用してグループの名前を入力し、設定ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. Windows Vista の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］® ［プログラム］または［すべてのプログラム］® ［デルプリンタ］® ［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［短縮ダイヤル］タブをクリックします。

7. 短縮ダイヤルリストに新しいエントリを追加するには、1 ～ 89 のうちから使用できる番号をクリックして、新しい連絡先の FAX 番号と名前を入力します。

   グループダイヤルリストに新しいグループエントリを追加するには、90 ～ 99 のうちから使用できる番号をクリックします。メインの短縮ダイヤルリストの下にグループリストが小さく表示されます。 新しいグループエントリの FAX 番号と名前を入力します。

8. アドレス帳から連絡先を追加するには、 ［アドレス帳から選択］をクリックします。

   ［アドレス帳から選択］ダイアログボックスが表示されます。

   a. アドレス帳から連絡先を選択します。

   b. 連絡先をリストに追加するには、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの設定セクションで利用できる番号をクリックします。

リストの既存のエントリを上書きするには、変更するエントリをクリックします。

c. ［リストへの追加または変更］をクリックします。

d. アドレス帳のエントリを短縮ダイヤルまたはグループダイヤルリストに追加したら、［**OK**］をクリックして［短縮ダイヤル］タブへ戻ります。

9. ［**OK**］をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

10. ［**OK**］をクリックして、プリンタの設定を上書きします。

ダイアログボックスが表示されます。

11. ［はい］をクリックします。

12. ［閉じる］をクリックします。

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤル番号リストを使用する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、キーパッドを使用して 2 桁の短縮ダイヤル番号またはグループダイヤル番号を入力します。
3. 別の短縮ダイヤル番号またはグループダイヤル番号を入力するには、 ボタンを押します。ディスプレイに表示される手順に従います。
4. ［スタート］ボタン を押して FAX を送信します。

メモ： 番号を入力するときに、数字を 2 つだけ入力して、その数字に該当するエントリがある場合、短縮ダイヤルとして処理されます。入力した番号がアドレス帳のエントリに該当しない場合は、内線番号として処理されます。

FAX の着信拒否

着信拒否リストを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［追加］までスクロールし、設定ボタン を押します。

6. テンキーを使用して FAX 番号を指定し、設定ボタン を押します。

7. テンキーを使用して名前を指定し、［設定］ボタン を押します。

メモ： 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の登録番号が自動的に割り当てられます。 登録番号を変更することはできません。

8. 次の番号の入力を求めるメッセージが表示されたら、左右の矢印ボタン を押してオプションをスクロールし、設定ボタン を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）

3. Windows Vista の場合：

    a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

    b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

    c. ［**Dell V505**］をクリックします。

    Windows XP または Windows 2000 の場合：

    ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

    ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

    ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。

7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

    ［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。

8. 着信拒否リストで、FAX 番号と連絡先番号を入力します。

9. ［**OK**］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。

10. ［**OK**］をクリックします。

    確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

    ダイアログボックスが表示されます。

12. ［はい］をクリックします。

13. ［閉じる］をクリックします。

着信拒否設定を有効にする

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［オン/オフ］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

［着信拒否リスト］に登録されている番号からの FAX 受信を検出すると、接続が切断されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 （⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする）
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［すべてのプログラム］をクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または *Windows 2000* の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。
5. ［いいえ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。
6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。
7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

   ［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。
8. ［着信拒否］を選択します。
9. **OK**

［　］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。

10. ［**OK**］をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

ダイアログボックスが表示されます。

12. ［はい］をクリックします。

13. ［閉じる］をクリックします。

番号非通知の場合に着信を拒否する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. 左右の矢印ボタン を押して［FAX 設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. 左右の矢印ボタン を押して［着信拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. 左右の矢印ボタン を押して［非通知拒否］までスクロールし、設定ボタン を押します。
6. 左右の矢印ボタン を押して［オン］までスクロールし、設定ボタン を押します。

番号を非通知に設定している機器からの FAX が検出されると、通信が切断されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。　(⇒ プリンタに外部デバイスをセットアップする)
3. Windows Vista の場合：
   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。
   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。
   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

   Windows XP または Windows 2000 の場合：

   ［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。
4. ［**Dell FAX** ナビ］を選択します。

   ［**Dell FAX** 設定ウィザード］ダイアログボックスが開きます。

5. ［いいえ］をクリックします。

［**Dell FAX** ナビ］ダイアログボックスが開きます。

6. ［着信音と自動受信］タブをクリックします。

7. ［着信拒否番号の登録］をクリックします。

［着信拒否番号の登録］ダイアログボックスが表示されます。

8. ［有効な送信元の **ID** がない場合は受信しない］を選択します。

9. ［**OK**］をクリックして、［着信音と受信］タブに戻ります。

10. ［**OK**］をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

11. ［**OK**］をクリックして、FAX 設定を保存します。

ダイアログボックスが表示されます。

12. ［はい］をクリックします。

13. ［閉じる］をクリックします。

FAX 管理レポートを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［FAX］までスクロールし、設定ボタン を押します。
2. ［**FAX** 番号の入力］画面で、設定ボタン を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［詳細設定］までスクロールし、設定ボタン を押します。
4. メインメニューで、左右の矢印ボタン を使用して［管理レポート］までスクロールし、設定ボタン を押します。
5. ［管理レポート］メニューから、FAX 操作に関する記録を表示または印刷できます。

コンピュータを使用する

1. *Windows Vista* の場合：

   a. ® ［プログラム］の順にクリックします。

   b. ［**Dell** プリンタ］をクリックします。

   c. ［**Dell V505**］をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

［スタート］®［プログラム］または［すべてのプログラム］®［デルプリンタ］®［**Dell V505**］の順にクリックします。

2. ［**FAX** ナビ］をクリックします。

   ［**Dell FAX** ナビ］ダイアログが開きます。

3. ［管理レポートの表示］をクリックします。
4. ［表示］ドロップダウンメニューで、レポートを印刷する FAX をクリックします。
5. レポートを作成する期間を選択します。
6. ダイアログボックスの左上にある［印刷］アイコンをクリックして、FAX 管理レポートを印刷します。

ライセンスに関する通知

プリンタに常駐するソフトウェアには、次のものが含まれています。

- デルまたはサードパーティが開発し、著作権を所有するソフトウェア
- GNU General Public License version 2 および GNU Lesser General Public License version 2.1 の条項に基づき、デルが改変したソフトウェア
- BSD License and Warranty Statements に基づいて使用許諾されるソフトウェア
- Independent JPEG Group の著作物に基づくソフトウェア

デルが改変した GNU ライセンスソフトウェアはフリーソフトウェアです。お客様は、この使用許諾の条項に基づいて、ソフトウェアを再配布または改変することができます。 この使用許諾は、このプリンタに付属する、デルまたはサードパーティが著作権を所有するソフトウェアに対するお客様のいかなる権利も保証するものではありません。

デルが改変の際に基盤として使用した GNU ライセンスソフトウェアは完全に無保証で提供されるため、デルによる改訂版も同様に無保証で提供されます。 詳細については、適用されるライセンスの保証免責条項を参照してください。

BSD License and Warranty statements

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

GNU License

GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity

of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1989

Lexmark International, Inc.

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version

2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a. The modified work must itself be a software library.

b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two

things:

a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR

INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1990

Lexmark International, Inc.

That’s all there is to it!

Microsoft Corporation Notices

1. This product may incorporate intellectual property owned by Microsoft Corporation. The terms and conditions upon which Microsoft is licensing such intellectual property may be found at http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=52369.

2. This product is based on Microsoft Print Schema technology. You may find the terms and conditions upon which Microsoft is licensing such intellectual property at http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=83288.